

家庭からの二酸化炭素排出量の推計に係る実態調査

全国試験調査

結果の概要（確報値）

< 統合集計（参考値） >

平成28年6月

環 境 省

目 次

全国の主要結果	1
1 CO ₂ 排出量	1
(1) 世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量・構成比	1
(2) 世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	1
(3) 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量・構成比	2
(4) 建て方別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量・構成比	3
(5) 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量・構成比	4
(6) 世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量・構成比	5
(7) 建て方別世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	6
(8) 建て方別世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	7
(9) 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	8
(10) 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	9
(11) 建て方別世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	10
(12) 建て方別世帯人数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	11
(13) 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	12
(14) 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	13
(15) 建て方別建築時期別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	14
(16) 建て方別建築時期別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	15
(17) 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	16
(18) 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	17
(19) 建て方別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO ₂ 排出量	18
(20) 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO ₂ 排出量	18
(21) 世帯当たり月別エネルギー種別 CO ₂ 排出量	19
(22) 建て方別世帯当たり月別 CO ₂ 排出量 (電気・ガス・灯油の合計)	19
2 CO ₂ 排出量の世帯分布	20
(1) 建て方別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量 (電気・ガス・灯油の合計) の世帯分布	20
(2) 世帯類型別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量 (電気・ガス・灯油の合計) の世帯分布	20
(3) 建て方別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量 (自動車用燃料の合計) の世帯分布	21
(4) 世帯類型別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量 (自動車用燃料の合計) の世帯分布	21
3 エネルギー消費量	22
(1) 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	22
(2) 建て方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比	23

(3) 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	24
(4) 世帯類型別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比	25
(5) 世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	26
(6) 世帯主年齢別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比	27
(7) 世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	28
(8) 世帯人数別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比	29
(9) 年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	30
(10) 年間世帯収入別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比.....	31
4 エネルギー消費量 (固有単位)	32
(1) 建て方別世帯当たり年間電気消費量 (固有単位)	32
(2) 建て方別世帯当たり年間都市ガス消費量 (固有単位)	32
(3) 建て方別世帯当たり年間 LP ガス消費量 (固有単位)	33
(4) 建て方別世帯当たり年間灯油消費量 (固有単位)	33
(5) 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料消費量 (固有単位)	34
5 支払金額	35
(1) 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額.....	35
(2) 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額.....	35
(3) 建て方別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額.....	36
(4) 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額.....	36
6 設備・機器の使用状況	37
(1) 建て方別最もよく使う暖房機器	37
(2) 建て方別給湯器・給湯システム	38
(3) 建築時期別給湯器・給湯システム	39
(4) 住宅の所有関係別給湯器・給湯システム	39
(5) 世帯人数別給湯器・給湯システム	40
(6) 年間世帯収入別給湯器・給湯システム	40
(7) 建て方別エアコンの使用台数	41
(8) 建て方別台所用コンロ	41
(9) LED 照明の使用状況	42
(10) 建て方別 LED 照明の使用状況	42
(11) 住宅の所有関係別 LED 照明の使用状況	43
(12) 建築時期別 LED 照明の使用状況	44
(13) 延べ床面積別 LED 照明の使用状況	44
(14) 世帯主年齢別 LED 照明の使用状況	45
(15) 年間世帯収入別 LED 照明の使用状況	45
(16) 冷蔵庫の製造時期 (1 台目) 別世帯当たり年間照明・家電製品等用 CO ₂ 排出量	46
(17) 冷蔵庫の製造時期	46

(1 8)	世帯主年齢別冷蔵庫の製造時期 (1 台目)	47
(1 9)	年間世帯収入別冷蔵庫の製造時期 (1 台目)	48
(2 0)	建築時期別冷蔵庫の製造時期 (1 台目)	48
(2 1)	冷蔵庫の使用台数	49
(2 2)	建築時期別冷蔵庫の使用台数	49
(2 3)	建て方別冷蔵庫の使用台数	50
(2 4)	世帯類型別冷蔵庫の使用台数	50
(2 5)	世帯人数別冷蔵庫の使用台数	51
(2 6)	世帯主年齢別冷蔵庫の使用台数	51
(2 7)	年間世帯収入別冷蔵庫の使用台数	52
(2 8)	延べ床面積別冷蔵庫の使用台数	52
(2 9)	二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無別世帯当たり年間暖房用 CO ₂ 排出量	53
(3 0)	建築時期別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無	54
(3 1)	住宅の所有関係別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無	54
(3 2)	延べ床面積別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無	55
(3 3)	年間世帯収入別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無	55
(3 4)	自動車の実際の燃費 (1 台目) 別世帯当たり年間自動車用燃料 CO ₂ 排出量	56
(3 5)	年間世帯収入別自動車の実際の燃費 (1 台目)	56
(3 6)	省エネルギー行動実施率別自動車の実際の燃費 (1 台目)	57
7	太陽光発電システム	58
(1)	建て方別太陽光発電システムの使用率	58
(2)	建築時期別太陽光発電システムの使用率	58
(3)	世帯人数別太陽光発電システムの使用率	59
(4)	世帯主年齢別太陽光発電システムの使用率	59
(5)	年間世帯収入別太陽光発電システムの使用率	60
(6)	太陽電池の総容量	60
(7)	太陽光発電システムの年間発電量・売電量 (使用世帯当たり)	61
(8)	太陽光発電システムからの売電による年間受領金額 (使用世帯当たり)	61
(9)	太陽光発電システムの月別発電量・売電量 (使用世帯当たり)	62
(1 0)	太陽光発電システム使用の有無別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	62
地方別・都市階級別の主要結果		63
1	CO ₂ 排出量	63
(1)	地方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量・構成比	63
(2)	地方別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量・構成比	64
(3)	都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量・構成比	65
(4)	都市階級別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量・構成比	66

(5) 地方別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO ₂ 排出量	67
(6) 都市階級別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO ₂ 排出量.....	67
2 CO₂排出量の分布	68
(1) 地方別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量 (電気・ガス・灯油の合計) の世帯分布	68
(2) 都市階級別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量 (電気・ガス・灯油の合計) の世帯分布..	68
(3) 地方別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量 (自動車用燃料の合計) の世帯分布	69
(4) 都市階級別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量 (自動車用燃料の合計) の世帯分布	69
3 エネルギー消費量	70
(1) 地方別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	70
(2) 地方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比	71
(3) 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	72
(4) 都市階級別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比	73
4 支払金額	74
(1) 地方別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額.....	74
(2) 地方別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額.....	74
5 設備・機器の使用状況	75
(1) 地方別給湯器・給湯システム	75
(2) 地方別 LED 照明の使用状況	76
(3) 地方別冷蔵庫の製造時期 (1 台目)	76
(4) 地方別冷蔵庫の使用台数.....	77
(5) 地方別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無.....	77
(6) 地方別自動車の実際の燃費 (1 台目)	78
(7) 都市階級別自動車の実際の燃費 (1 台目)	78
(8) 地方別太陽光発電システムの使用率	79
機器の使用状況別の主要結果	80
(1) 建て方別エアコン以外の家電製品の使用台数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	80
(2) 建て方別テレビの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	81
(3) 建て方別平日のテレビの使用時間 (1 台目) 別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	82
(4) 建て方別冷蔵庫の使用台数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	83
(5) 建て方別エアコンの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	84
(6) 建て方別暑い時期の平日のエアコン使用時間 (1 台目) 別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	85
(7) 建て方別最もよく使う暖房機器別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	86

(8) 建て方別最もよく使う暖房機器の冬の平日の使用時間別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	87
(9) 建て方別暖房室数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	88
(10) 建て方別 LED 照明の使用状況別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	89
(11) 建て方別冬季の入浴日数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	90
(12) 建て方別省エネルギー行動実施率別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	91
(13) 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量 < 家族が続けて入浴するようにしている >	95
(14) 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量 < テレビを使用しないときは主電源をオフにしている >	96
(15) 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量 < 炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている >	97
(16) 世帯類型別自動車の使用台数別世帯当たり年間自動車用燃料 CO ₂ 排出量	98
(17) 世帯類型別自動車の年間走行距離 (3 台目までの合計) 別世帯当たり年間自動車用燃料 CO ₂ 排出量	99
(18) 世帯類型別自動車の排気量 (1 台目) 別世帯当たり年間自動車用燃料 CO ₂ 排出量	100
(19) 世帯類型別自動車の実際の燃費 (1 台目) 別世帯当たり年間自動車用燃料 CO ₂ 排出量	101

主要属性 102

(1) 地方別建て方	102
(2) 建て方別世帯類型	102
(3) 地方別世帯類型	103
(4) 建て方別世帯人数	103
(5) 地方別世帯人数	104
(6) 建て方別世帯主年齢	105
(7) 建て方別高齢者数	105
(8) 建て方別有職者数	106
(9) 建て方別平日昼間の在宅者の有無	106
(10) 世帯類型別平日昼間の在宅者の有無	107
(11) 建て方別年間世帯収入	107
(12) 建て方別建築時期	108
(13) 建て方別延べ床面積	108
(14) 地方別延べ床面積	109

【利用上の注意】

本資料の図表タイトルに下線が付くものは、確報値公表時に追加した図表である。

全国の主要結果

1 CO₂排出量

(1) 世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂排出量・構成比

世帯当たりの年間 CO₂排出量は 3.49 トンであり、電気の使用に伴う排出が約 7 割を占めている。

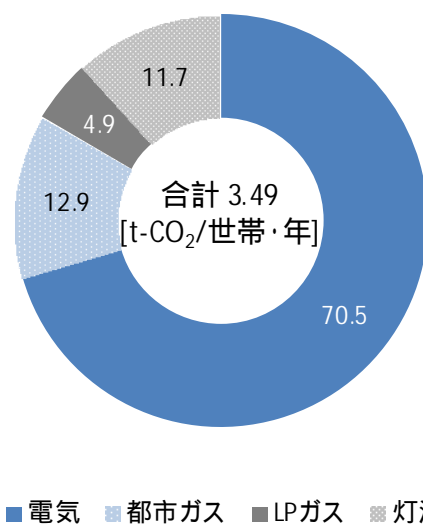


図 1-1 世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂排出量・構成比

(注) 調査の対象期間は 2014 年 10 月～2015 年 9 月の 1 年間である。

(2) 世帯当たり年間用途別 CO₂排出構成比

照明・家電製品等が排出量の約 5 割を占め、次いで給湯、暖房の割合が高い。

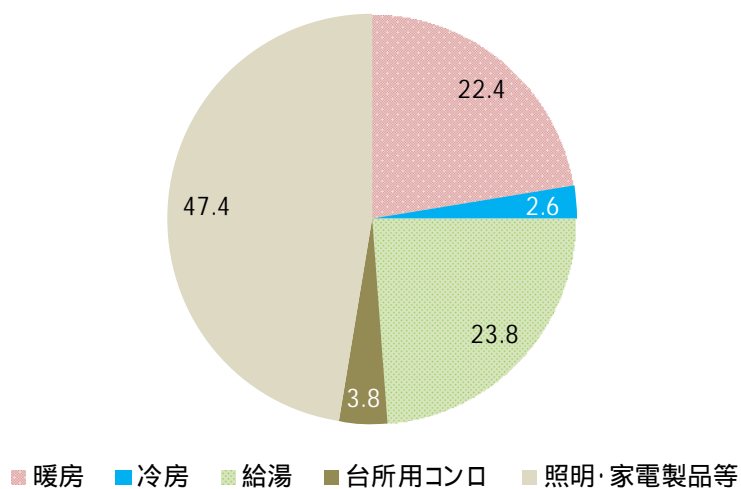


図 1-2 世帯当たり年間用途別 CO₂排出構成比

(3) 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量・構成比

建て方別に CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯の約 2 倍である。戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯に比べ世帯人数が多く、住宅の延べ床面積が大きいことなどが影響していると考えられる。

戸建住宅の世帯では電気と灯油の占める割合が集合住宅の世帯に比べ高い。

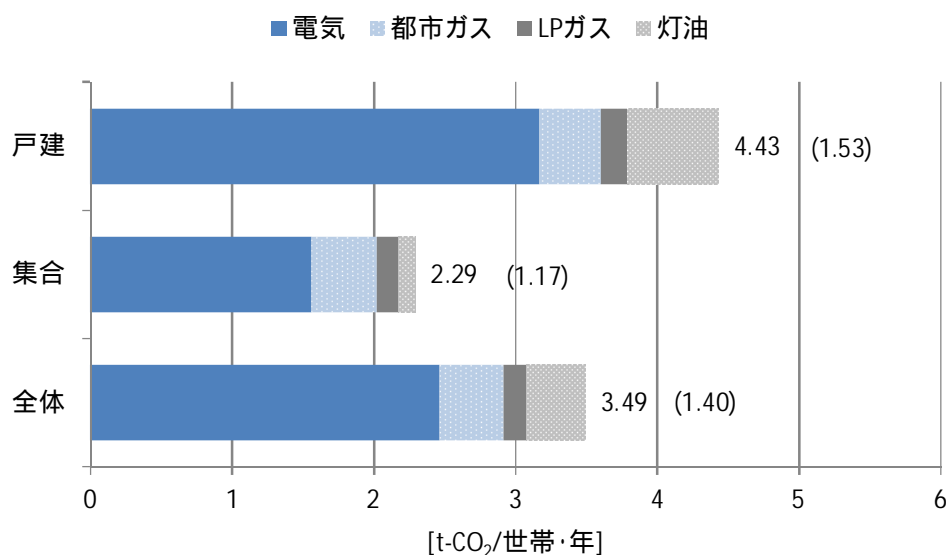


図 1-3 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

(注 1) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注 2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

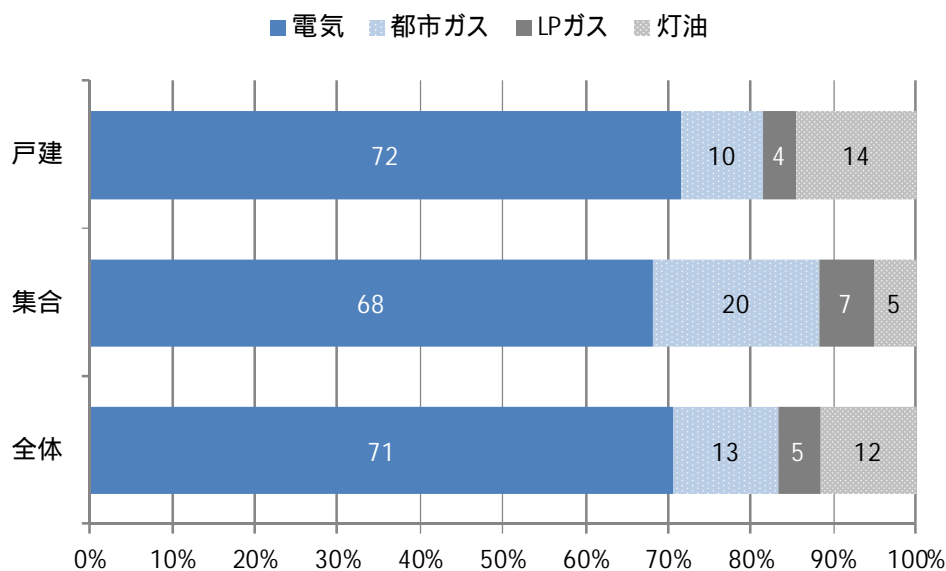


図 1-4 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出構成比

(4) 建て方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量・構成比

建て方別に用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯に対し、暖房が約3倍、給湯が約2倍となっている。

戸建住宅の世帯では暖房が25%を占めるのに対して、集合住宅の世帯では17%であり8ポイントの差がある。一般に他の住戸に接している集合住宅に比べ、戸建住宅は外気に接する表面積が大きく、暖房に必要なエネルギーが大きいことなどが影響していると考えられる。

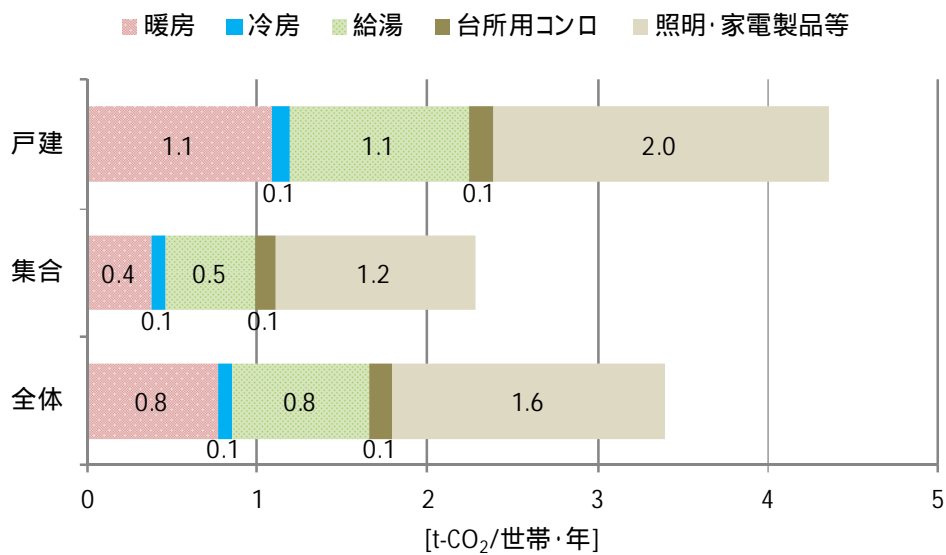


図 1-5 建て方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

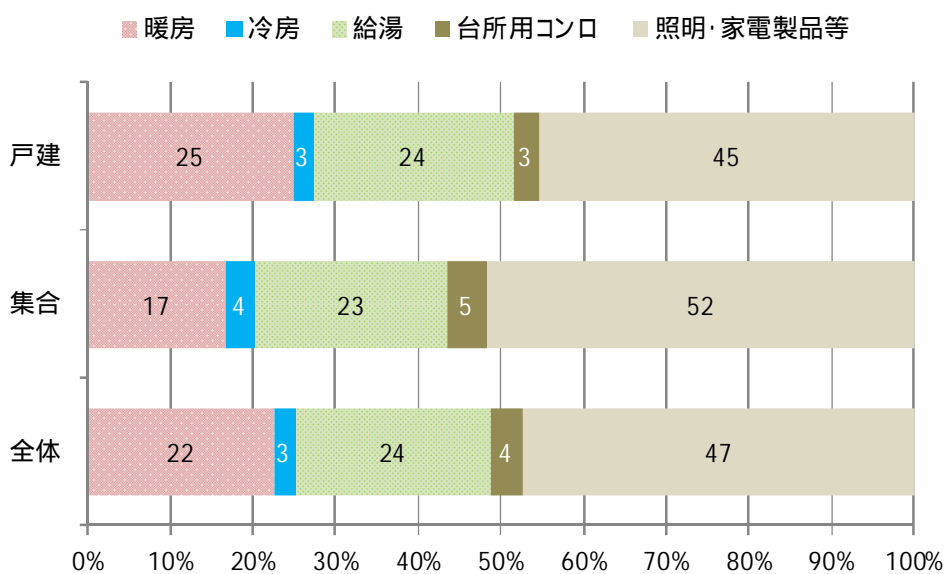


図 1-6 建て方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

(5) 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量・構成比

世帯類型別に CO₂ 排出量を比較すると、単身世帯では夫婦と子の世帯の4～5割の水準である。単身、夫婦及び夫婦と子のいずれの世帯類型においても、高齢世帯では若中年世帯より排出量が多い。

高齢世帯では灯油の割合が若中年世帯に比べやや高い。

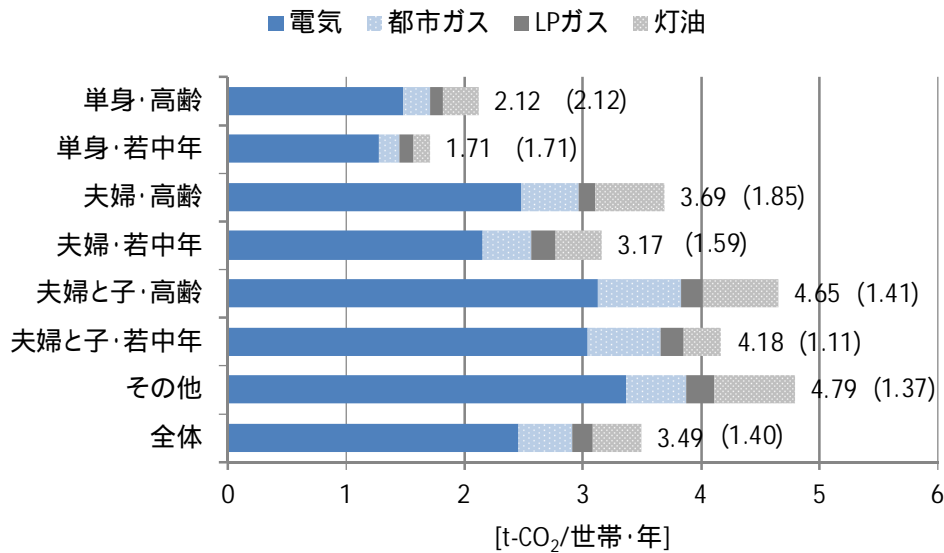


図 1-7 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのCO₂排出量を表す。

(注2) 1人当たりのCO₂排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

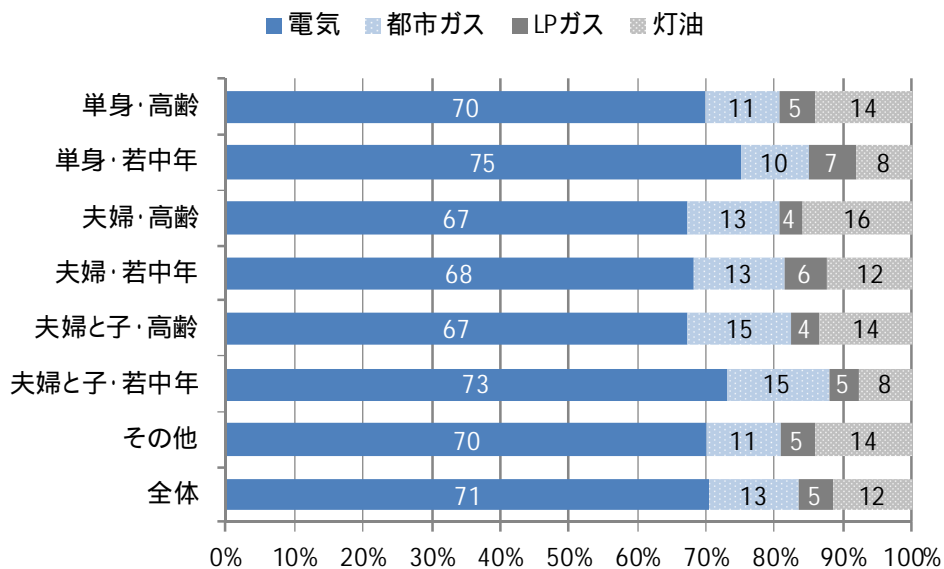


図 1-8 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出構成比

(6) 世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量・構成比

世帯類型別に用途別 CO₂ 排出量を比較すると、高齢世帯は若中年世帯に比べ、暖房と照明・家電製品等の排出量が多い。高齢世帯は戸建住宅の割合が高いことなどが影響していると考えられる。

単身世帯では給湯の割合が低く、照明・家電製品等の割合が高い。

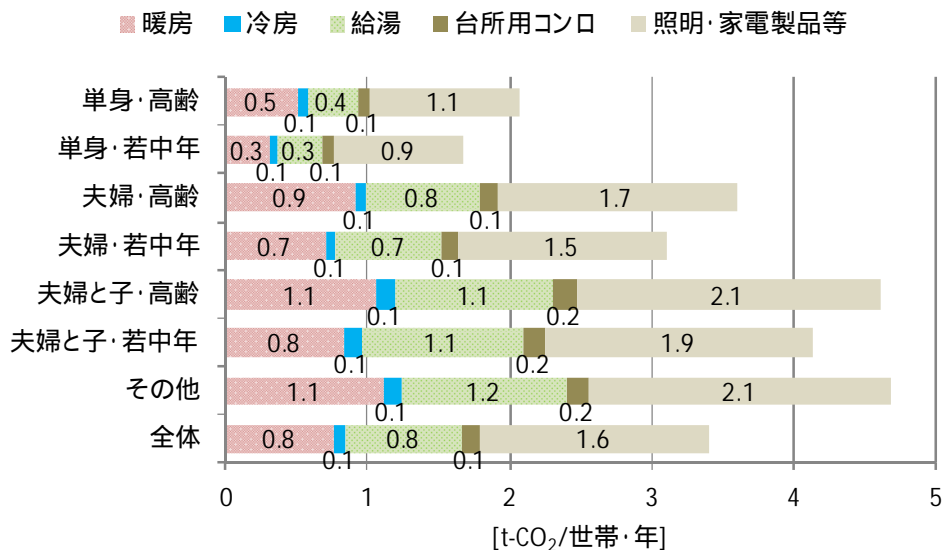


図 1-9 世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

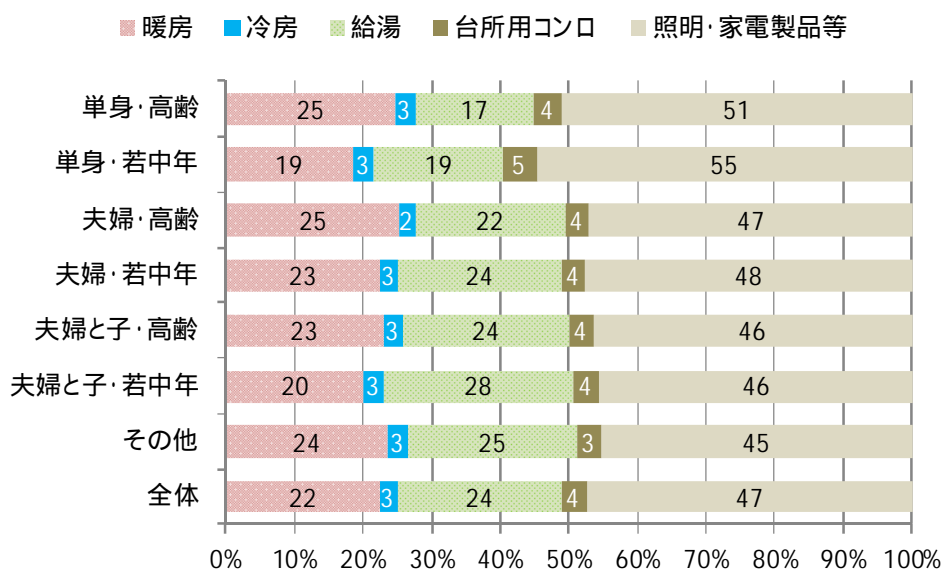


図 1-10 世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

(7) 建て方別世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

建て方別に高齢世帯と若中年世帯の CO₂ 排出量を比較すると、集合住宅の世帯で比較的差が大きい。高齢世帯は世帯員の年齢が高く、在宅時間が比較的長いことなどが影響していると考えられる。

また、同じ世帯類型で建て方別に CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯の排出量が集合住宅の世帯より多い。例えば、単身世帯では、戸建住宅の世帯の排出量は集合住宅の世帯の 1.6~1.8 倍である。

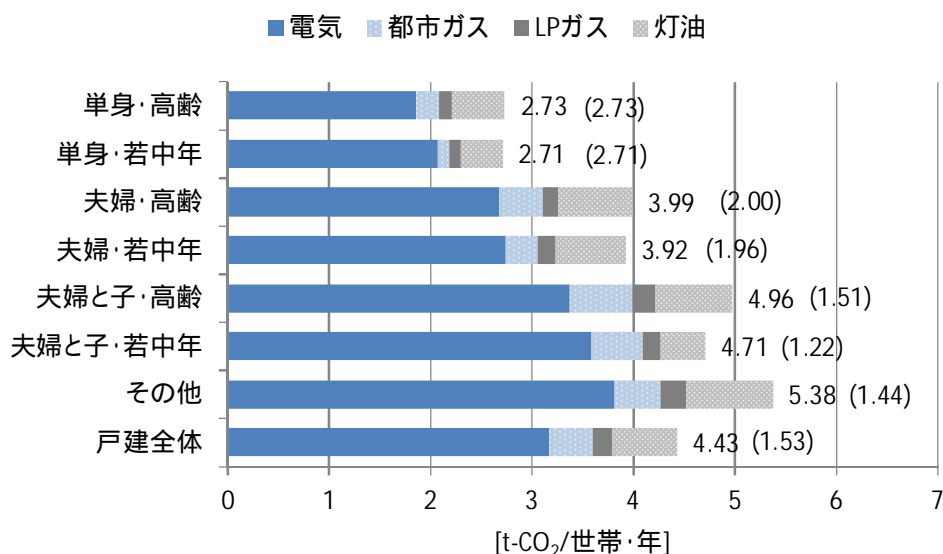


図 1-11 建て方別世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（戸建）

(注1) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

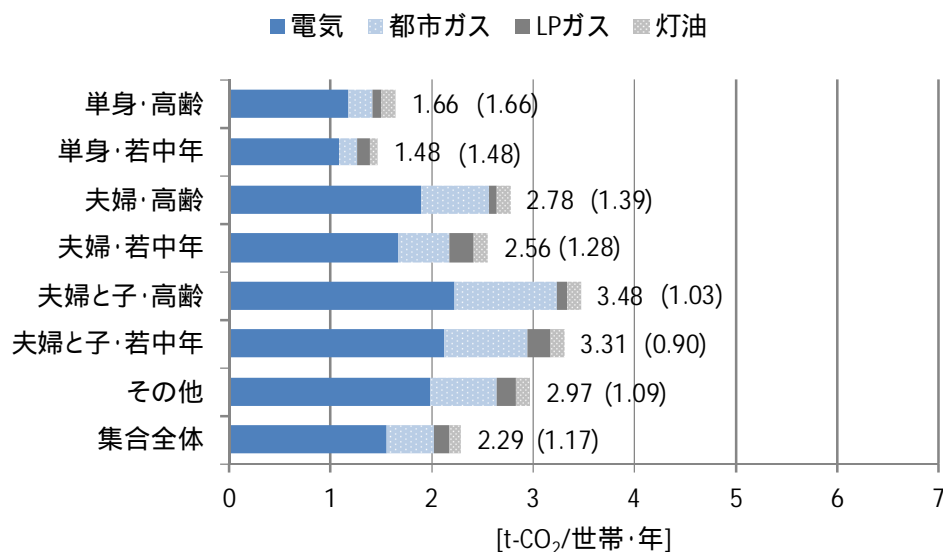


図 1-12 建て方別世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（集合）

(注1) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

(8) 建て方別世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

単身・高齢世帯では暖房の割合が単身・若中年世帯に比べ高く、給湯の割合が低い。暖房の割合が高いのは在宅時間が比較的長いことなどが影響し、給湯の割合が低いのは入浴頻度が比較的少ないことなどが影響していると考えられる。

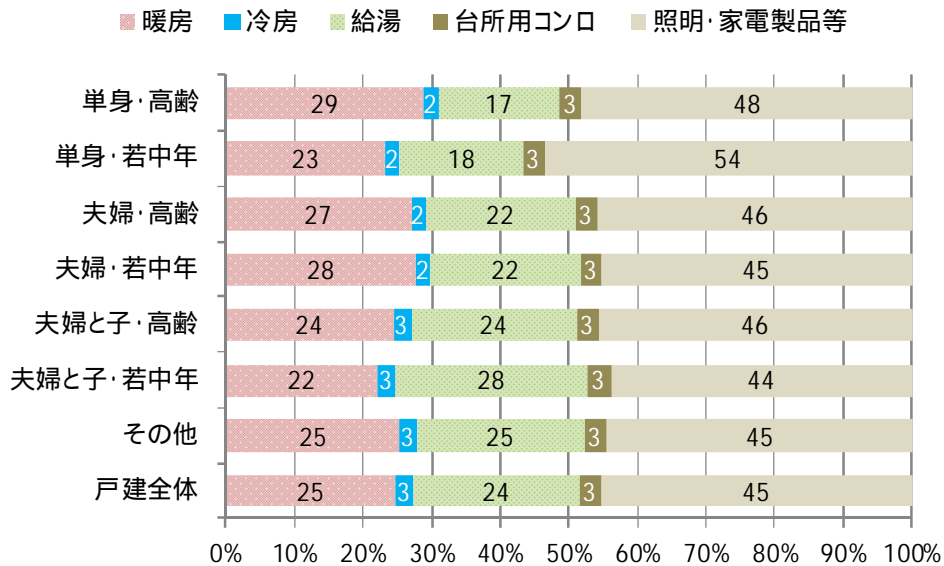


図 1-13 建て方別世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (戸建)

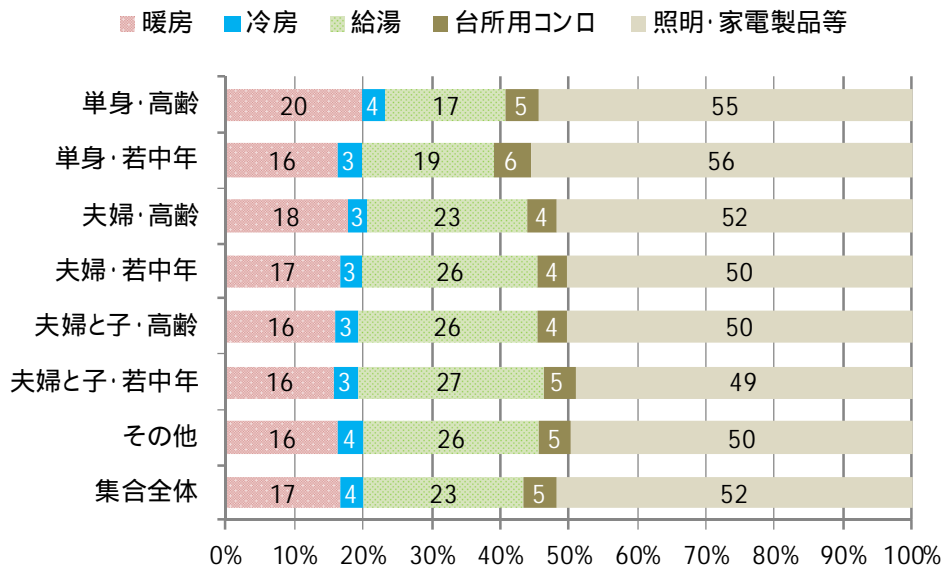


図 1-14 建て方別世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (集合)

(9) 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

建て方別に世帯主年齢別の CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅、集合住宅のいずれも世帯主が 50～59 歳の世帯の排出量が最も多い。子の有無や年齢などのライフステージの違いなどが影響していると考えられる。

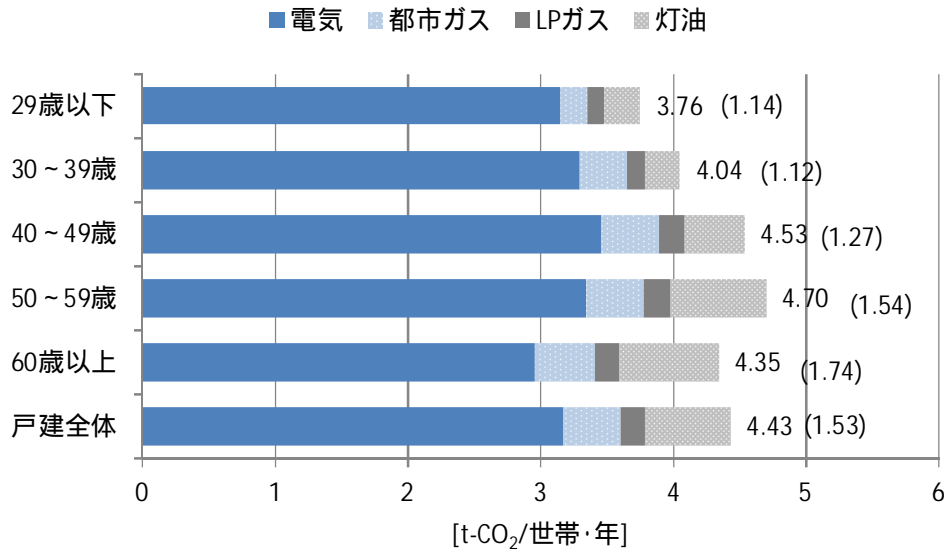


図 1-15 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量 (戸建)

(注1) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

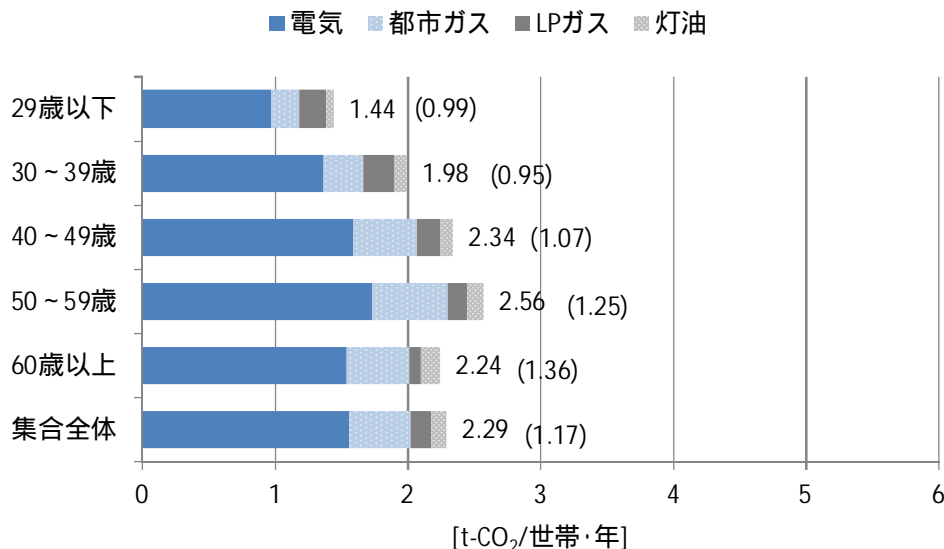


図 1-16 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量 (集合)

(注1) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

(1 0) 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

戸建住宅の世帯では世帯主年齢が高いほど暖房の割合が高く、給湯の割合が低い傾向がみられる。

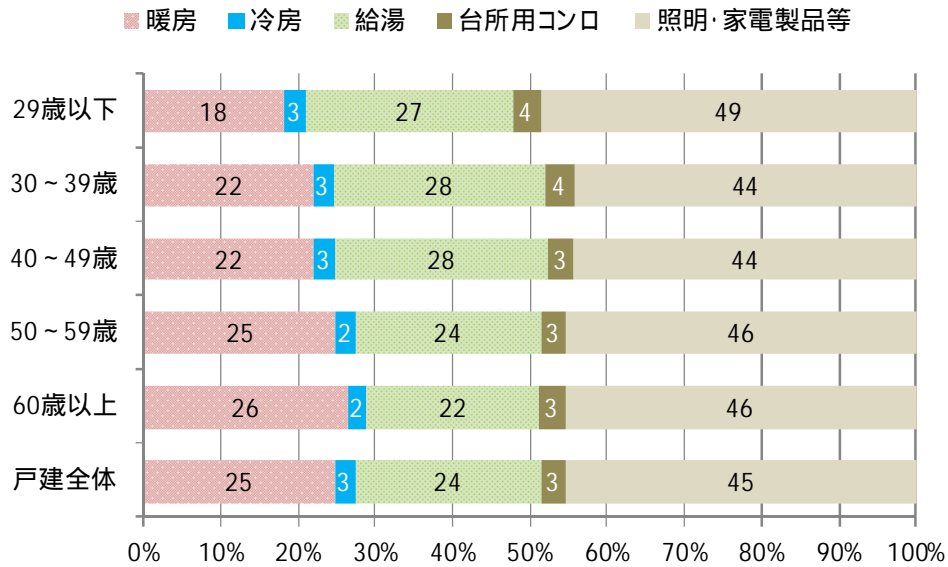


図 1-17 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (戸建)

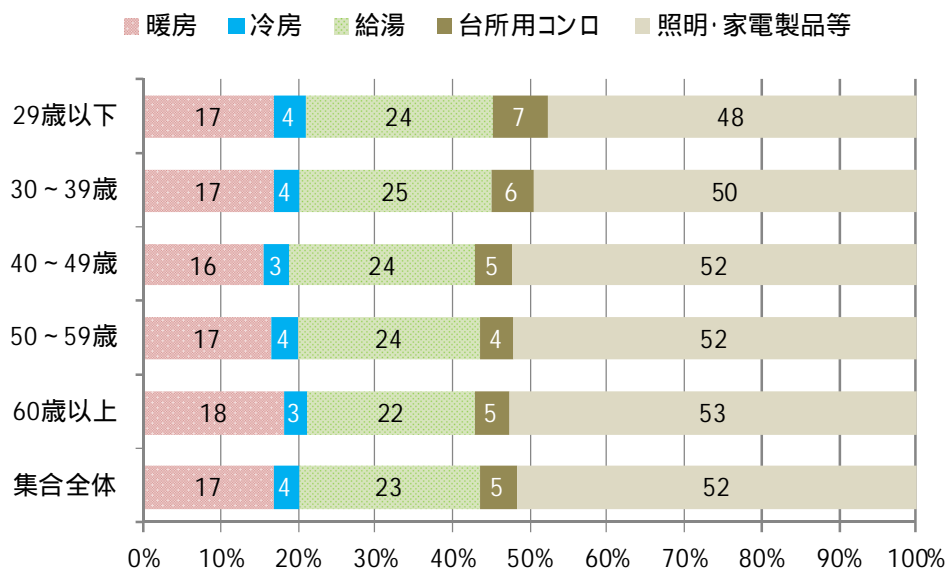


図 1-18 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (集合)

(1 1) 建て方別世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

世帯人数別の CO₂ 排出量を比較すると、世帯人数の増加に伴い排出量が増加する傾向がみられる。一方で、1人当たり CO₂ 排出量で比較すると、世帯人数が多い世帯ほど排出量が少ない。例えば、戸建住宅の4人世帯の1人当たり CO₂ 排出量は、単身世帯の約半分である。

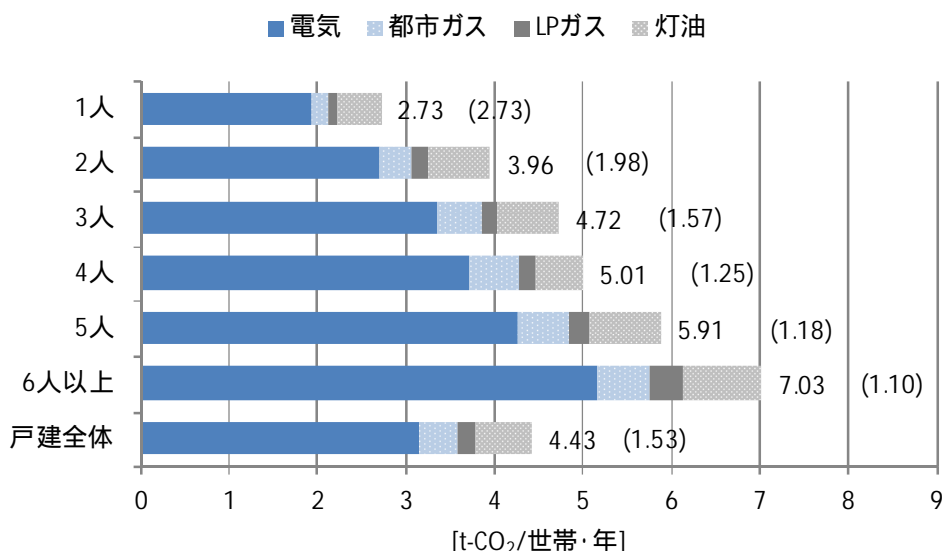


図 1-19 建て方別世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（戸建）

(注1) 括弧内の数値は1人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注2) 1人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

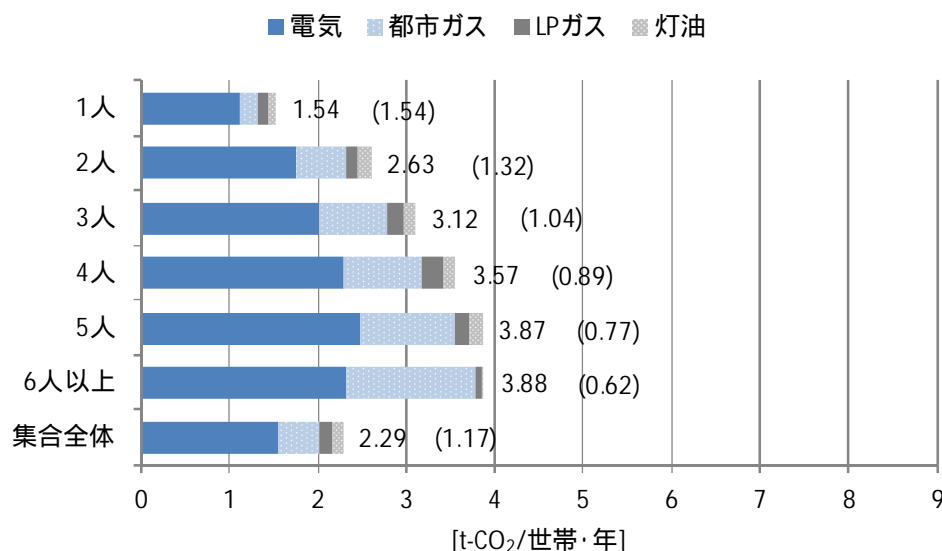


図 1-20 建て方別世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（集合）

(注1) 括弧内の数値は1人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注2) 1人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

(1 2) 建て方別世帯人数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

世帯人数の増加に伴い、戸建住宅の世帯では給湯の割合が高くなる傾向がみられる。集合住宅の世帯でも5人世帯までは同様の傾向がみられる。

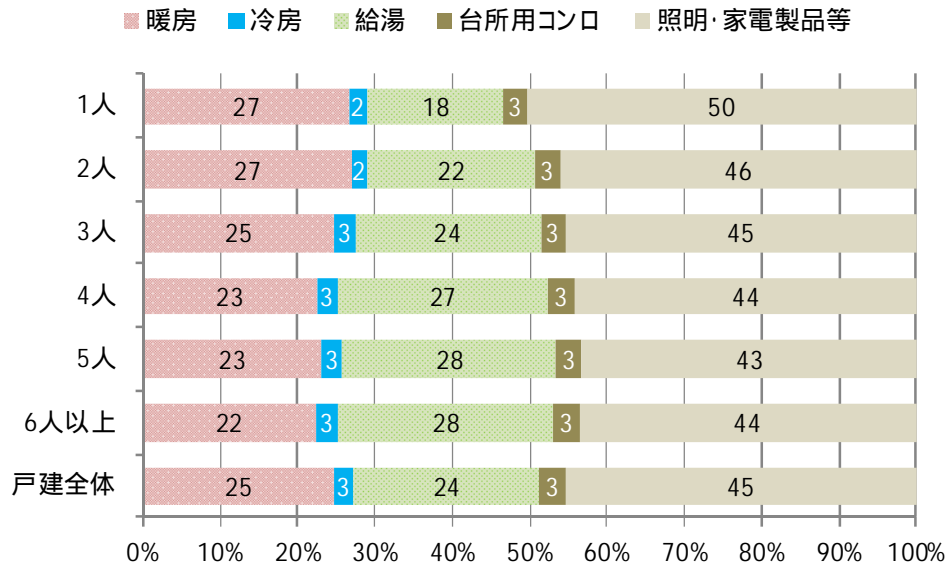


図 1-21 建て方別世帯人数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (戸建)

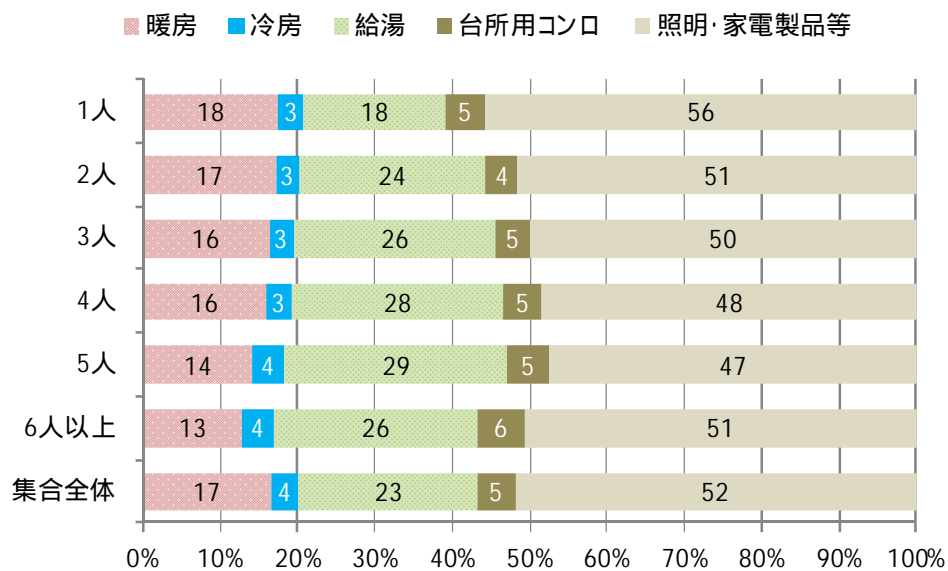


図 1-22 建て方別世帯人数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (集合)

(1 3) 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

年間世帯収入の増加に伴い、CO₂ 排出量が増加する傾向がみられる。ただし、集合住宅の世帯では 1000～1500 万円未満と 1500～2000 万円未満の世帯の排出量の差がほとんどみられない。なお、1 人当たり CO₂ 排出量は、明確な傾向がみられない。

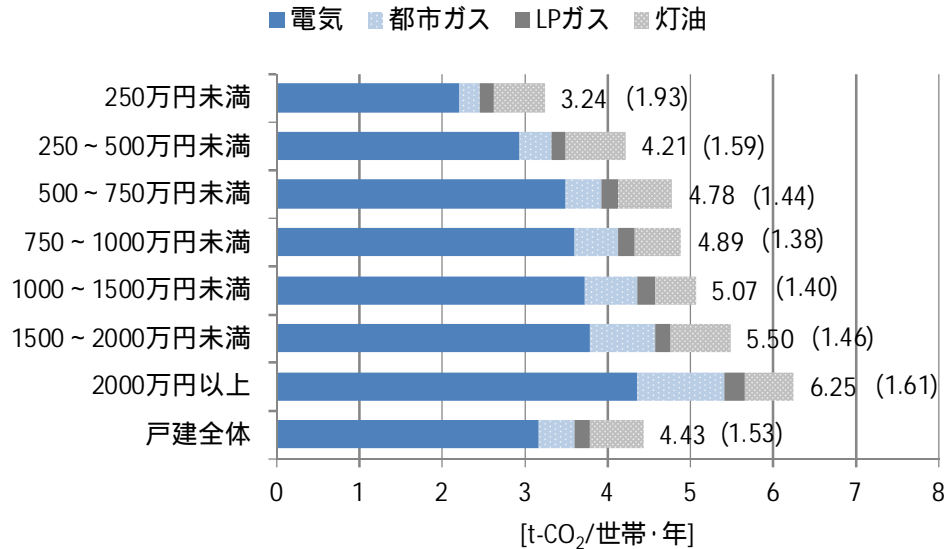


図 1-23 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量 (戸建)

(注 1) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注 2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

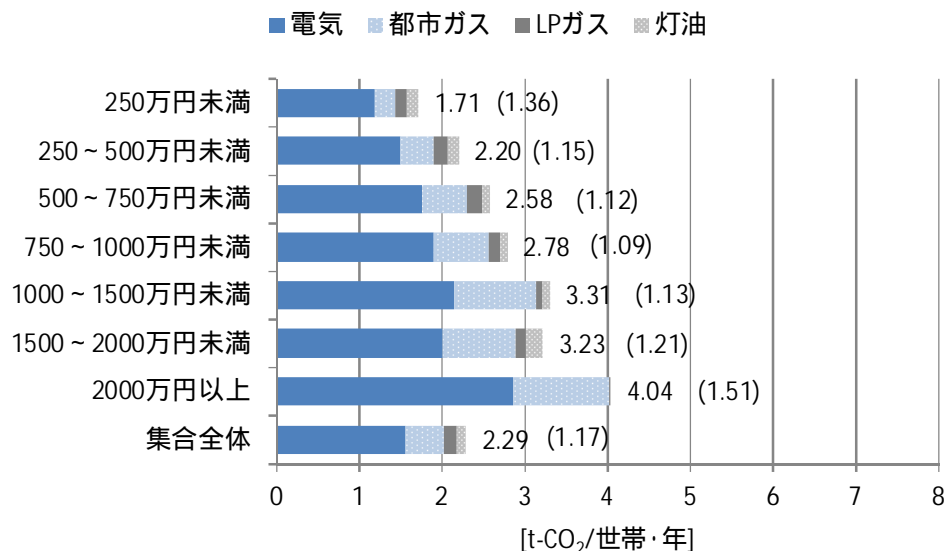


図 1-24 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量 (集合)

(注 1) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注 2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

(1 4) 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

年間世帯収入が 250 万円未満の世帯では給湯の割合がやや低く、照明・家電製品等の割合がやや高い。250 万円未満の世帯には単身世帯が多いことなどが影響していると考えられる。

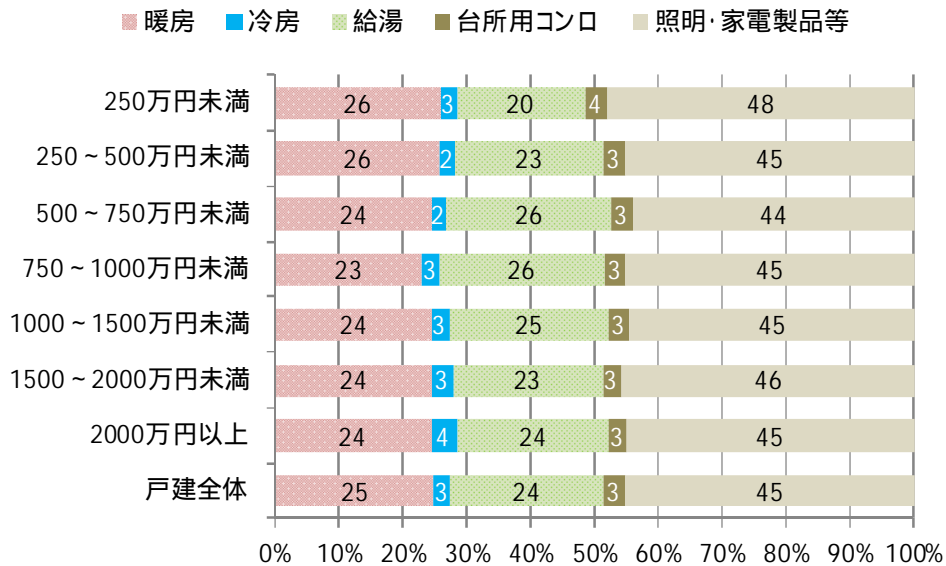


図 1-25 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (戸建)

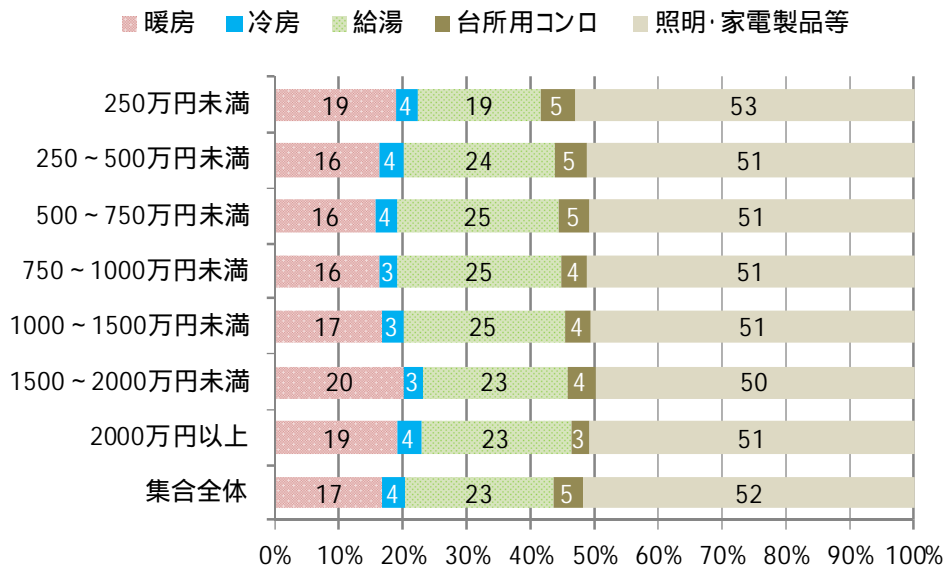


図 1-26 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (集合)

(1 5) 建て方別建築時期別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

建て方別に建築時期別の CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では建築時期が 2001～2005 年の世帯が最も排出量が多く、2011 年以降の世帯が最も少ない。建築時期が古い世帯ほど、灯油の使用に伴う排出量が多い。

集合住宅の世帯では 1996～2000 年の世帯が最も排出量が多く、2011 年以降の世帯が最も少ない。2011 年以降の世帯の排出量は 1996～2000 年の世帯の約 8 割の水準である。

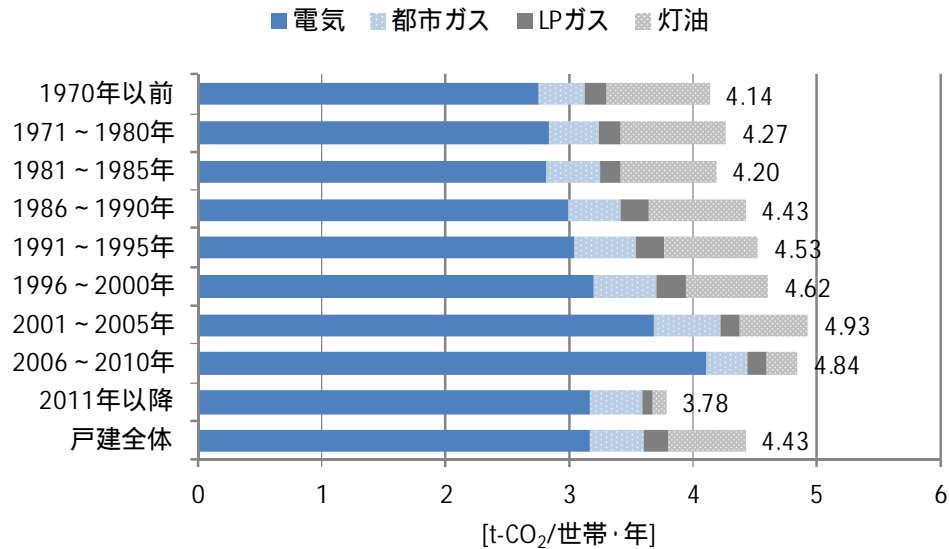


図 1-27 建て方別建築時期別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（戸建）

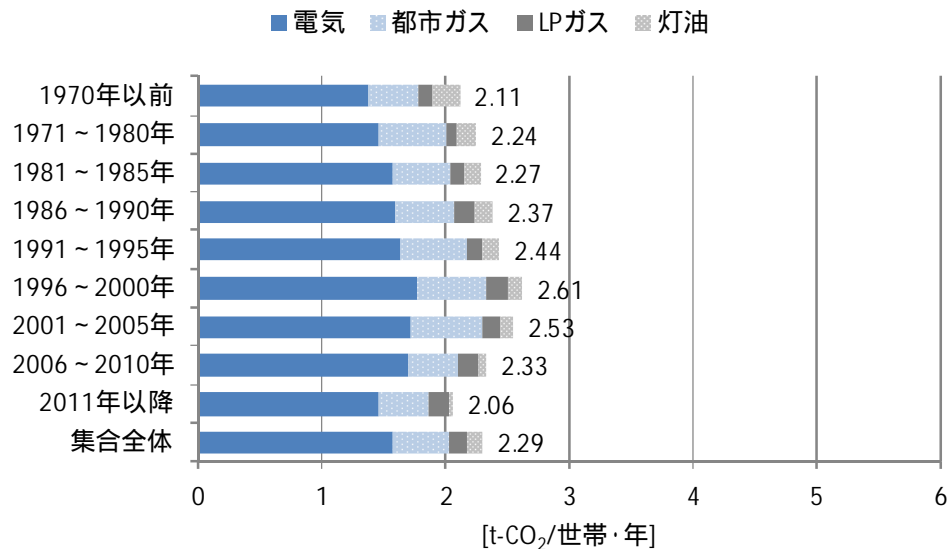


図 1-28 建て方別建築時期別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（集合）

(1 6) 建て方別建築時期別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

戸建住宅の世帯では建築時期が古い世帯ほど給湯の割合が低く、暖房の割合が高い傾向がみられる。

建て方によらず、2011年以降の世帯では戸建全体、集合全体と比べ用途別排出構成の明確な差はみられない。

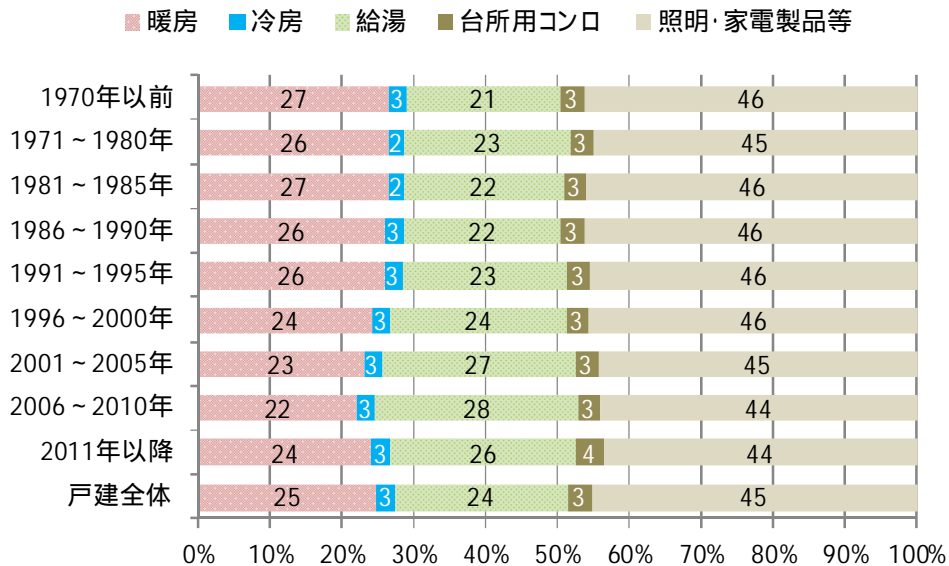


図 1-29 建て方別建築時期別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (戸建)

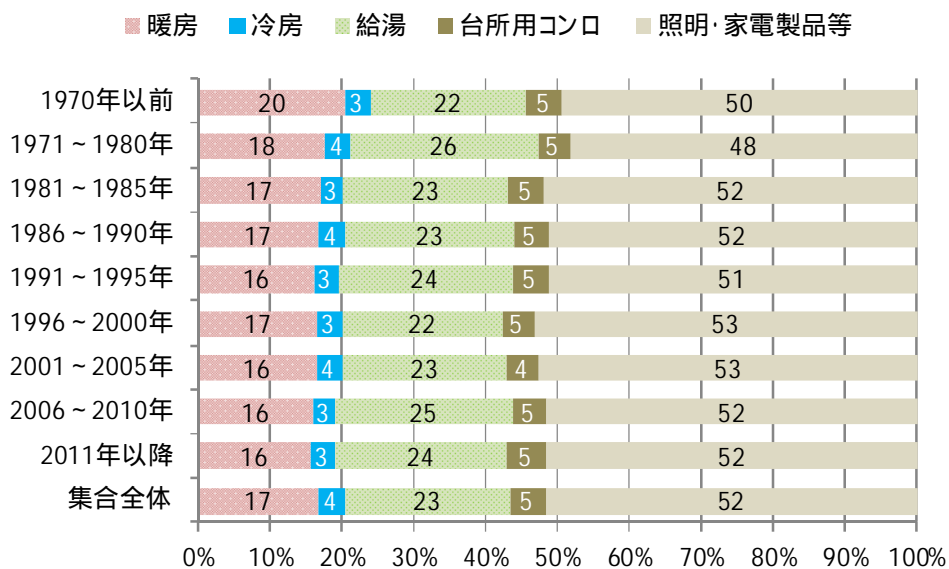


図 1-30 建て方別建築時期別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (集合)

(1 7) 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

建て方別に延べ床面積別の CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では延べ床面積の増加に伴い、排出量が増加する傾向がみられる。集合住宅の世帯でも 125 ~ 150 m²未満の世帯まで同様の傾向がみられる。

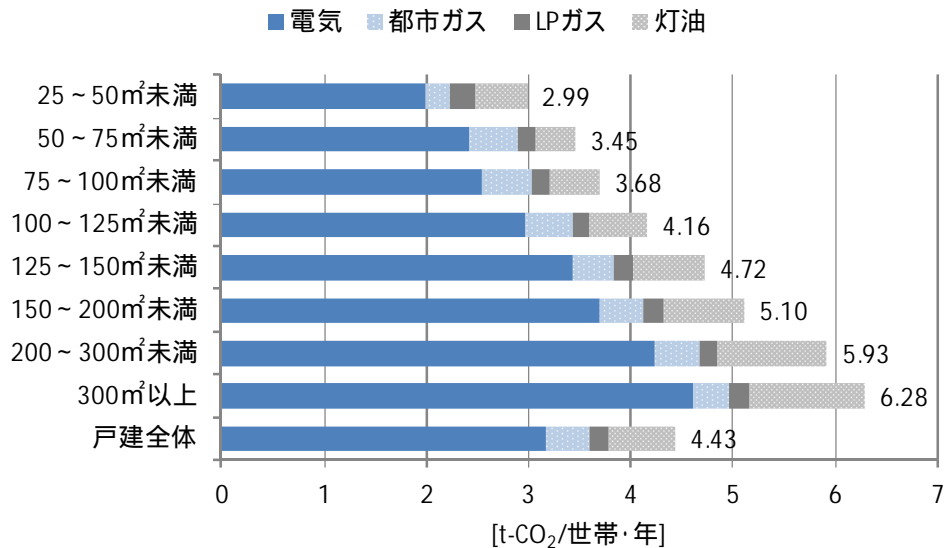


図 1-31 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量 (戸建)
 (注) 25 m²未満は集計世帯数が 10 未満のため表示していない。

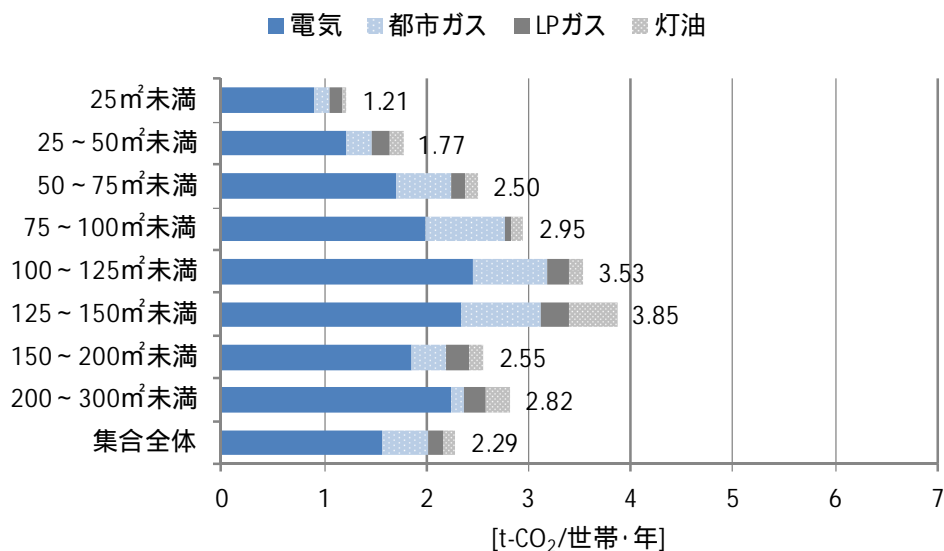


図 1-32 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量 (集合)
 (注) 300 m²以上は集計世帯数が 10 未満のため表示していない。

(1 8) 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

戸建住宅の世帯では、25～50㎡未満の世帯を除き、延べ床面積が大きい世帯ほど暖房の割合が高い傾向がみられる。

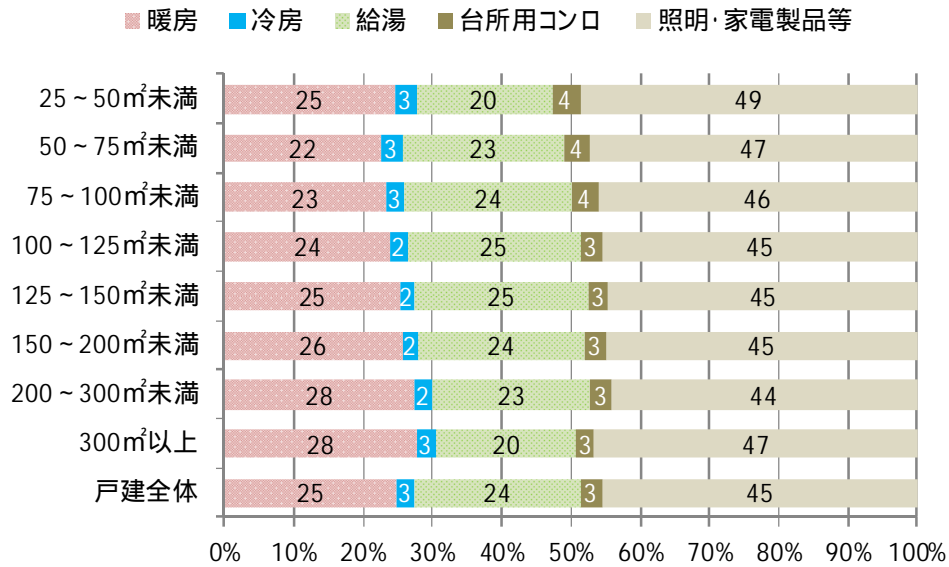


図 1-33 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比（戸建）

（注）25㎡未満は集計世帯数が10未満のため表示していない。

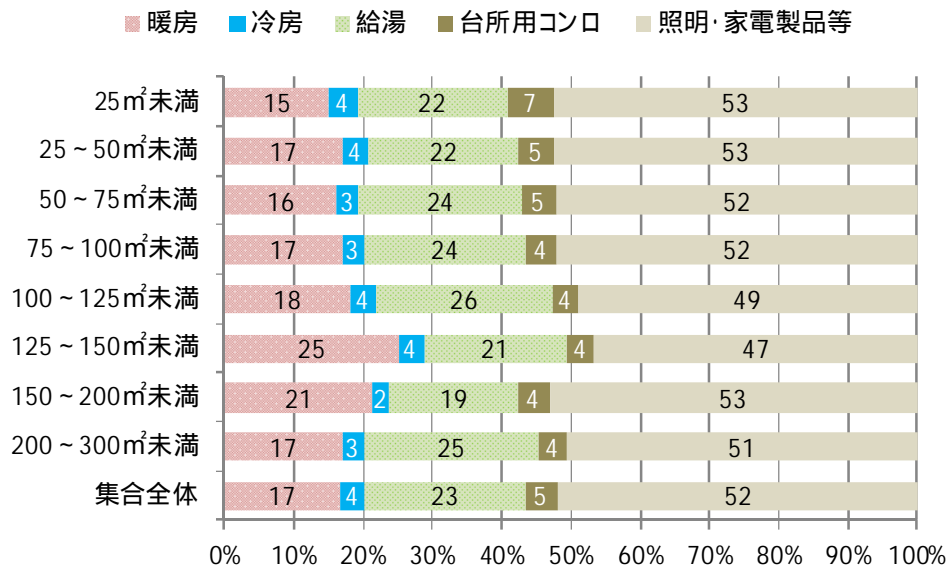


図 1-34 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比（集合）

（注）300㎡以上は集計世帯数が10未満のため表示していない。

(1 9) 建て方別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

自動車用燃料からの世帯当たりの年間 CO₂ 排出量は 1.31 トンであり、大部分がガソリンである。

戸建住宅の世帯の排出量は集合住宅の世帯の約 2 倍であり、自動車の使用台数や使用頻度に差があることなどが影響していると考えられる。

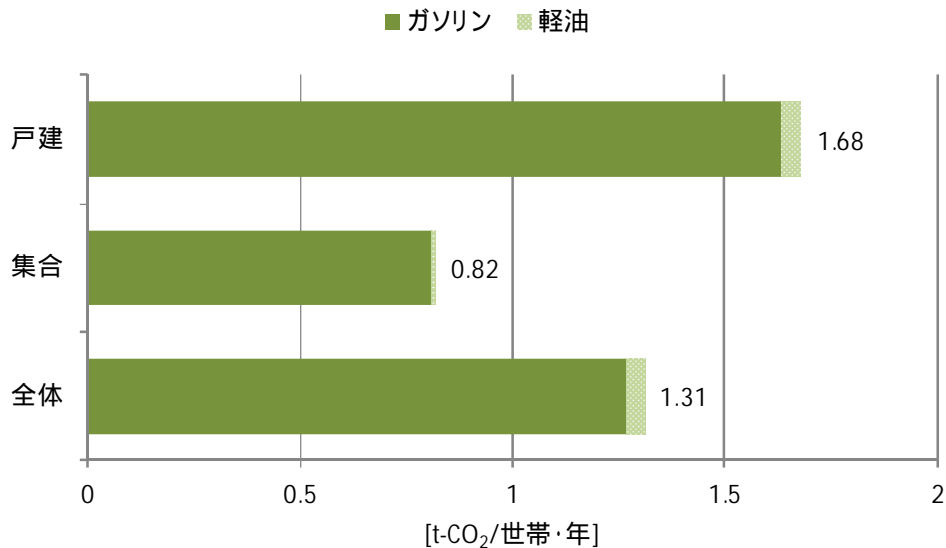


図 1-35 建て方別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

(2 0) 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

単身世帯の自動車用燃料からの CO₂ 排出量は夫婦と子の世帯の 2 ~ 4 割の水準である。若中年世帯の排出量は高齢世帯より多い。

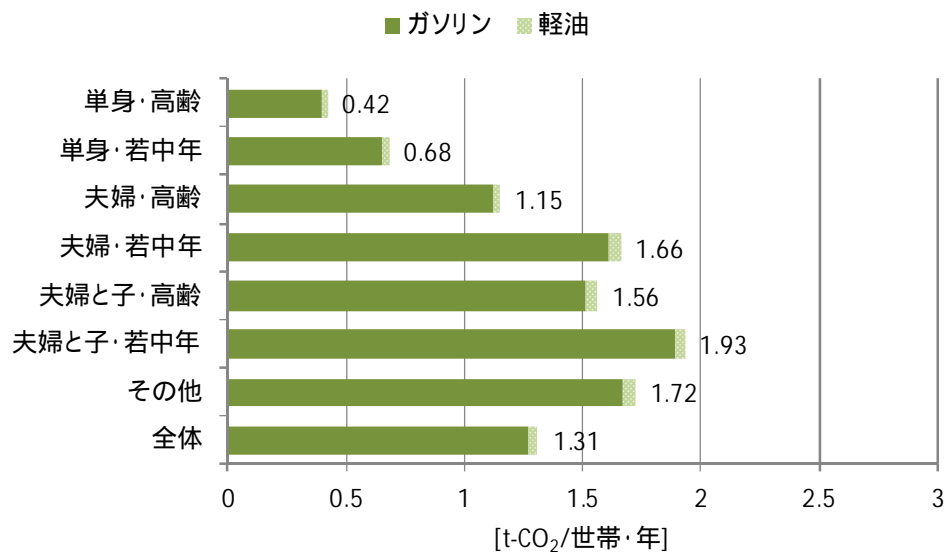


図 1-36 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

(2 1) 世帯当たり月別エネルギー種別 CO₂ 排出量

CO₂ 排出量を月別に比較すると、暖房や給湯の需要が増加する冬季の排出量が多く1月が最大であり、12～2月の排出量は年間排出量の約36%を占める。夏季にも冷房需要により排出量がやや増加する。

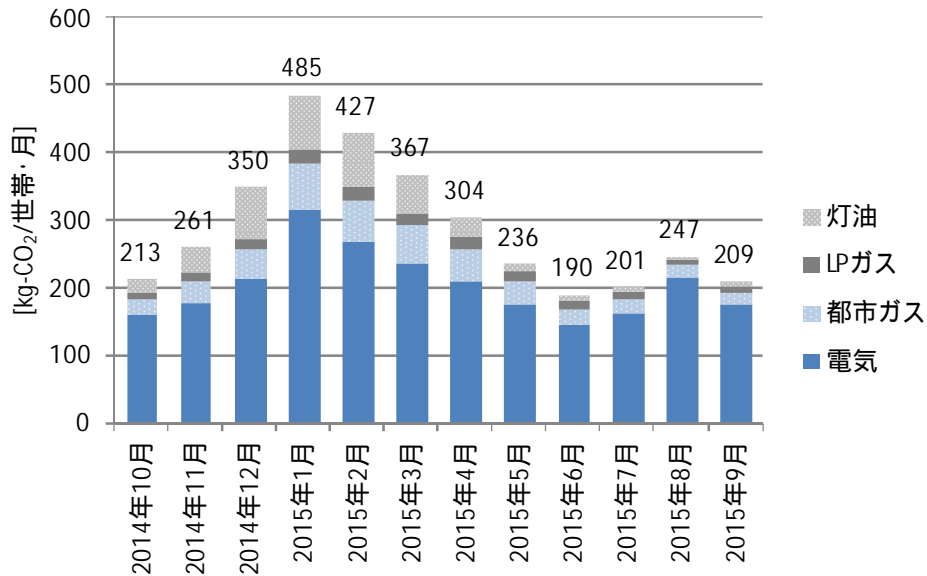


図 1-37 世帯当たり月別エネルギー種別 CO₂ 排出量

(2 2) 建て方別世帯当たり月別 CO₂ 排出量 (電気・ガス・灯油の合計)

月別 CO₂ 排出量を建て方別に比較すると、暖房需要が多い戸建住宅の世帯の季節変化が比較的大きい。

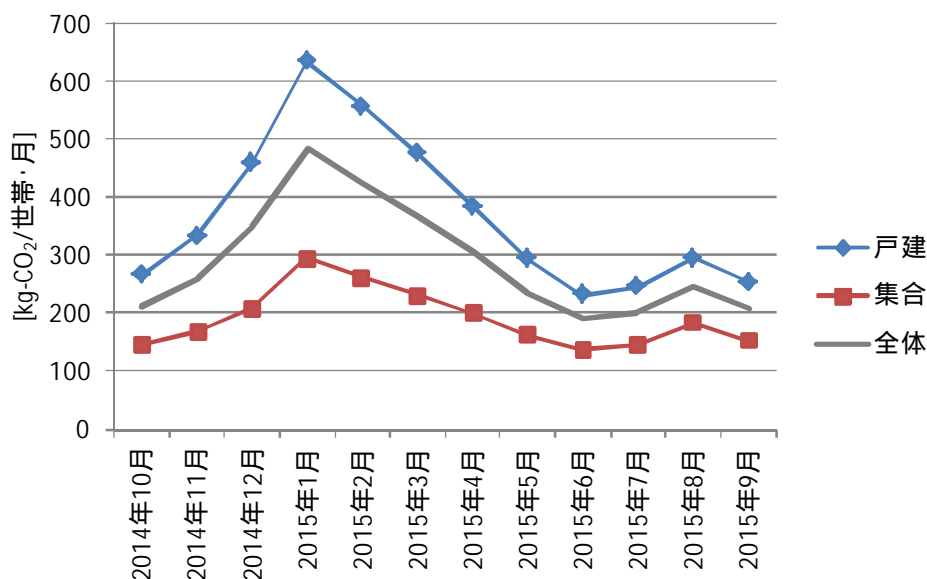


図 1-38 建て方別世帯当たり月別 CO₂ 排出量 (電気・ガス・灯油の合計)

2 CO₂排出量の世帯分布

(1) 建て方別世帯当たり年間CO₂排出量(電気・ガス・灯油の合計)の世帯分布

地方により気候が異なることや世帯タイプの違いなどにより年間CO₂排出量にばらつきがみられる。戸建住宅の世帯では排出量が3～4トンの世帯が最も多く、集合住宅の世帯では2～3トンの世帯が最も多い。

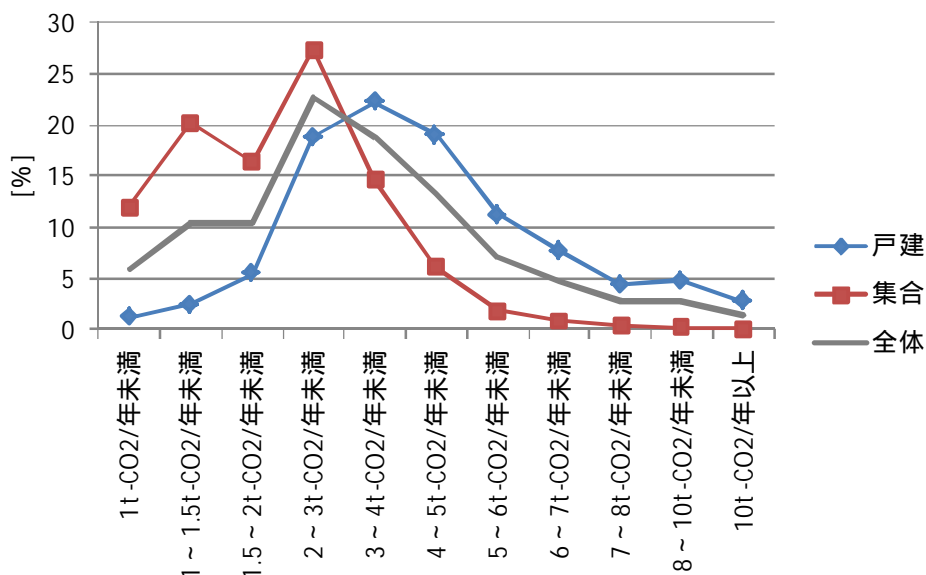


図 1-39 建て方別世帯当たり年間CO₂排出量(電気・ガス・灯油の合計)の世帯分布

(2) 世帯類型別世帯当たり年間CO₂排出量(電気・ガス・灯油の合計)の世帯分布

世帯類型別にみても気候、住宅その他の違いにより排出量にばらつきがみられる。

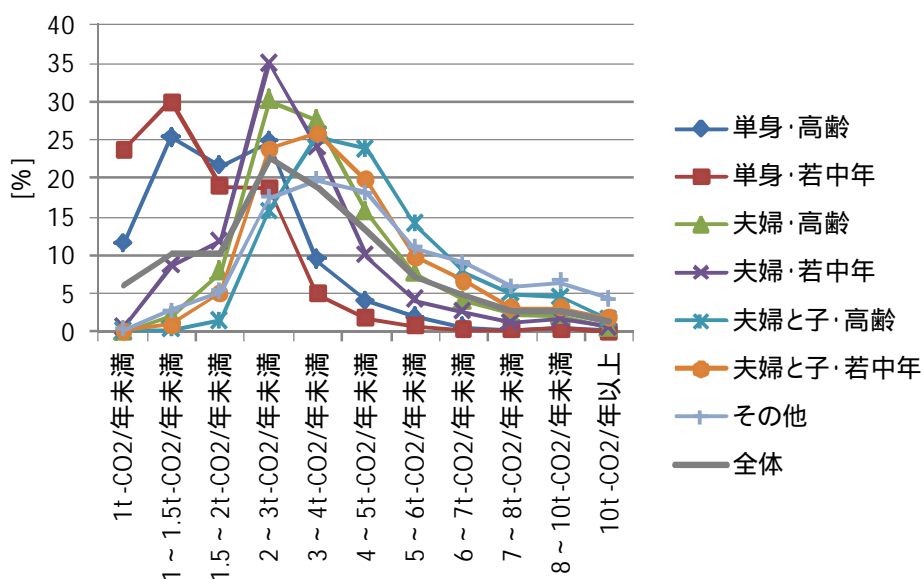


図 1-40 世帯類型別世帯当たり年間CO₂排出量(電気・ガス・灯油の合計)の世帯分布

(3) 建て方別世帯当たり年間 CO₂ 排出量 (自動車用燃料の合計) の世帯分布

自動車用燃料からの年間 CO₂ 排出量については、自動車を使用していない (排出量 0 トン) 世帯を除くと、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも 1 ~ 2 トンの世帯が最も多い。

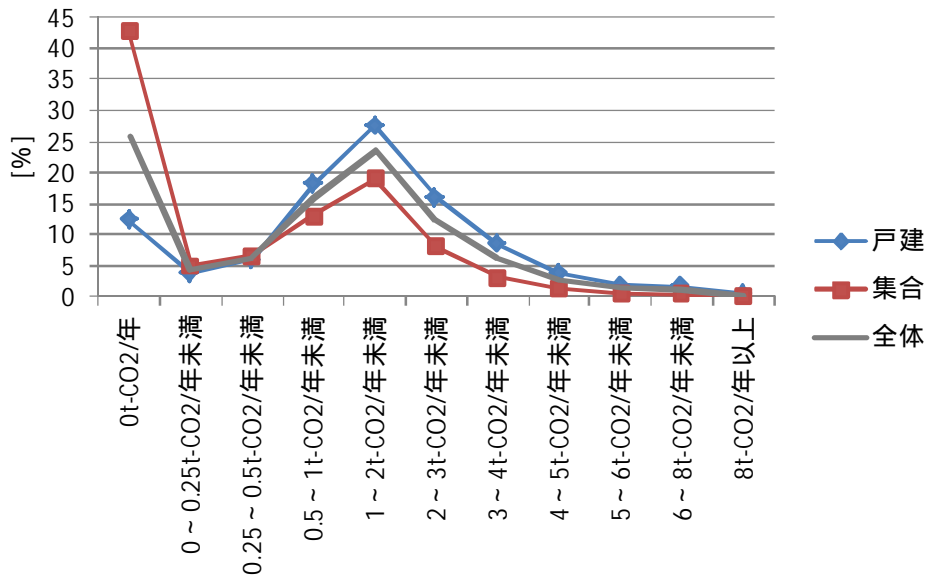


図 1-41 建て方別世帯当たり年間 CO₂ 排出量 (自動車用燃料の合計) の世帯分布

(4) 世帯類型別世帯当たり年間 CO₂ 排出量 (自動車用燃料の合計) の世帯分布

世帯類型別にみても、単身・高齢世帯以外では、自動車用燃料からの年間 CO₂ 排出量が 1 ~ 2 トンの世帯が最も多い。

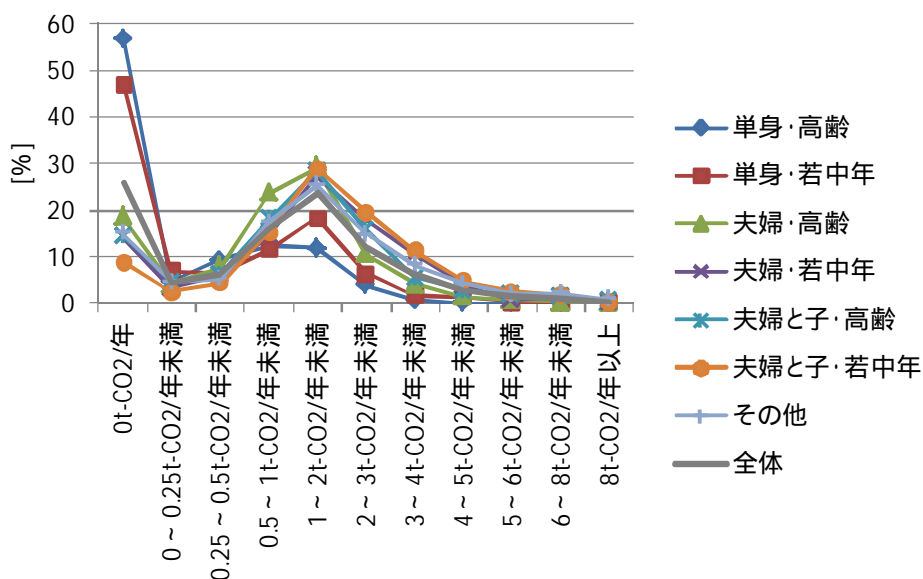


図 1-42 世帯類型別世帯当たり年間 CO₂ 排出量 (自動車用燃料の合計) の世帯分布

3 エネルギー消費量

(1) 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

世帯当たりの年間エネルギー消費量は33.5GJであり、電気が約5割を占める。戸建住宅の世帯の消費量は集合住宅の世帯の約1.7倍である。

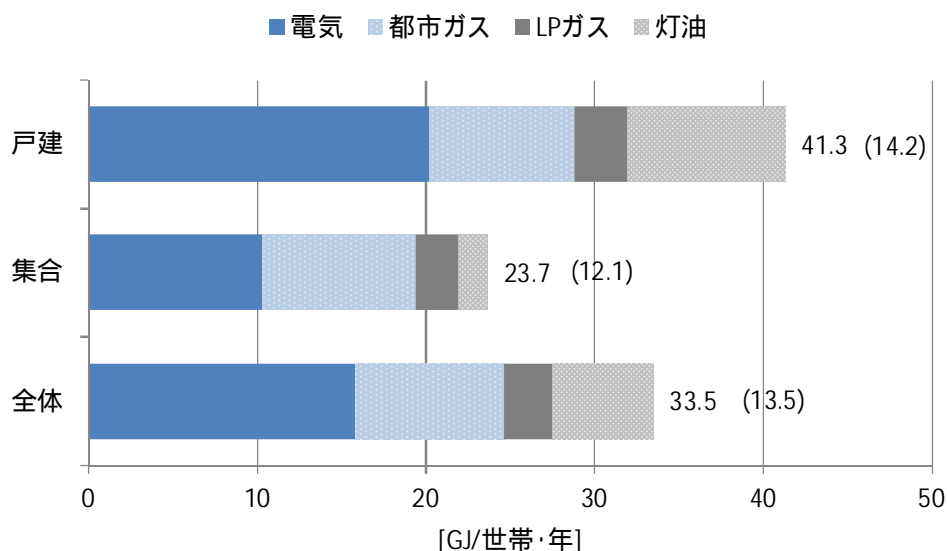


図 1-43 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

(注1)括弧内の数値は1人当たりのエネルギー消費量を表す。

(注2)1人当たりのエネルギー消費量は、平均の消費量を平均世帯人数で除して算出している。

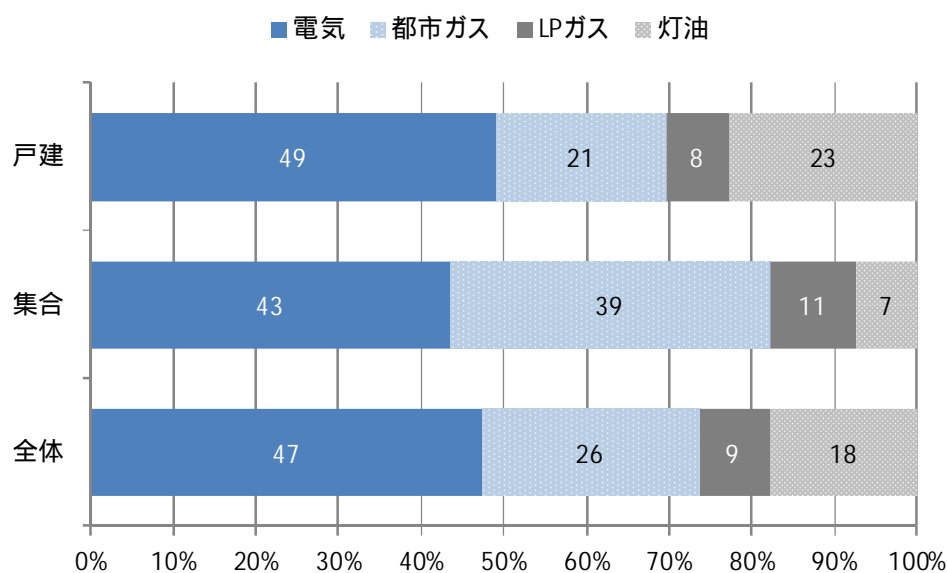


図 1-44 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(2) 建て方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比

建て方別に用途別エネルギー消費量を比較すると戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯に対し、暖房が約3倍となっている。

構成比をみると、戸建住宅の世帯で照明・家電製品等、給湯、暖房が約3割ずつを占めるのに対して、集合住宅の世帯では暖房が低く、給湯の割合が高い。

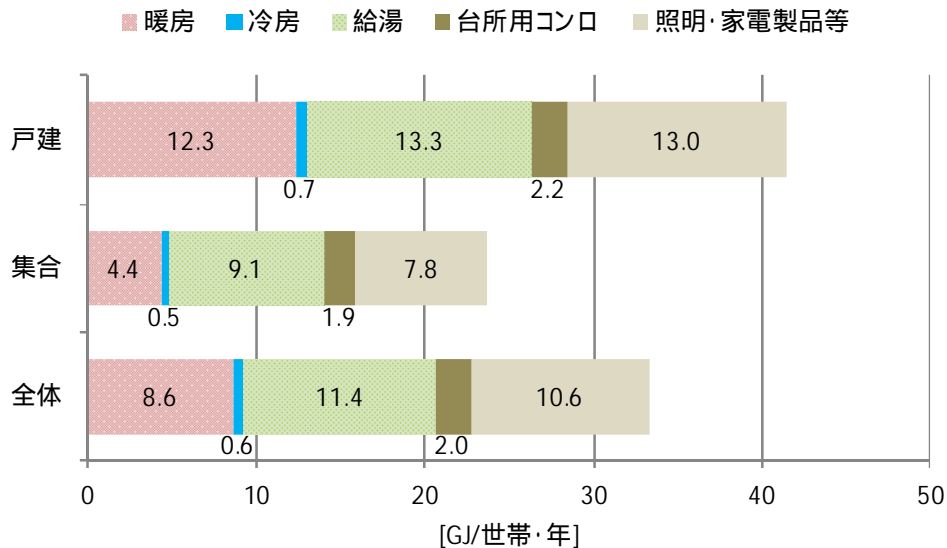


図 1-45 建て方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

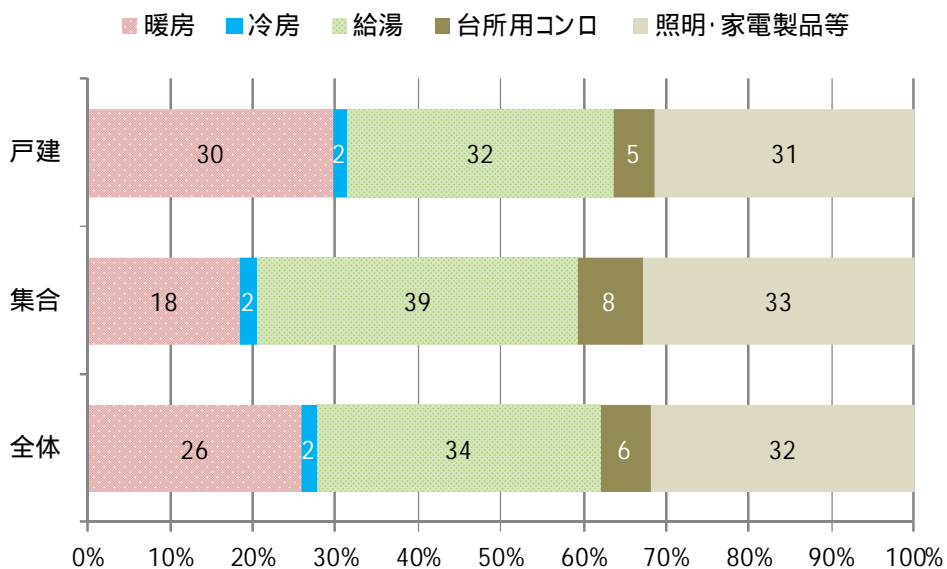


図 1-46 建て方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

(3) 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

世帯類型別にエネルギー消費量を比較すると、単身世帯では夫婦と子の世帯の約4割の水準である。

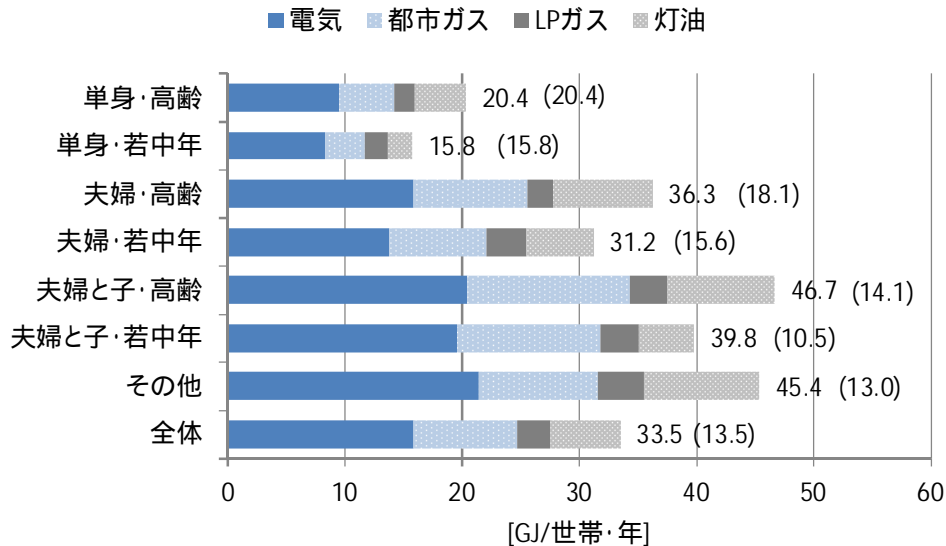


図 1-47 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのエネルギー消費量を表す。

(注2) 1人当たりのエネルギー消費量は、平均の消費量を平均世帯人数で除して算出している。

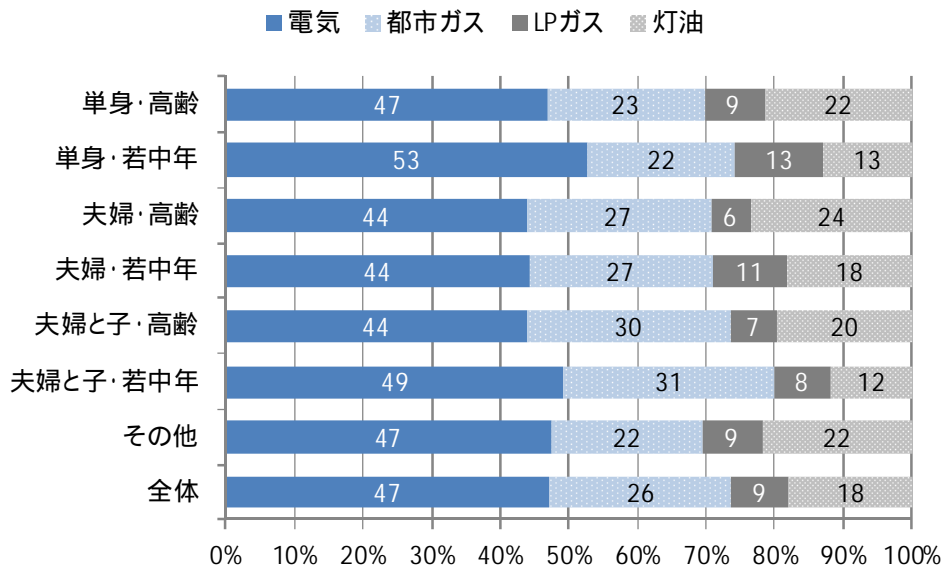


図 1-48 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(4) 世帯類型別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比

世帯類型別に用途別エネルギー消費量を比較すると、単身世帯では給湯の割合が低く、照明・家電製品等の割合が高い。

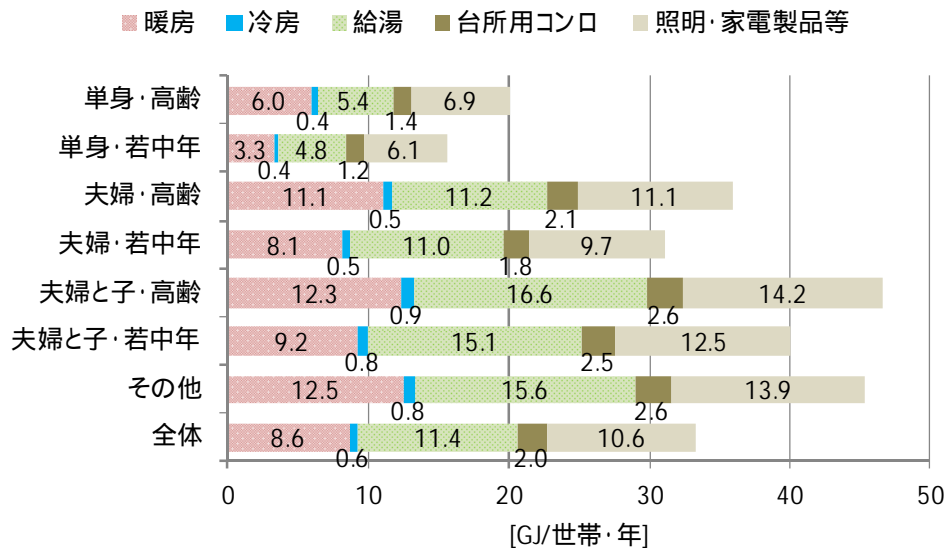


図 1-49 世帯類型別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

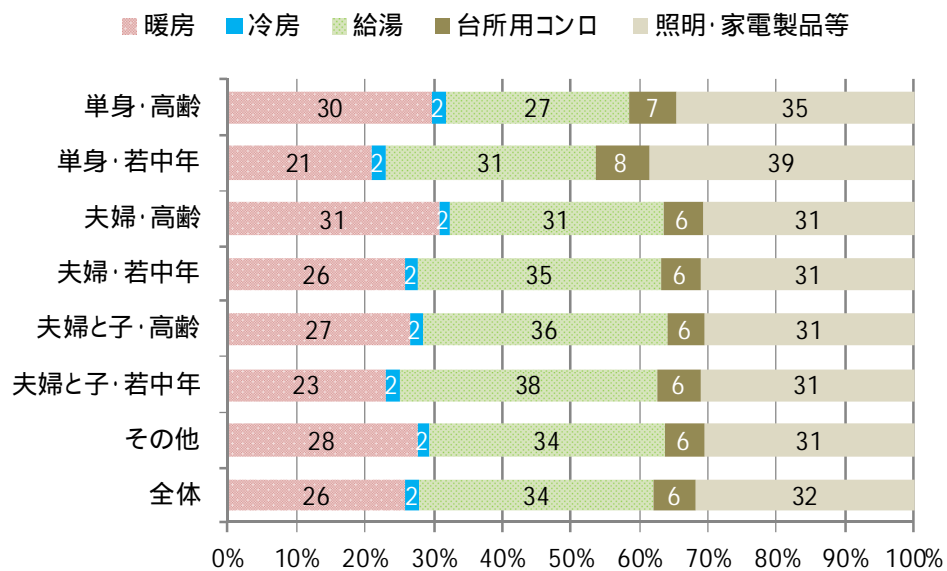


図 1-50 世帯類型別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

(5) 世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

世帯主年齢別にエネルギー消費量を比較すると、60歳以上を除き、年齢が高いほど消費量は多い。

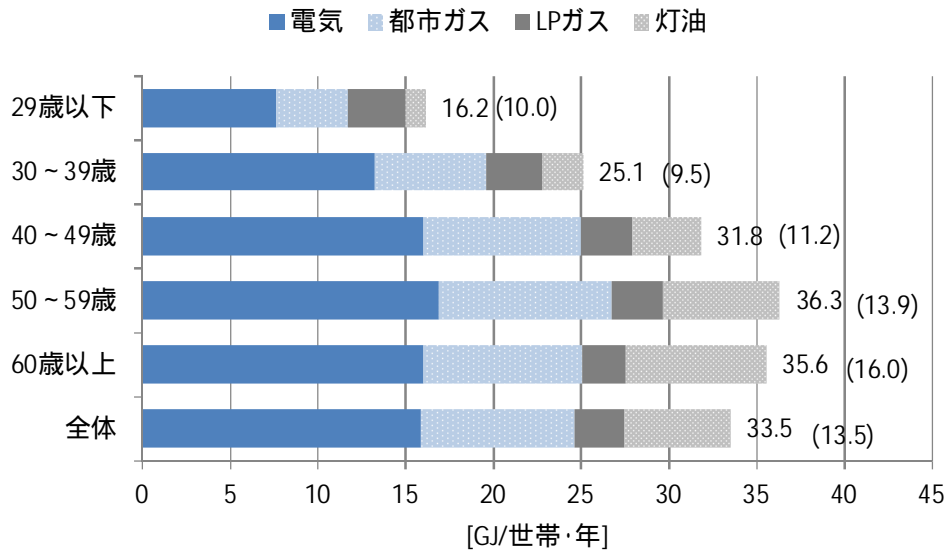


図 1-51 世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのエネルギー消費量を表す。

(注2) 1人当たりのエネルギー消費量は、平均の消費量を平均世帯人数で除して算出している。

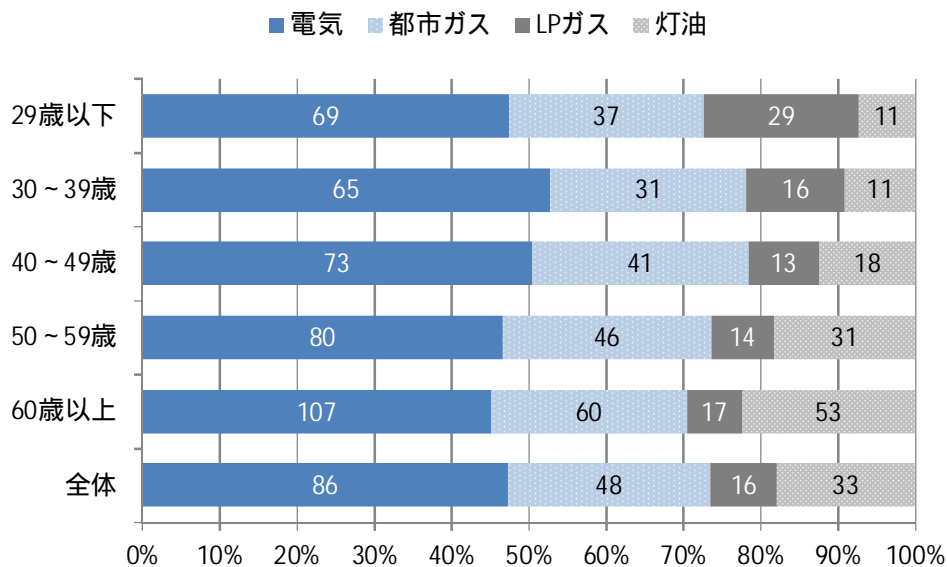


図 1-52 世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(6) 世帯主年齢別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比

世帯主年齢別に用途別エネルギー消費量を比較すると、50～59歳の消費量は、29歳以下に比べ、給湯及び照明・家電製品等では約2倍、暖房では約4倍である。

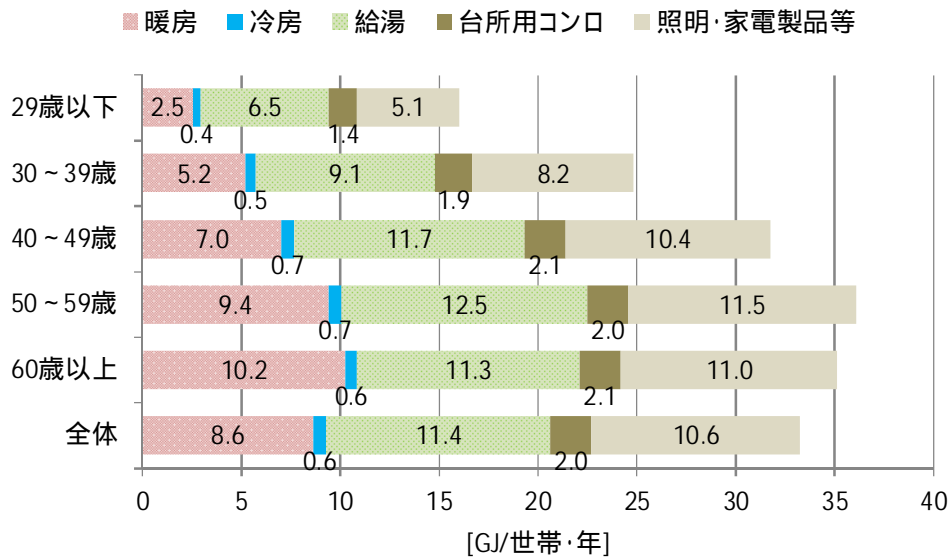


図 1-53 世帯主年齢別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

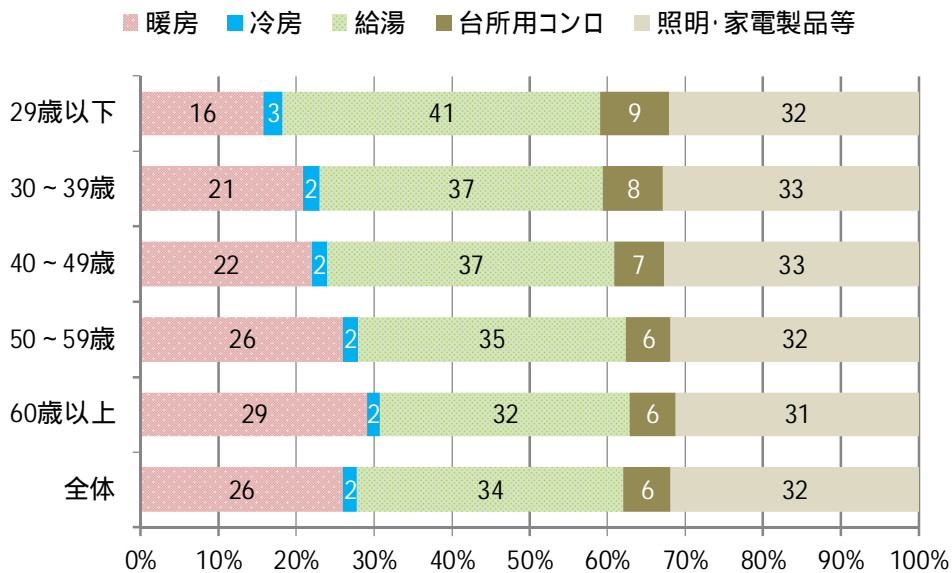


図 1-54 世帯主年齢別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

(7) 世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

世帯人数別にエネルギー消費量を比較すると、世帯人数の増加に伴い消費量が増加している。

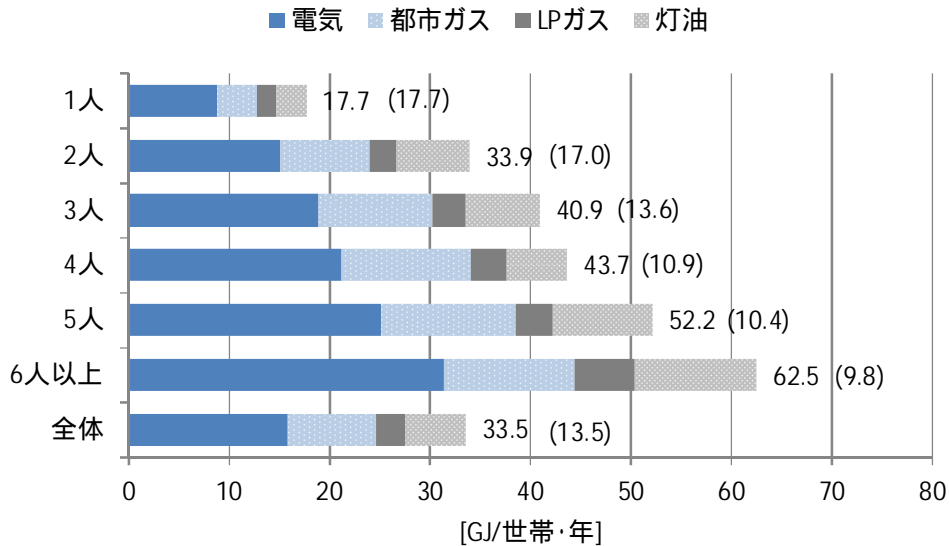


図 1-55 世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのエネルギー消費量を表す。

(注2) 1人当たりのエネルギー消費量は、平均の消費量を平均世帯人数で除して算出している。

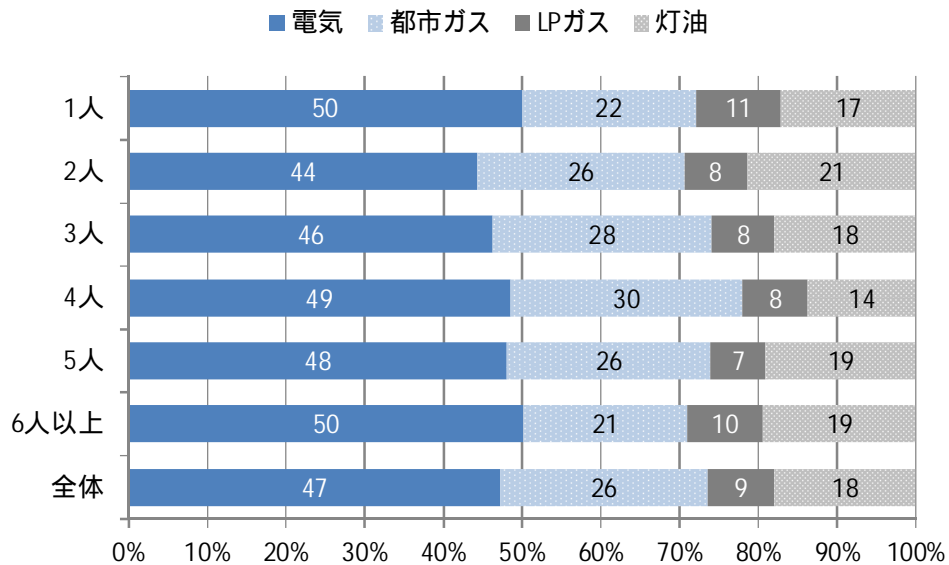


図 1-56 世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(8) 世帯人数別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比

世帯人数別に用途別エネルギー消費量を比較すると、世帯人数の増加に伴い全ての用途の消費量が増加傾向にある。

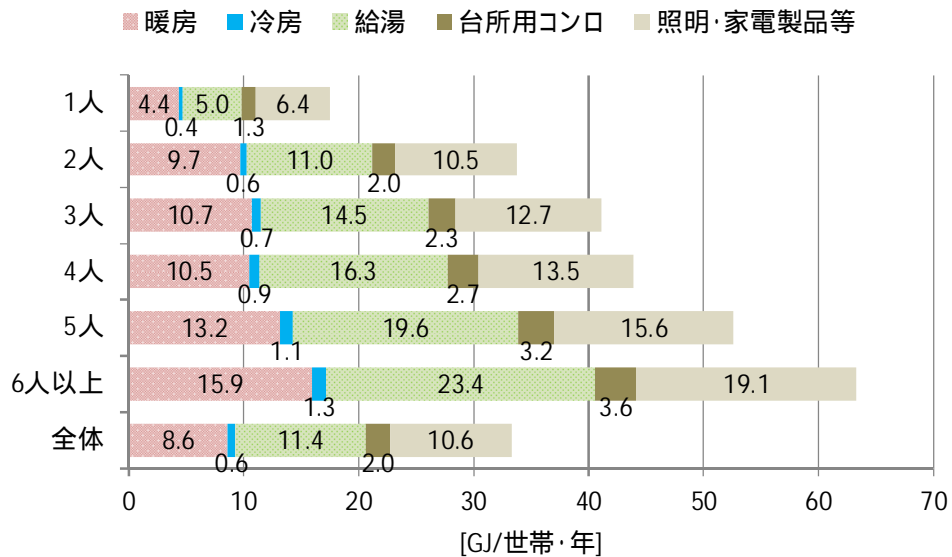


図 1-57 世帯人数別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

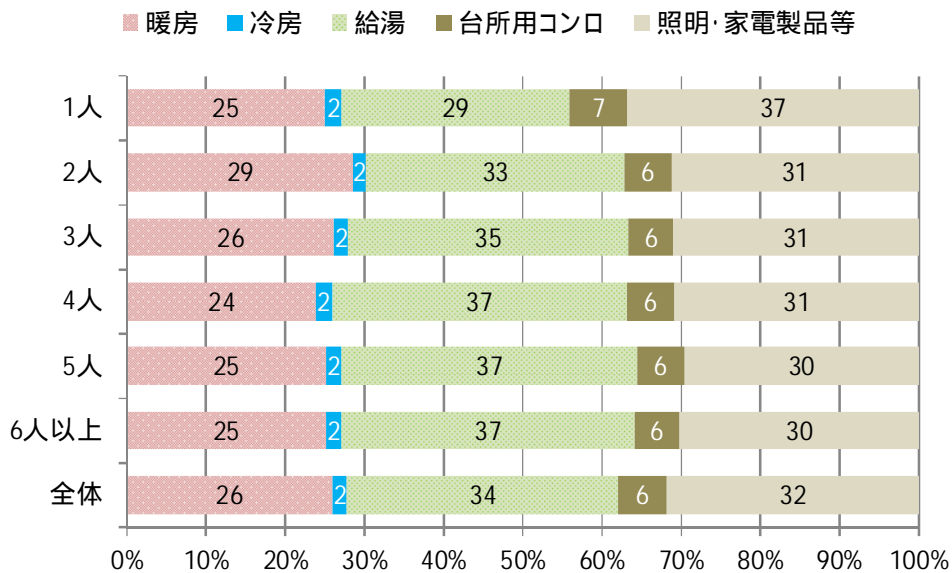


図 1-58 世帯人数別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

(9) 年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

年間世帯収入別にエネルギー消費量を比較すると、年間世帯収入の増加に伴い消費量が増加している。

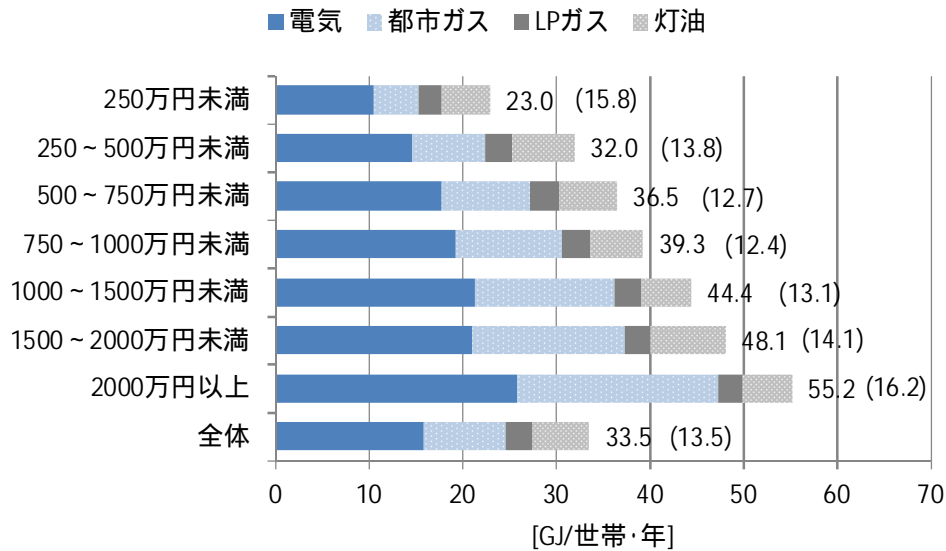


図 1-59 年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのエネルギー消費量を表す。

(注2) 1人当たりのエネルギー消費量は、平均の消費量を平均世帯人数で除して算出している。

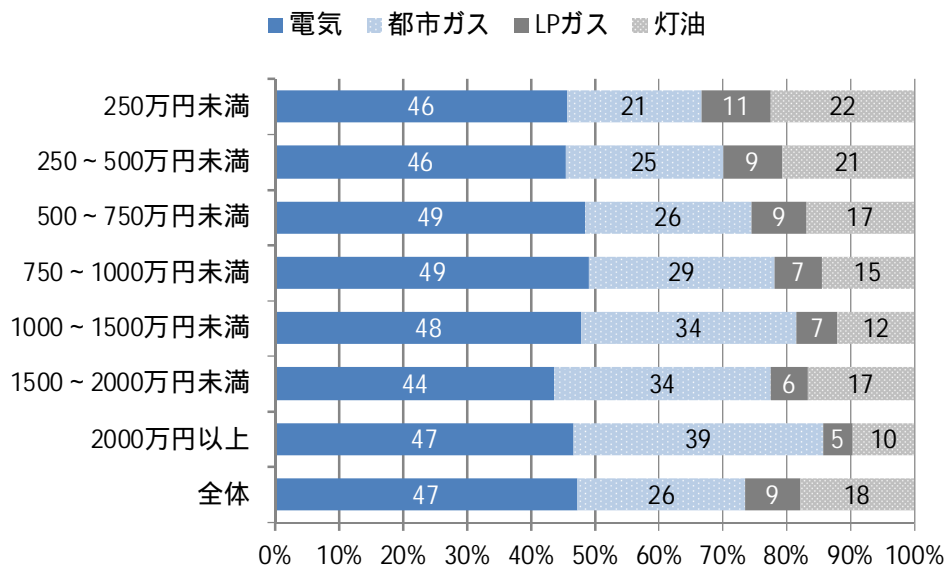


図 1-60 年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(1 0) 年間世帯収入別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比
 年間世帯収入別に用途別エネルギー消費量を比較すると、全ての用途の消費量が
 増加している。

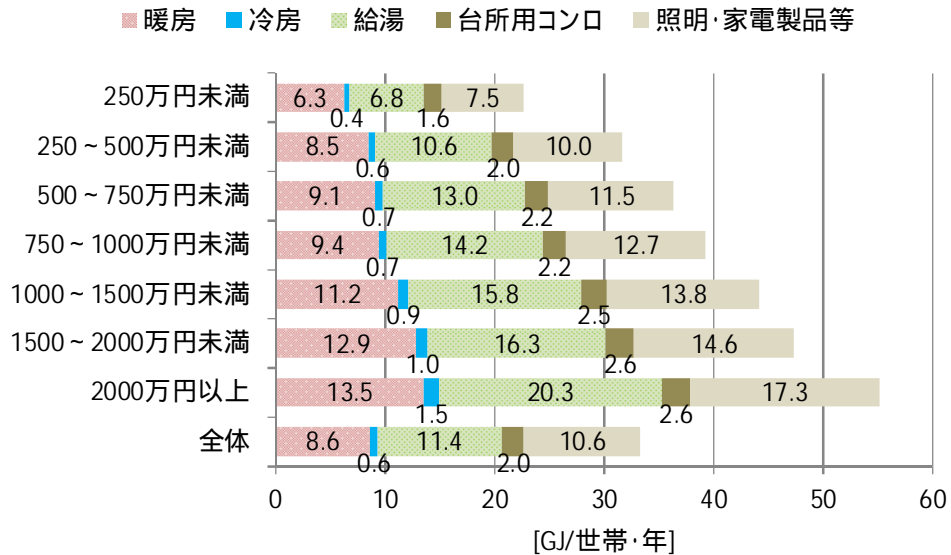


図 1-61 年間世帯収入別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

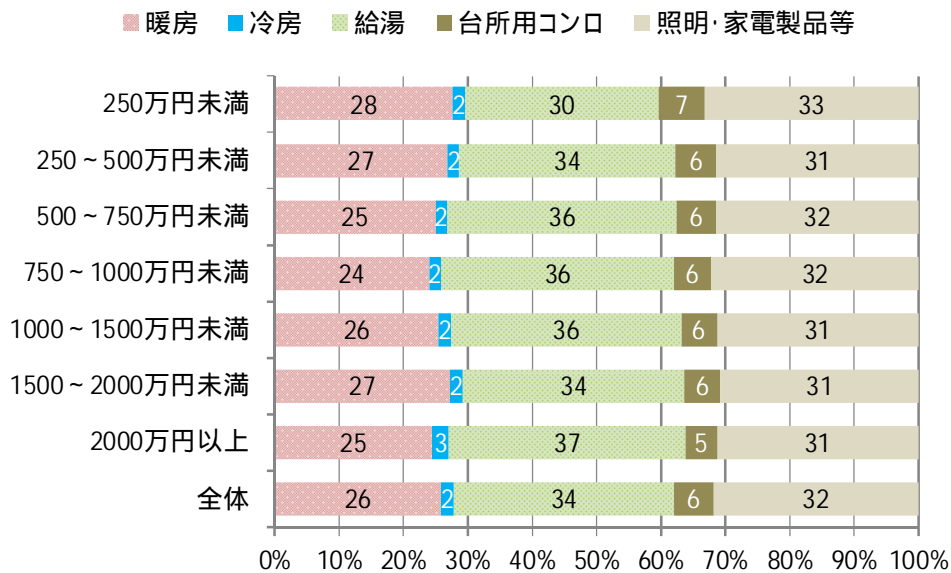


図 1-62 年間世帯収入別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

4 エネルギー消費量（固有単位）

（1）建て方別世帯当たり年間電気消費量（固有単位）

世帯当たりの電気の年間消費量を固有単位 (kWh) に換算すると 4,397kWh である。

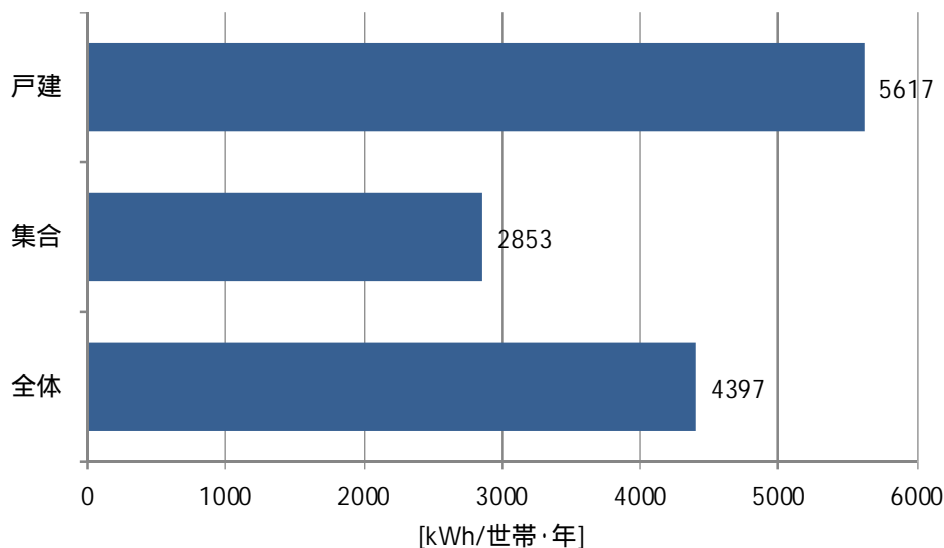


図 1-63 建て方別世帯当たり年間電気消費量（固有単位）

（2）建て方別世帯当たり年間都市ガス消費量（固有単位）

世帯当たりの都市ガスの年間消費量を固有単位 (m^3) に換算すると $220m^3$ である。
なお、この値は都市ガスを使用していない世帯を含む。

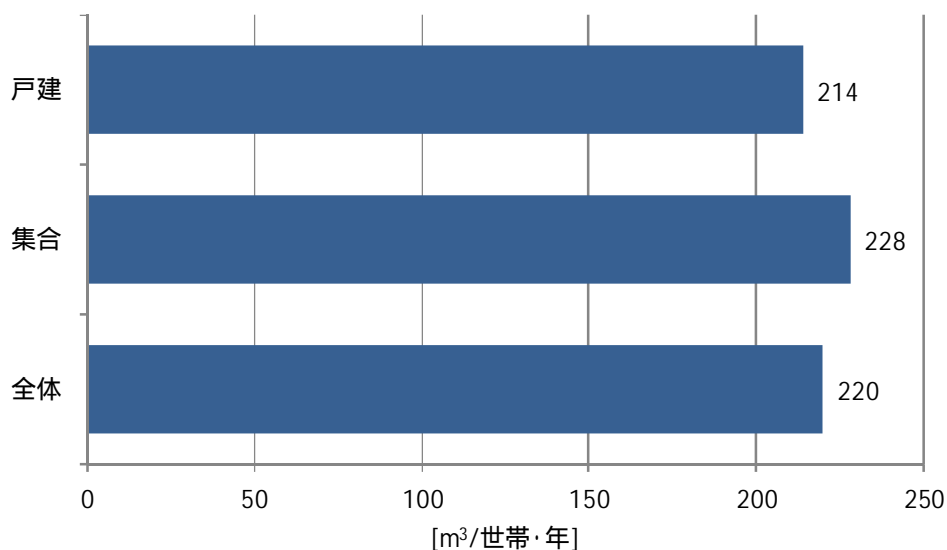


図 1-64 建て方別世帯当たり年間都市ガス消費量（固有単位）

(注1) 都市ガスを使用していない世帯を含む平均値。

(注2) $1 m^3=40.11MJ$ (総合エネルギー統計, 2013 標準発熱量) で換算。

(3) 建て方別世帯当たり年間LPガス消費量(固有単位)

世帯当たりのLPガスの年間消費量を固有単位(m^3)に換算すると $29m^3$ である。なお、この値はLPガスを使用していない世帯を含む。

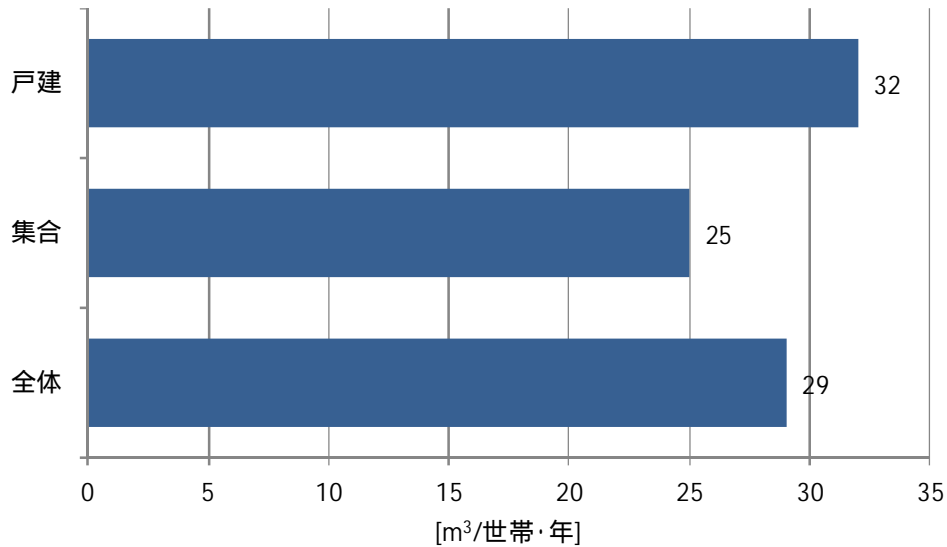


図 1-65 建て方別世帯当たり年間LPガス消費量(固有単位)

(注)LPガスを使用していない世帯を含む平均値。

(4) 建て方別世帯当たり年間灯油消費量(固有単位)

世帯当たりの灯油の年間消費量を固有単位(L)に換算すると165Lである。なお、この値は灯油を使用していない世帯を含む。

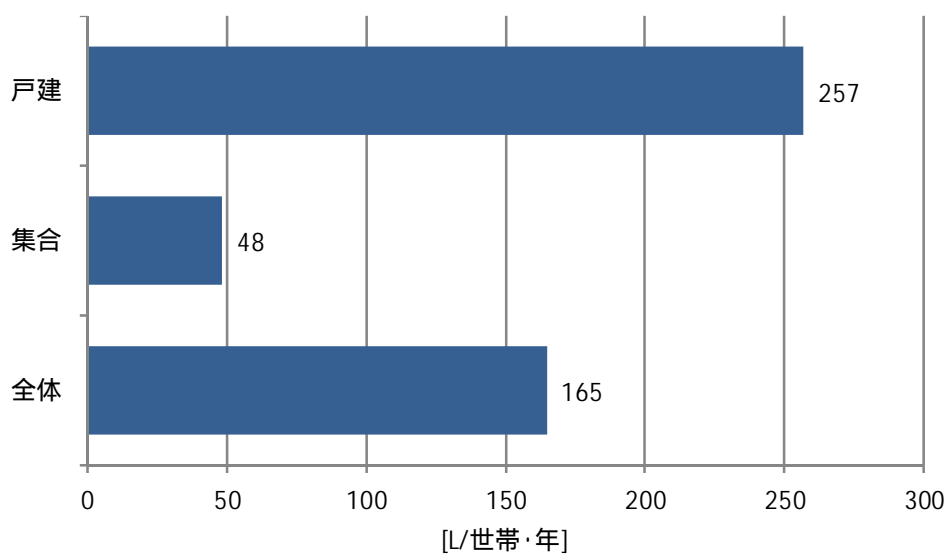


図 1-66 建て方別世帯当たり年間灯油消費量(固有単位)

(注)灯油を使用していない世帯を含む平均値。

(5) 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料消費量 (固有単位)

世帯当たりの自動車用燃料の年間消費量を固有単位 (L) に換算するとガソリンは 554L、軽油は 14L である。なお、この値は各燃料を使用していない世帯を含む。

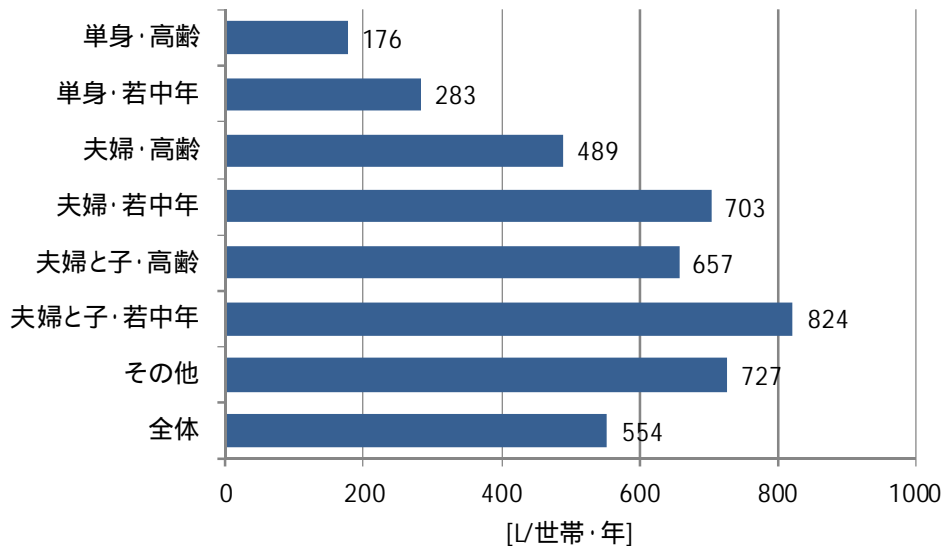


図 1-67 世帯類型別世帯当たり年間ガソリン消費量 (固有単位)
(注)ガソリンを使用していない世帯を含む平均値。

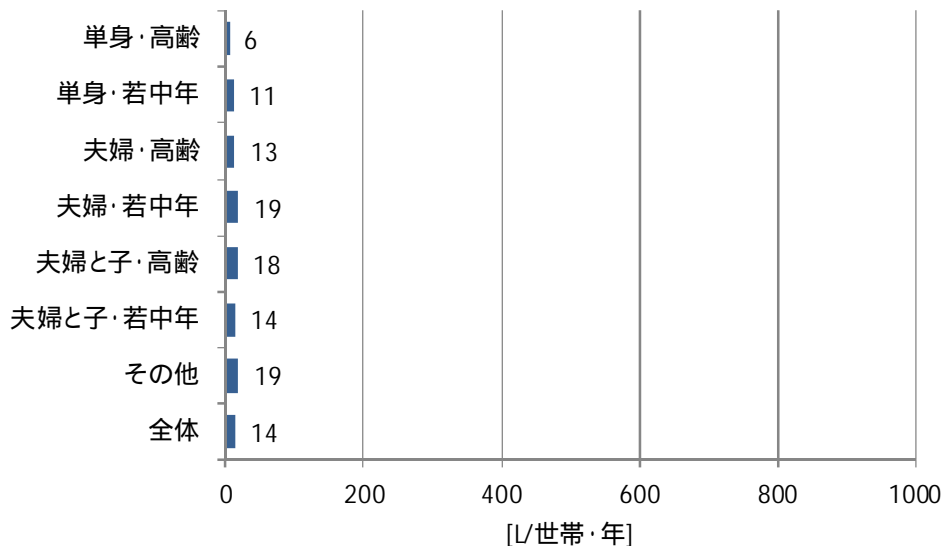


図 1-68 世帯類型別世帯当たり年間軽油消費量 (固有単位)
(注)軽油を使用していない世帯を含む平均値。

5 支払金額

(1) 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額

世帯当たりの電気・ガス・灯油の年間合計支払金額は 18.8 万円である。

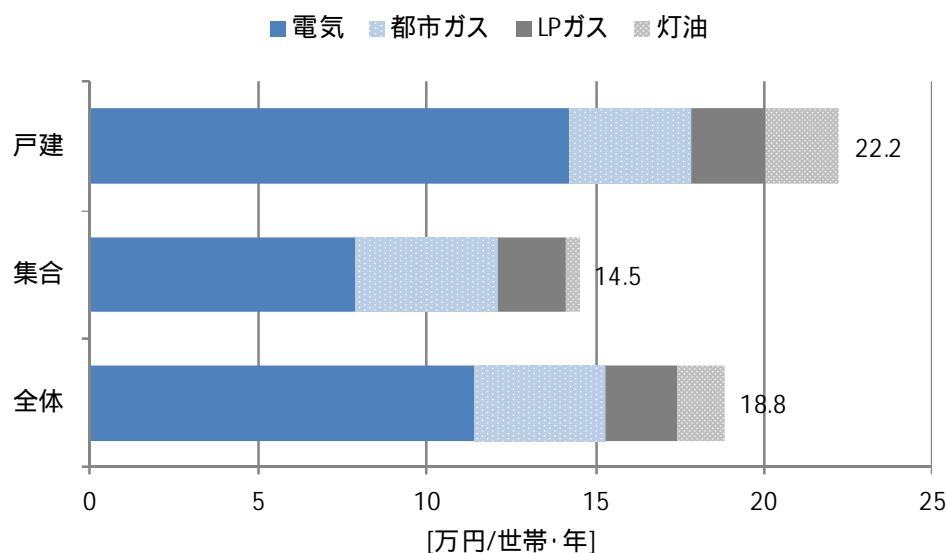


図 1-69 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額

(2) 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額

単身世帯の電気・ガス・灯油の年間合計支払金額は夫婦と子の世帯の約 5 割の水
準である。

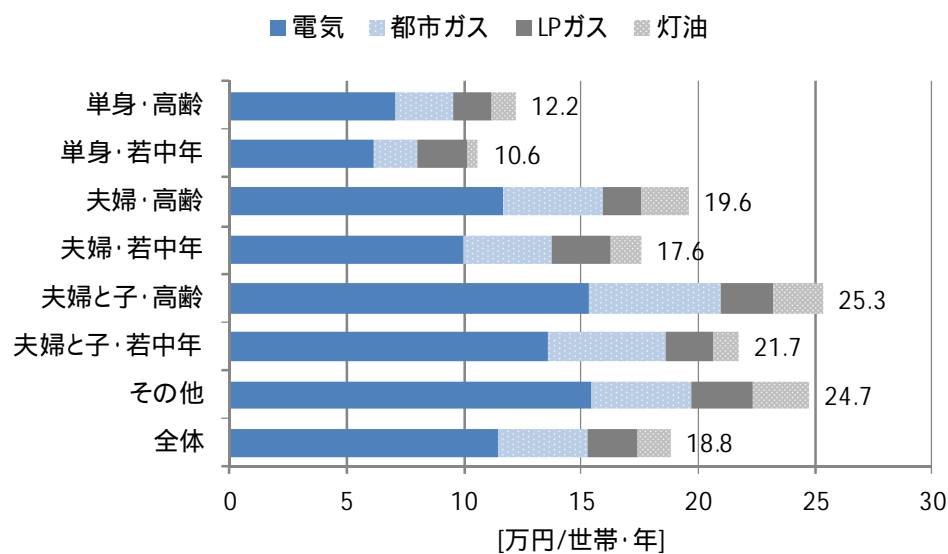


図 1-70 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額

(3) 建て方別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額

世帯当たりの自動車用燃料の年間合計支払金額は7.8万円である。

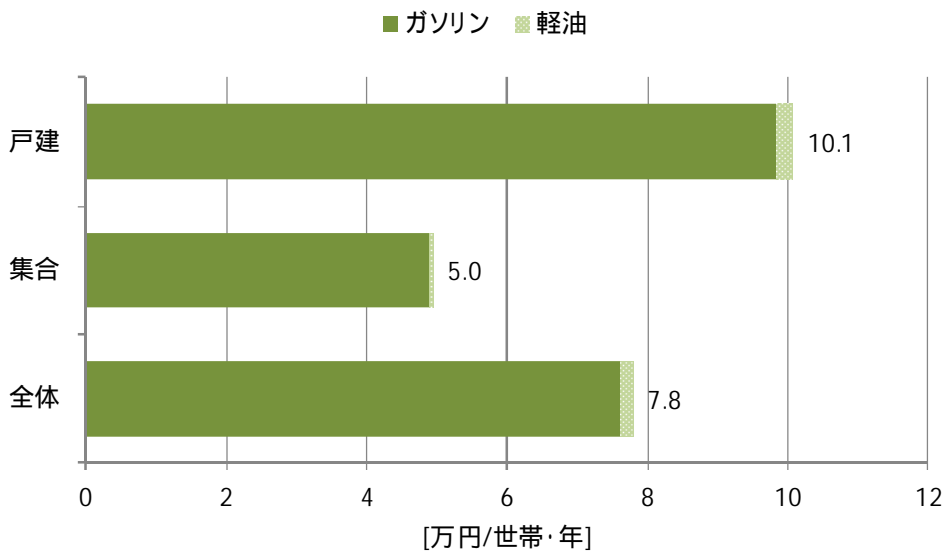


図 1-71 建て方別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額

(4) 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額

世帯類型別に自動車用燃料の合計支払金額を比較すると、単身世帯、夫婦世帯では高齢世帯が若中年世帯の6～7割の水準である。

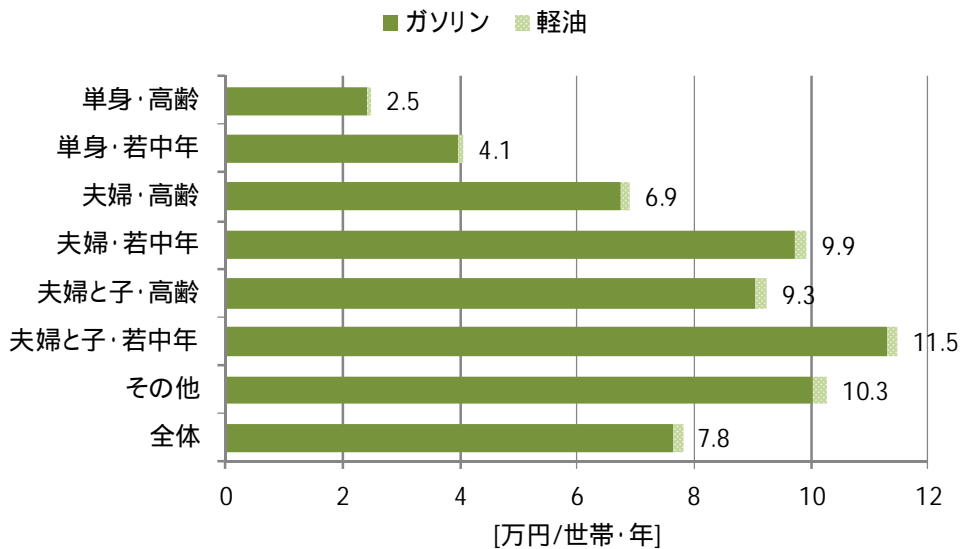


図 1-72 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額

6 設備・機器の使用状況

(1) 建て方別最もよく使う暖房機器

最もよく使う暖房機器（世帯で1機器）の割合は、エアコン（電気）と灯油ストーブ類が各3割、電気カーペット・こたつが約2割である。

戸建住宅の世帯では灯油ストーブ類の割合が比較的高く、集合住宅の世帯ではエアコン（電気）の割合が比較的高い。

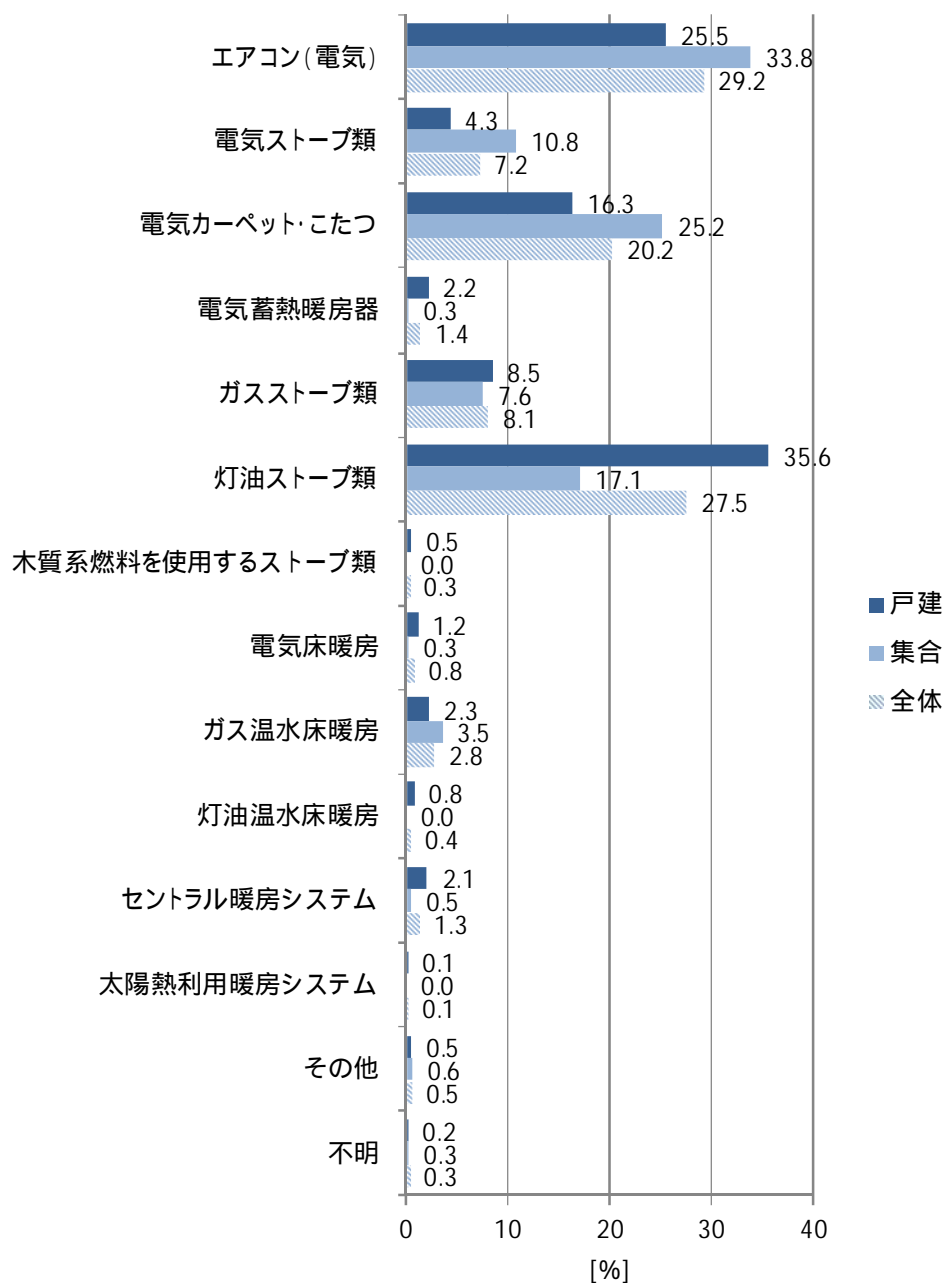


図 1-73 建て方別最もよく使う暖房機器

(2) 建て方別給湯器・給湯システム

給湯器・給湯システムの種類（世帯で複数機器の場合あり）は、建て方別の差が大きい。

戸建住宅の世帯ではガス給湯器・風呂がまの使用率が約5割で最も多く使用されている。電気ヒートポンプ式給湯機が約2割、電気温水器が約1割と、電気給湯器を使用している世帯の3世帯に1世帯が電気温水器を使用している。集合住宅の世帯ではガス給湯器・風呂釜が約9割である。

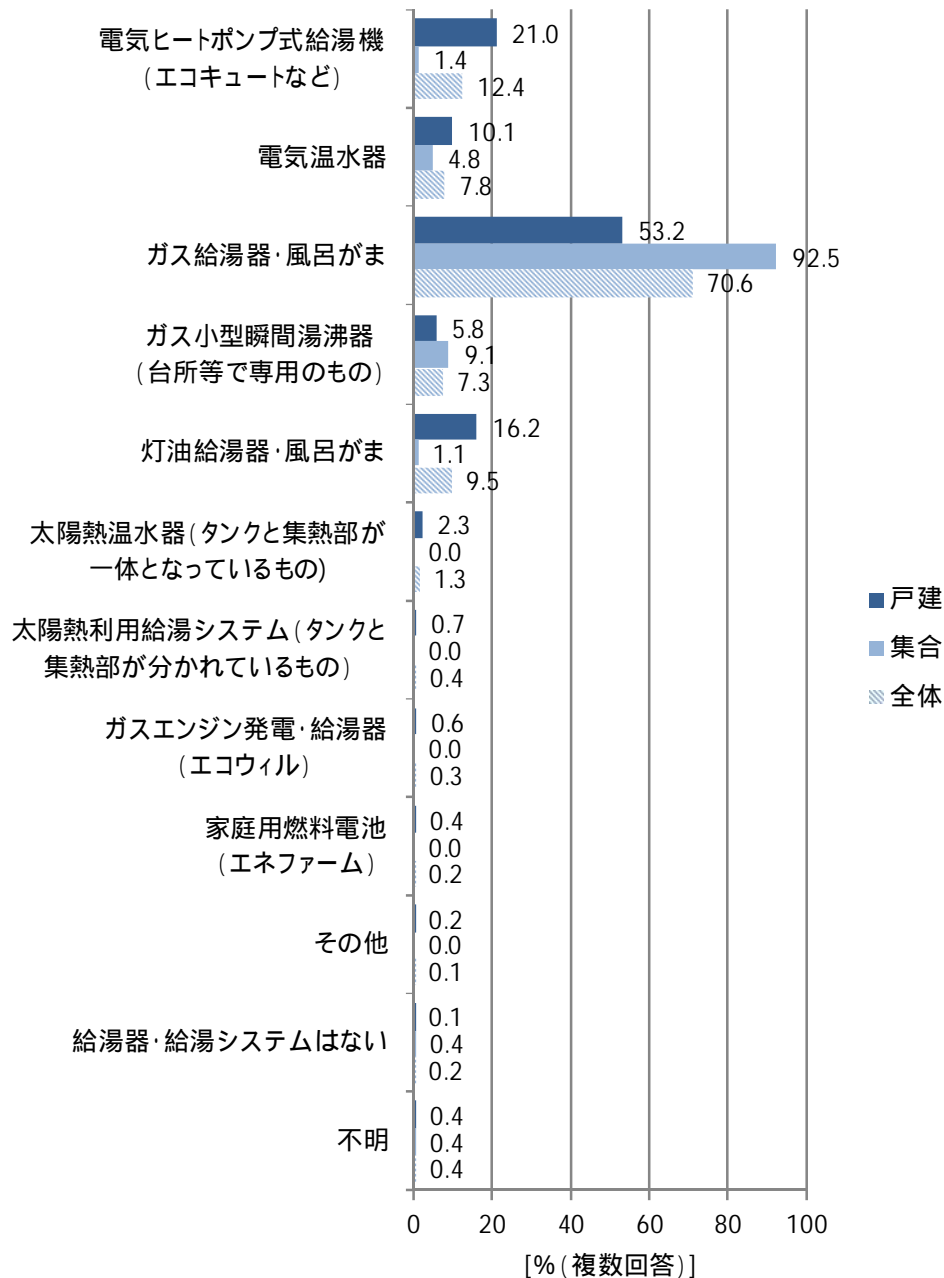


図 1-74 建て方別給湯器・給湯システム

(3) 建築時期別給湯器・給湯システム

新しい住宅に住む世帯ほど電気ヒートポンプ式給湯機の使用率が高く、ガス、灯油機器の使用率が低い傾向がみられる。電気温水器は建築時期によらず、5～10%程度普及している。古い住宅に住む世帯では太陽熱温水器を数%使用している世帯がみられるが、新しい住宅に住む世帯はほぼ使用していない。

表 1-1 建築時期別給湯器・給湯システム

	[% (複数回答)]						
	電気ヒートポンプ式給湯機 (エコキュートなど)	電気温水器	ガス給湯器・風呂がま	ガス小型瞬間湯沸器 (台所等で専用のもの)	灯油給湯器・風呂がま	太陽熱温水器(タンクと集熱部が一体となっているもの)	太陽熱利用給湯システム(タンクと集熱部が分かれているもの)
1970年以前	6	8	66	21	20	3	1
1971～1980年	7	11	71	18	14	2	1
1981～1985年	8	7	74	11	13	2	0
1986～1990年	8	6	75	4	11	2	0
1991～1995年	10	6	72	4	12	2	1
1996～2000年	11	7	73	2	10	1	1
2001～2005年	13	11	69	2	7	0	0
2006～2010年	30	10	56	1	3	0	0
2011年以降	35	6	57	1	1	0	0
全体	12	8	71	7	10	1	0

(4) 住宅の所有関係別給湯器・給湯システム

民営の賃貸住宅、公営、公社または都市再生機構(UR)の賃貸住宅、給与住宅ではガス給湯器・風呂がまを使用している世帯が約9割で、電気ヒートポンプ式給湯機はほとんど普及していない。

持ち家では、電気ヒートポンプ式給湯機を使用している世帯が18%を占める。

表 1-2 住宅の所有関係別給湯器・給湯システム

	[% (複数回答)]						
	電気ヒートポンプ式給湯機 (エコキュートなど)	電気温水器	ガス給湯器・風呂がま	ガス小型瞬間湯沸器 (台所等で専用のもの)	灯油給湯器・風呂がま	太陽熱温水器(タンクと集熱部が一体となっているもの)	太陽熱利用給湯システム(タンクと集熱部が分かれているもの)
持ち家	18	9	61	6	13	2	1
民営の賃貸住宅	1	4	91	8	2	0	0
公営、公社または都市再生機構(UR)の賃貸住宅	0	4	96	24	1	0	0
給与住宅(社宅、公務員住宅など)	1	6	88	14	3	0	0
全体	12	8	71	7	10	1	0

(5) 世帯人数別給湯器・給湯システム

世帯人数が多いほど電気ヒートポンプ式給湯機を使用している世帯が多い。電気温水器は世帯人数によらず1割程度みられる。

表 1-3 世帯人数別給湯器・給湯システム

	[% (複数回答)]						
	電気ヒートポンプ式給湯機 (エコキュートなど)	電気温水器	ガス給湯器・風呂がま	ガス小型瞬間湯沸器 (台所等で専用のもの)	灯油給湯器・風呂がま	太陽熱温水器(タンクと集熱部が一体となっているもの)	太陽熱利用給湯システム(タンクと集熱部が分かれているもの)
1人	4	7	83	9	6	1	0
2人	10	8	69	8	13	2	1
3人	16	8	66	6	10	2	1
4人	22	8	62	5	8	1	1
5人	23	9	56	5	13	1	1
6人以上	27	9	51	5	14	4	1
全体	12	8	71	7	10	1	0

(6) 年間世帯収入別給湯器・給湯システム

年間世帯収入が250万円未満の世帯においては、電気ヒートポンプ式給湯機を使用している世帯が他の年間世帯収入区分の世帯に比べ少ない。

表 1-4 年間世帯収入別給湯器・給湯システム

	[% (複数回答)]						
	電気ヒートポンプ式給湯機 (エコキュートなど)	電気温水器	ガス給湯器・風呂がま	ガス小型瞬間湯沸器 (台所等で専用のもの)	灯油給湯器・風呂がま	太陽熱温水器(タンクと集熱部が一体となっているもの)	太陽熱利用給湯システム(タンクと集熱部が分かれているもの)
250万円未満	5	7	77	13	11	1	0
250～500万円未満	11	8	71	8	12	2	0
500～750万円未満	16	9	67	5	8	1	1
750～1000万円未満	19	8	66	3	8	1	1
1000～1500万円未満	17	7	70	4	6	1	1
1500～2000万円未満	12	4	74	3	10	2	0
2000万円以上	9	6	80	13	7	1	0
全体	12	8	71	7	10	1	0

(7) 建て方別エアコンの使用台数

エアコンの平均使用台数は2.2台である。戸建住宅の世帯では2.8台、集合住宅の世帯では1.5台である。

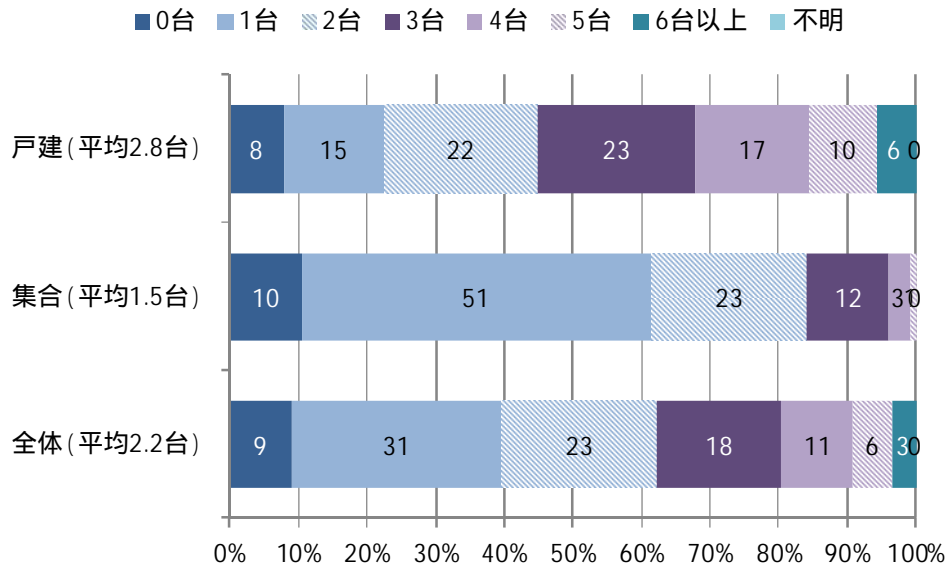


図 1-75 建て方別エアコンの使用台数

(8) 建て方別台所用コンロ

台所用コンロの種類(世帯で1機器)の使用率は、ガスコンロが約8割、IHクッキングヒーターが約2割である。

戸建住宅の世帯ではIHクッキングヒーターの割合が比較的高い。

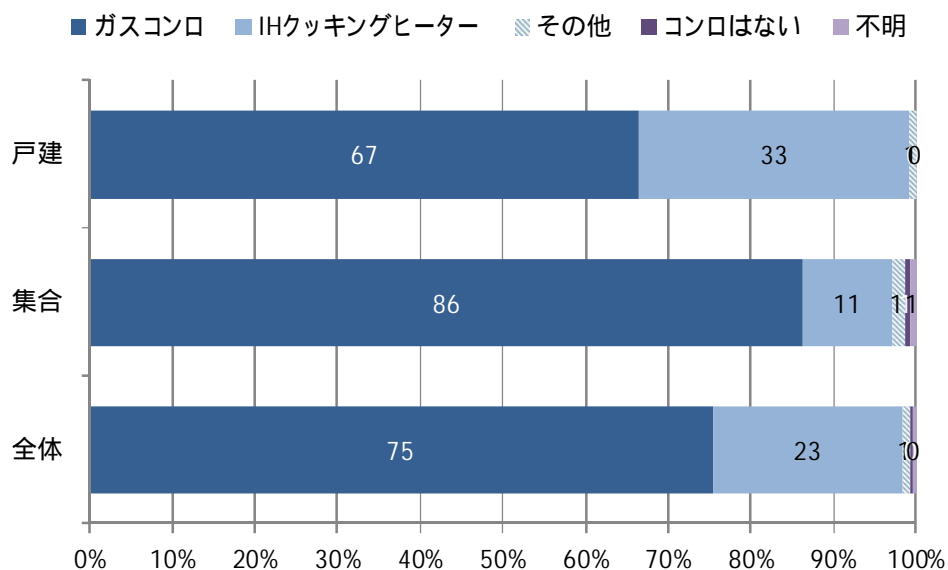


図 1-76 建て方別台所用コンロ

(9) LED 照明の使用状況

いずれかの場所()でLED照明を使用している世帯は48%であり、使用していない世帯が42%である

居間でLED照明を使用している世帯は、「居間および居間以外の場所で使用」している27%と「居間のみで使用」している5%を合計した32%であり、3世帯に1世帯程度である。

また、居間以外の場所で使用している世帯は「居間および居間以外の場所で使用」している27%と「居間以外の場所で使用」している16%を合計した43%である。

「居間および居間以外の場所で使用」「居間のみで使用」「居間以外の場所で使用」の合計

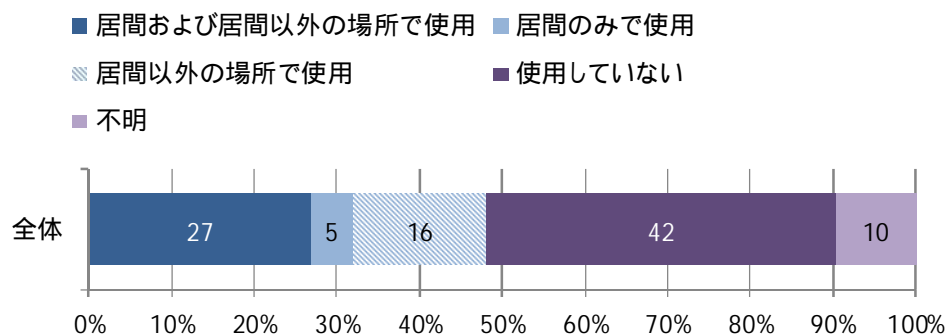


図 1-77 LED 照明の使用状況

(10) 建て方別 LED 照明の使用状況

いずれかの場所でLED照明を使用している世帯は、戸建住宅で54%、集合住宅で40%と戸建住宅のほうが多い。

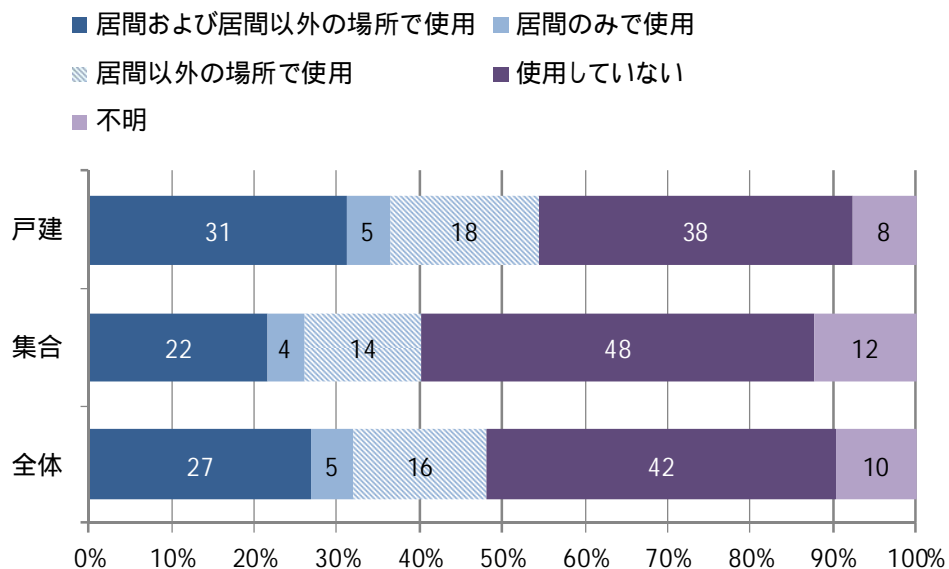


図 1-78 建て方別 LED 照明の使用状況

(1 1) 住宅の所有関係別 LED 照明の使用状況

持ち家の世帯では、いずれかの場所で LED 照明を使用している世帯が 5 割超と、持ち家以外の世帯に比べ高い。

持ち家以外の世帯では、LED 照明を使用している世帯は 3 ~ 4 割程度である。

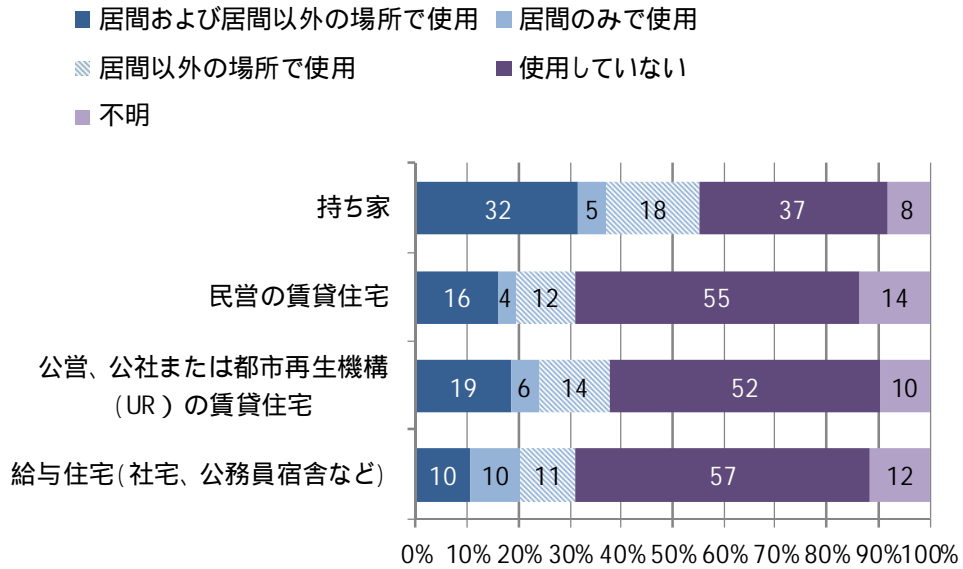


図 1-79 住宅の所有関係別 LED 照明の使用状況

(1 2) 建築時期別 LED 照明の使用状況

2011 年以降の住宅に住む世帯では、いずれかの場所で LED 照明を使用している世帯が 65% と、2010 年以前の住宅に住む世帯に比べ多い。2000 年以前の住宅に住む世帯においても 4 ~ 6 割がいずれかの場所で LED 照明を使用している。

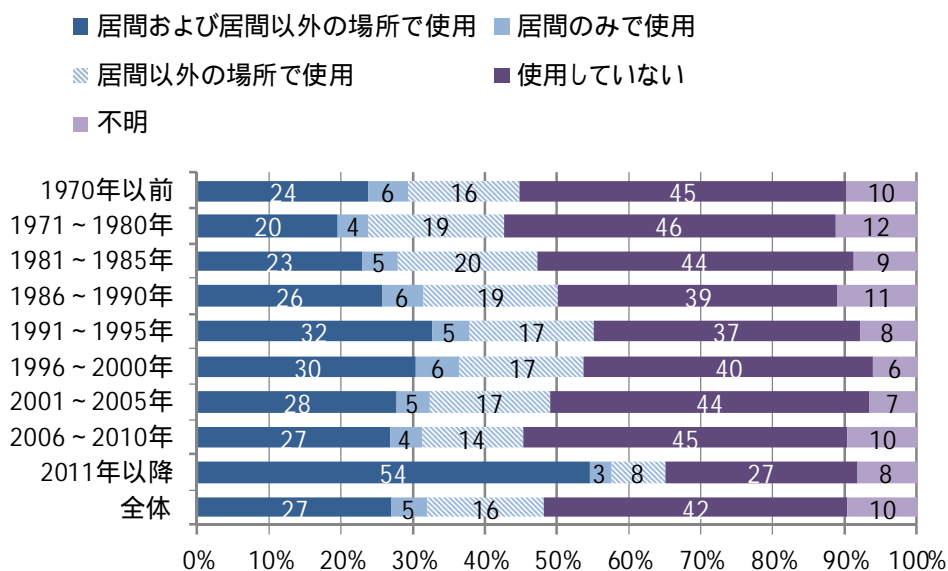


図 1-80 建築時期別 LED 照明の使用状況

(1 3) 延べ床面積別 LED 照明の使用状況

延べ床面積が広いほどいずれかの場所で LED 照明を使用している世帯が多く、100m² 以上の使用率は同程度である。

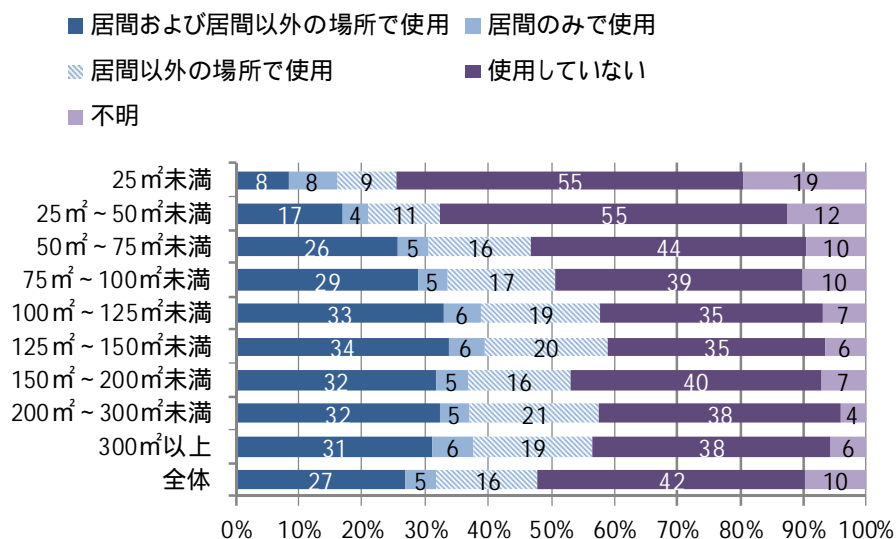


図 1-81 延べ床面積別 LED 照明の使用状況

(1 4) 世帯主年齢別 LED 照明の使用状況

世帯主年齢が 50～59 歳の世帯では、いずれかの場所で LED 照明を使用している世帯が 5 割超と最も多い。

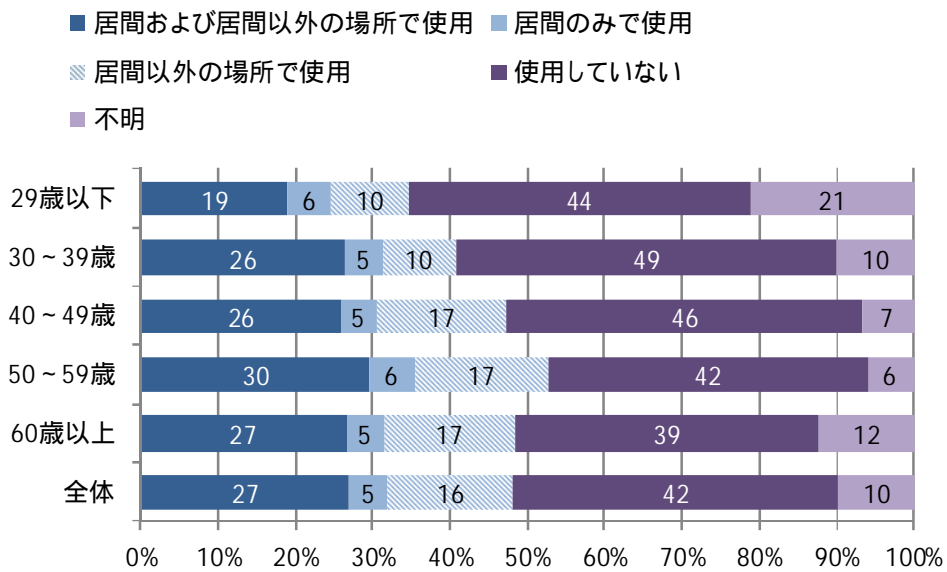


図 1-82 世帯主年齢別 LED 照明の使用状況

(1 5) 年間世帯収入別 LED 照明の使用状況

年間世帯収入が 1500 万円未満では、収入が高いほどいずれかの場所で LED 照明を使用している世帯が多い。

250 万円未満の世帯の 52% は LED 照明を使用していない。

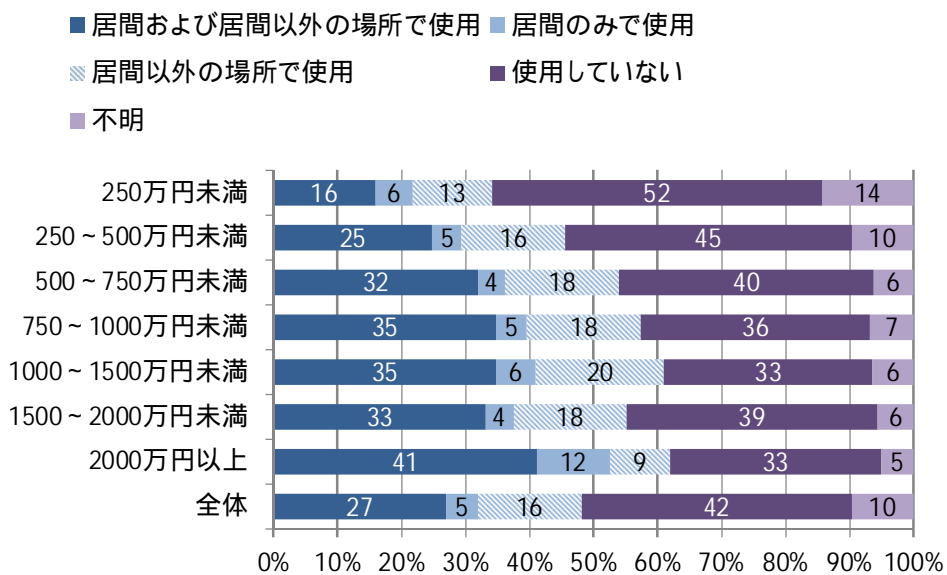


図 1-83 年間世帯収入別 LED 照明の使用状況

(1 6) 冷蔵庫の製造時期 (1 台目) 別世帯当たり年間照明・家電製品等用 CO₂ 排出量

冷蔵庫の製造時期 (1 台目) 別に世帯当たりの年間の照明・家電製品等の CO₂ 排出量を比較すると、1990 年以前を除き、1 台目の冷蔵庫の製造時期が新しい世帯ほど排出量は少ない傾向がみられる。

複数台使用している世帯の場合は、最も内容積の大きい冷蔵庫をいう。

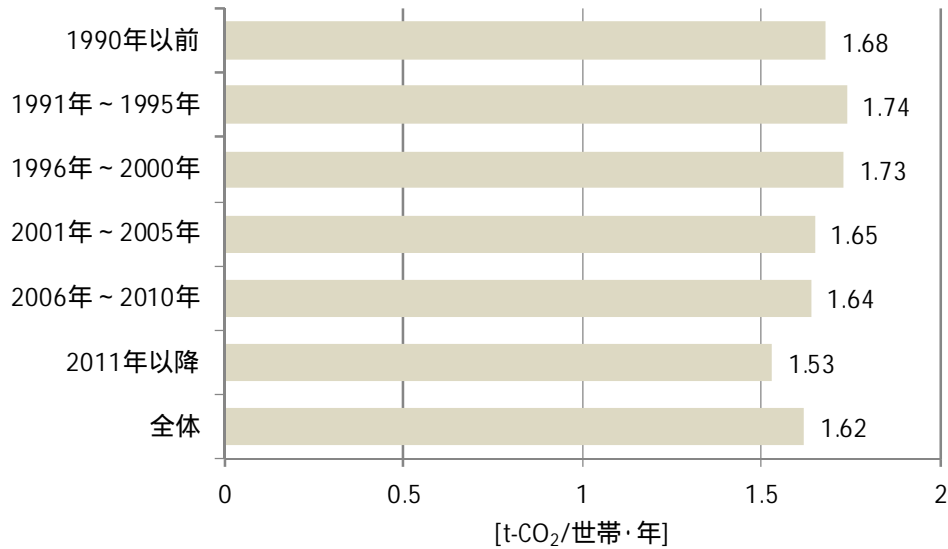


図 1-84 冷蔵庫の製造時期 (1 台目) 別世帯当たり年間照明・家電製品等用 CO₂ 排出量 (全国)

(1 7) 冷蔵庫の製造時期

1 台目の冷蔵庫の製造時期は 2006 ～ 2010 年が 30% と最も高く、次いで 2011 年以降が 27% と高い。2000 年以前の冷蔵庫は 17% である。

2 台目の冷蔵庫の製造時期は 2006 年以降が 48% を占め、2000 年以前は 19% である。

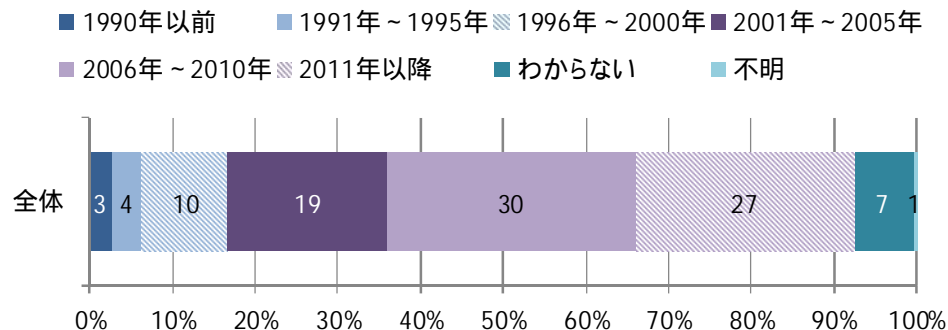


図 1-85 冷蔵庫の製造時期 (1 台目)

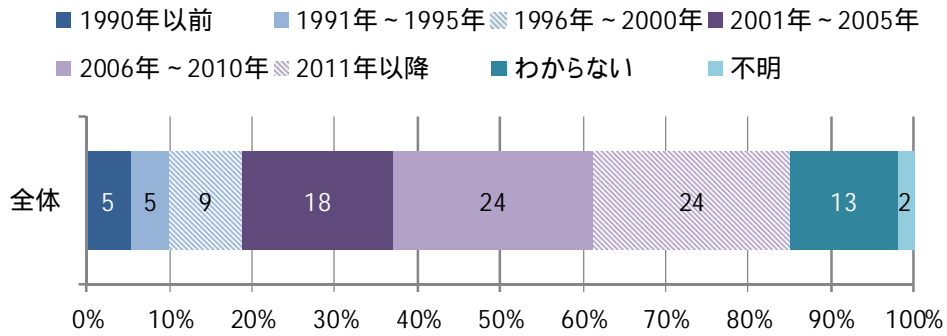


図 1-86 冷蔵庫の製造時期 (2 台目)

(1 8) 世帯主年齢別冷蔵庫の製造時期 (1 台目)

世帯主年齢が高いほど 2000 年以前の冷蔵庫 (1 台目) を使用している割合が高い。

複数台使用している世帯の場合は、最も内容積の大きい冷蔵庫をいう。

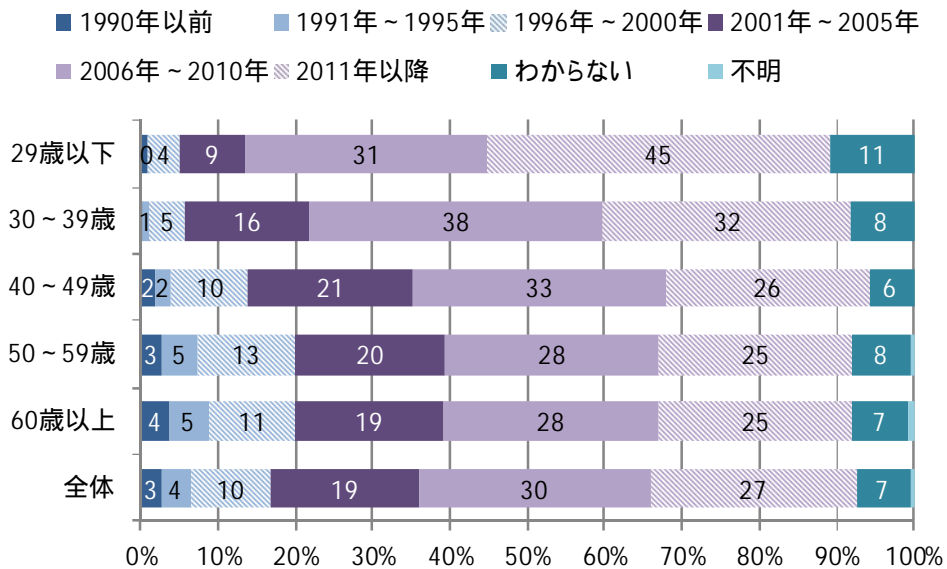


図 1-87 世帯主年齢別冷蔵庫の製造時期 (1 台目)

(1 9) 年間世帯収入別冷蔵庫の製造時期 (1 台目)

年間世帯収入が 1500 万円未満では、年間世帯収入が高いほど 2000 年以前の冷蔵庫 (1 台目) を使用している世帯が少ない傾向がみられる。

複数台使用している世帯の場合は、最も内容積の大きい冷蔵庫をいう。

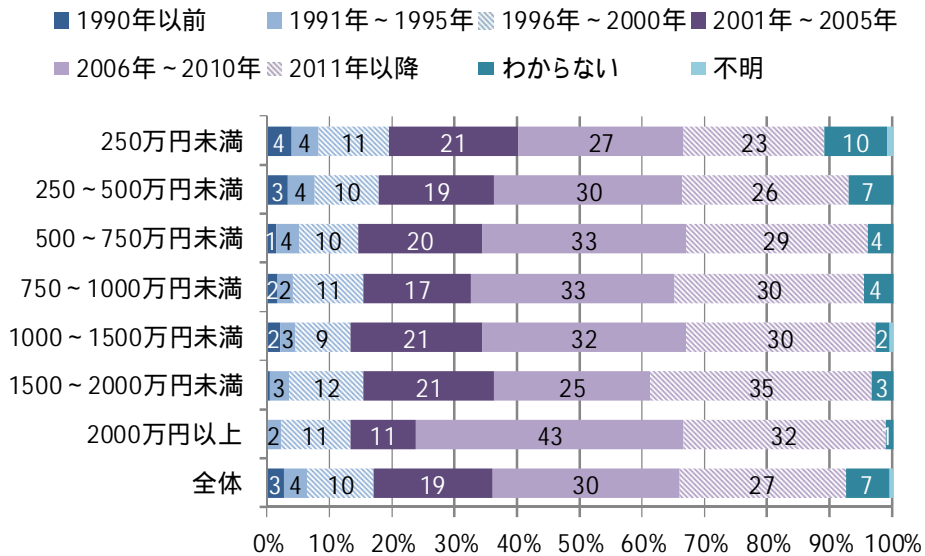


図 1-88 年間世帯収入別冷蔵庫の製造時期 (1 台目)

(2 0) 建築時期別冷蔵庫の製造時期 (1 台目)

新しい住宅に住む世帯ほど 1 台目 () の冷蔵庫は新しい機器が多い。特に、2006～2010 年の住宅に住む世帯、2011 年以降の住宅に住む世帯では建築時期と製造時期が一致している世帯が多く、新築・転居に合わせて機器を購入していると考えられる。

複数台使用している世帯の場合は、最も内容積の大きい冷蔵庫をいう。

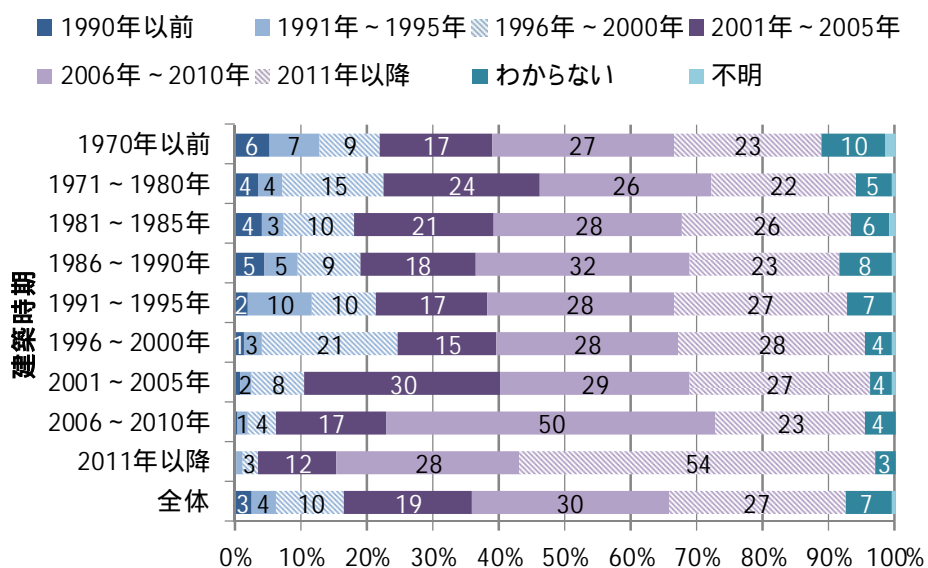


図 1-89 建築時期別冷蔵庫の製造時期 (1 台目)

(2 1) 冷蔵庫の使用台数

冷蔵庫の使用台数は1台が85%、2台以上使用している世帯は15%である。

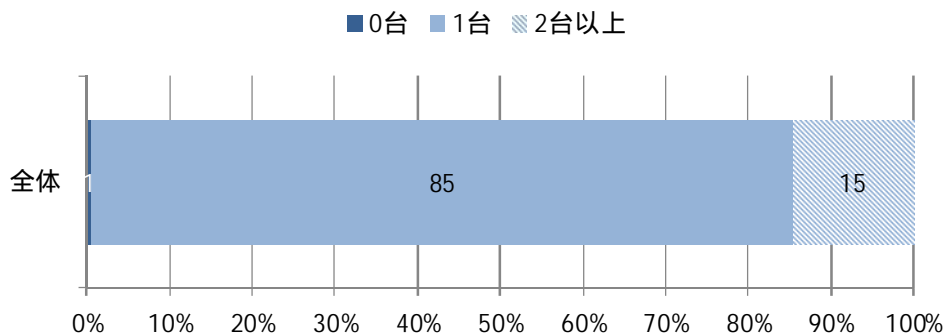


図 1-90 冷蔵庫の使用台数

(2 2) 建築時期別冷蔵庫の使用台数

古い住宅に住む世帯ほど冷蔵庫を2台以上使用している世帯が多く、1970年以前の住宅に住む世帯では、4世帯に1世帯が使用している。

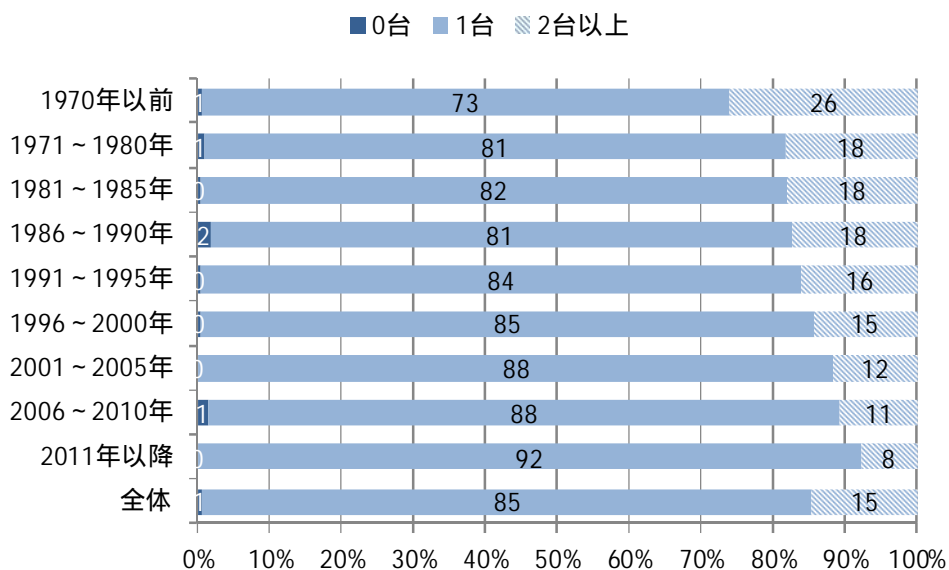


図 1-91 建築時期別冷蔵庫の使用台数

(2 3) 建て方別冷蔵庫の使用台数

戸建住宅では 24% の世帯が冷蔵庫を 2 台以上使用しているのに対し、集合住宅では 2 台以上の使用世帯は 3 % である。

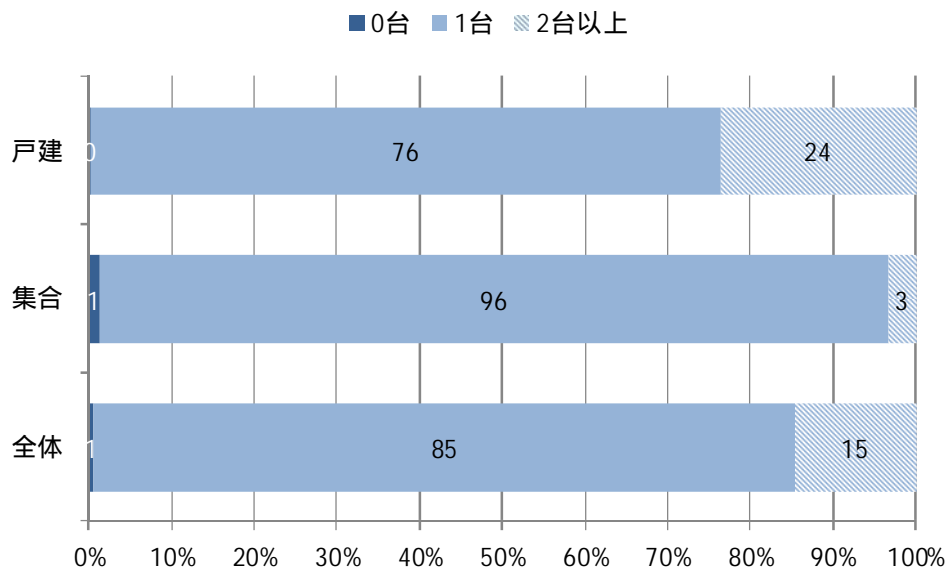


図 1-92 建て方別冷蔵庫の使用台数

(2 4) 世帯類型別冷蔵庫の使用台数

夫婦と子・高齢世帯、その他世帯の約 3 割が冷蔵庫を 2 台以上使用している。その他世帯は三世帯の世帯が多く含まれるため使用台数が多いと考えられる。高齢世帯は若中年世帯に比べ冷蔵庫の使用台数が多く、単身世帯では 5 ポイント高く 8 %、夫婦世帯では 13 ポイント高く 21% である。

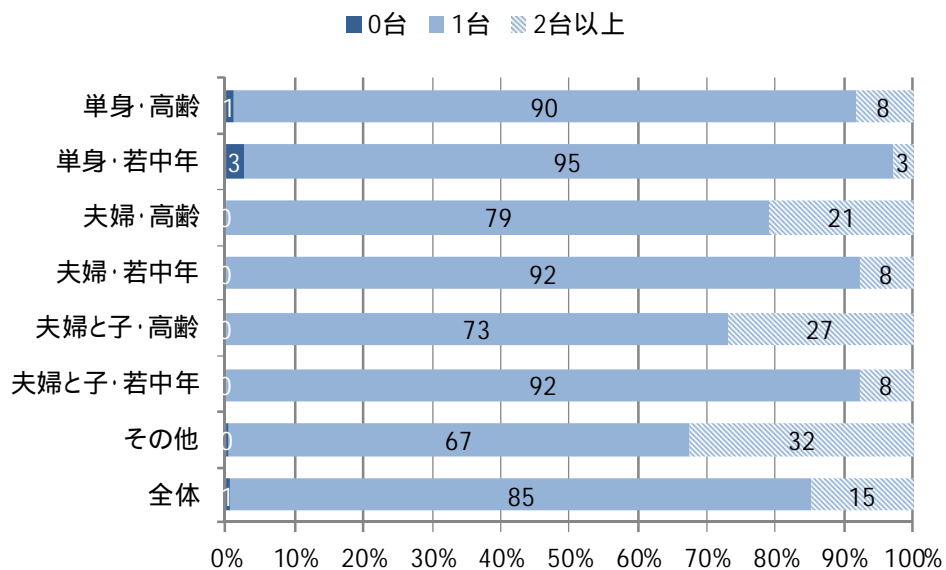


図 1-93 世帯類型別冷蔵庫の使用台数

(2 5) 世帯人数別冷蔵庫の使用台数

世帯人数が多いほど冷蔵庫を2台以上使用している世帯が多い。一方、単身世帯でも5%、2人世帯でも15%が2台以上使用している。

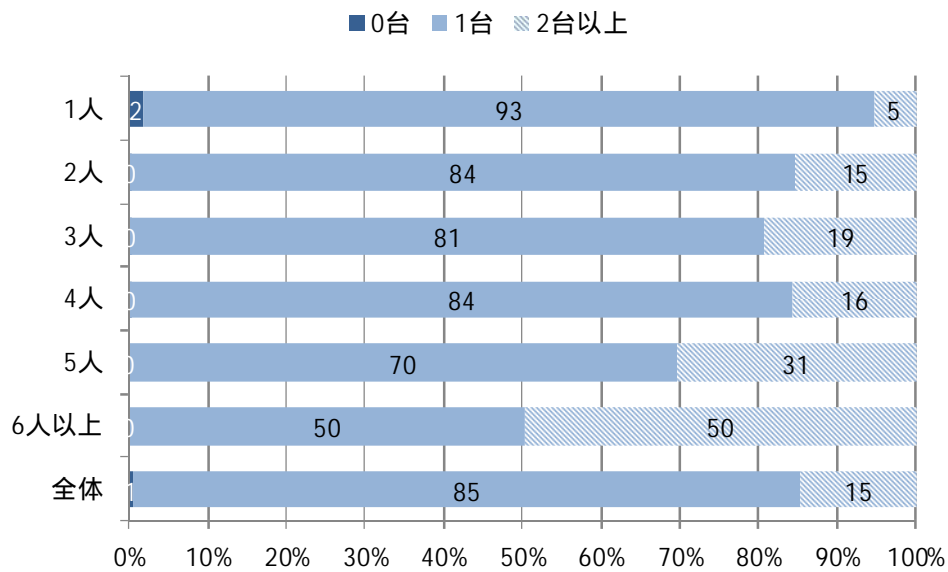


図 1-94 世帯人数別冷蔵庫の使用台数

(2 6) 世帯主年齢別冷蔵庫の使用台数

世帯主年齢が高いほど冷蔵庫を2台以上使用している世帯が多く、60歳以上の22%が使用している。

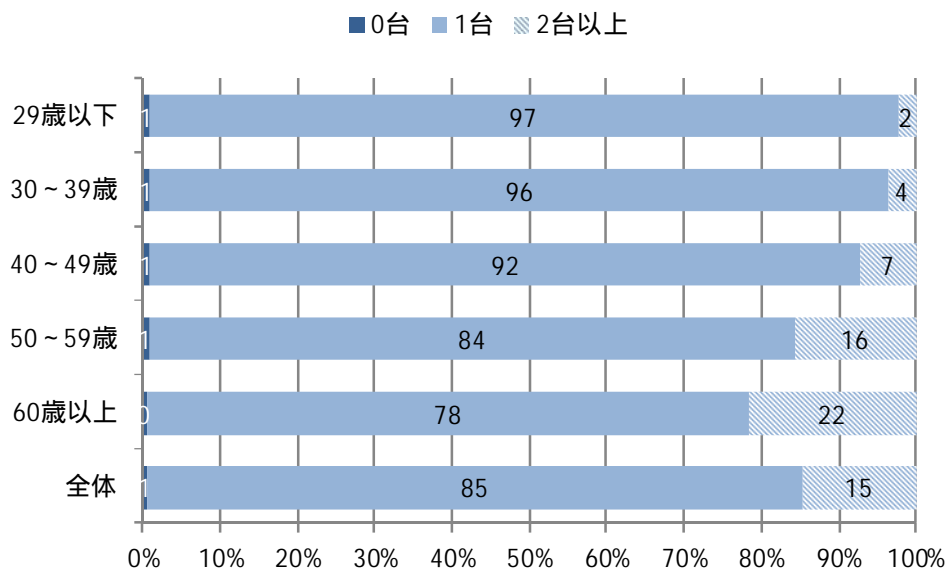


図 1-95 世帯主年齢別冷蔵庫の使用台数

(2 7) 年間世帯収入別冷蔵庫の使用台数

年間世帯収入が高いほど冷蔵庫を2台以上使用している世帯が多く、2000万円以上では35%の世帯が2台以上使用している。

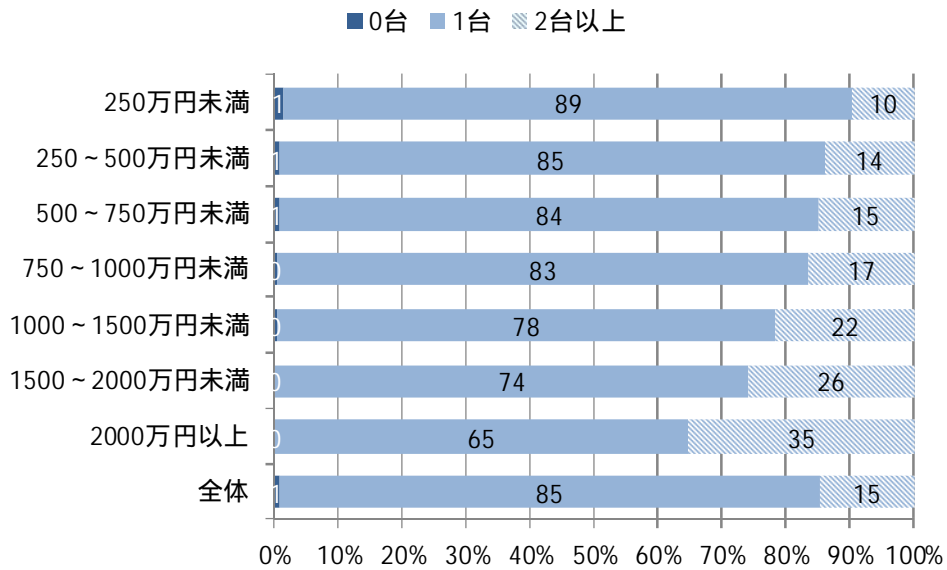


図 1-96 年間世帯収入別冷蔵庫の使用台数

(2 8) 延べ床面積別冷蔵庫の使用台数

延べ床面積が広いほど冷蔵庫を2台以上使用している世帯が多く、150m²以上の世帯では3世帯に1世帯以上が冷蔵庫を2台以上使用している。

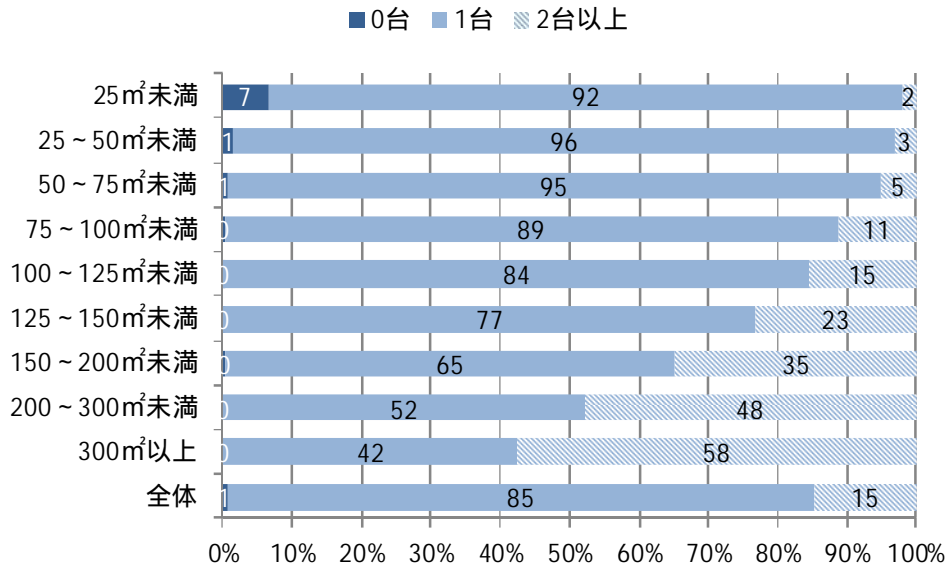
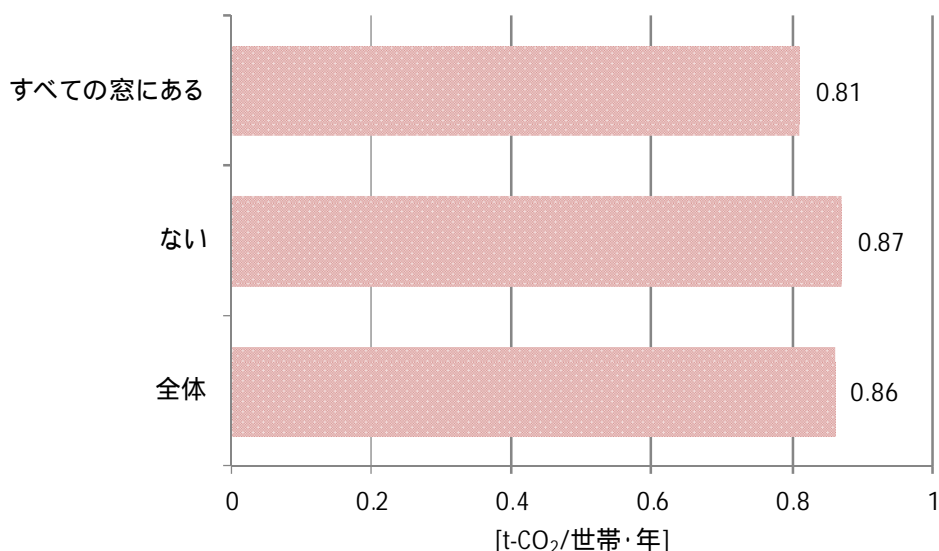


図 1-97 延べ床面積別冷蔵庫の使用台数

(2 9) 二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無別世帯当たり年間暖房用CO₂排出量
 寒冷地及び沖縄を除く地方の戸建住宅に限定し、二重サッシまたは複層ガラスの窓（以下、「二重サッシ等」という。）の有無別に世帯当たりの年間の暖房のCO₂排出量を比較すると、二重サッシ等がすべての窓にある世帯の排出量は、二重サッシ等がない世帯に比べ少ない。



**図 1-98 二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無別世帯当たり年間暖房用CO₂排出量
 (寒冷地及び沖縄を除く地方の戸建)**

(注1) ここでいう「寒冷地」とは、北海道、東北、北陸をいう。

(注2) 図中の「全体」は、「すべての窓にある」「ない」に加え、「一部の窓にある」「わからない」を含めた値であり、寒冷地及び沖縄を除く地方の戸建住宅の平均である。

(3 0) 建築時期別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

新しい住宅に住む世帯ほど二重サッシ等があり、2011年以降の住宅に住む世帯の71%に二重サッシ等が普及している。

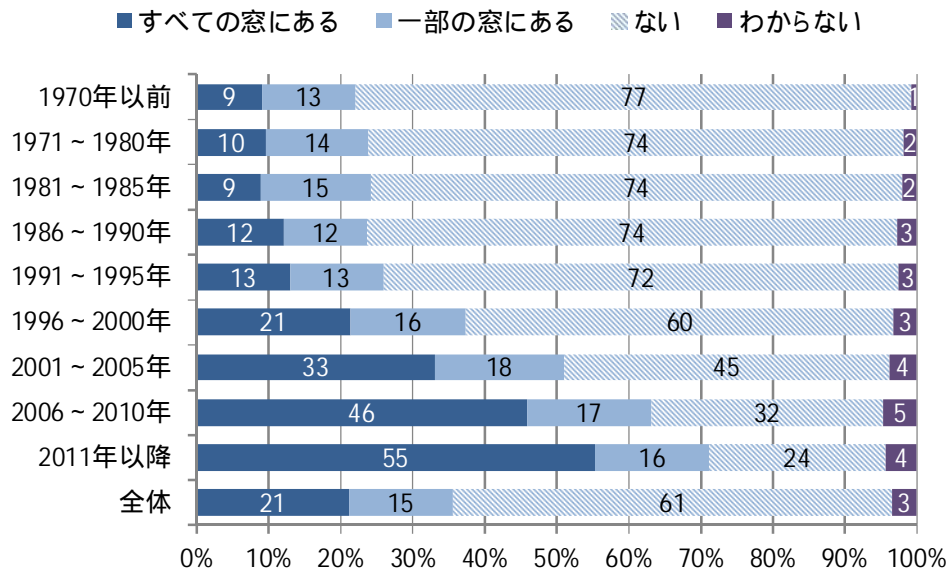


図 1-99 建築時期別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

(3 1) 住宅の所有関係別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

持ち家では二重サッシ等がある世帯が44%みられる。賃貸住宅、給与住宅では二重サッシ等がない世帯が7～8割程度みられる。

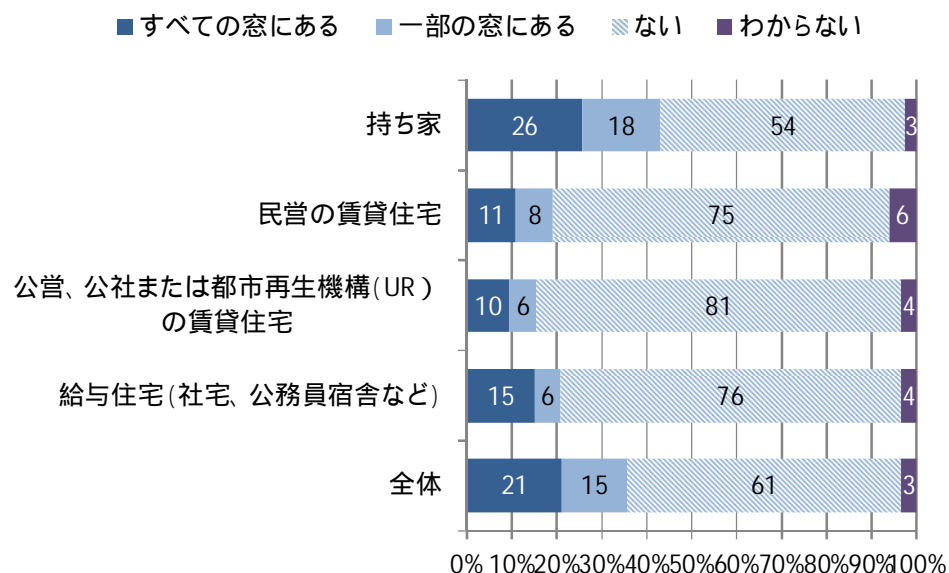


図 1-100 住宅の所有関係別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

(3 2) 延べ床面積別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

延べ床面積 300㎡ 以上を除くと、面積が広いほど二重サッシ等がある世帯が多い傾向にあり、100㎡ 以上では約半数に普及している。

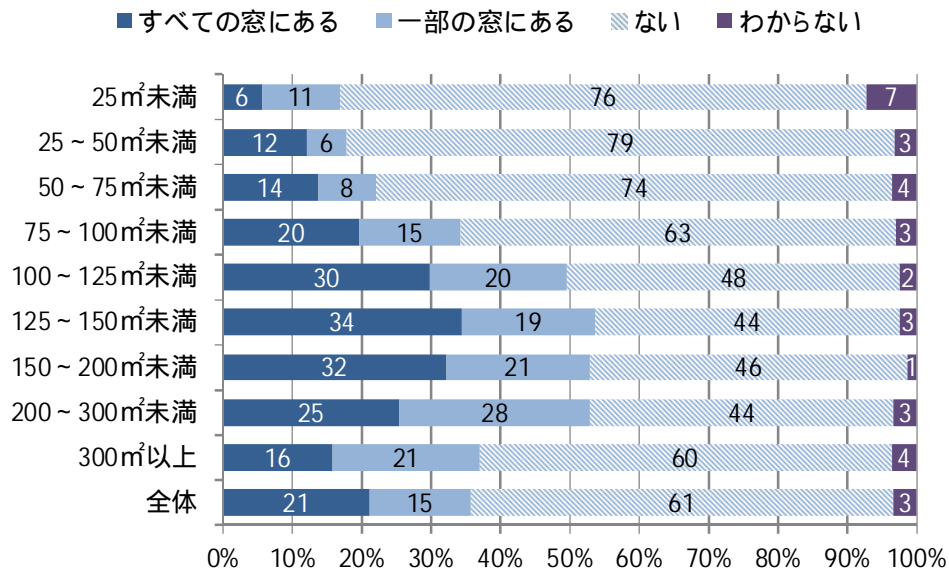


図 1-101 延べ床面積別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

(3 3) 年間世帯収入別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

年間世帯収入が高い世帯ほど二重サッシ等がある世帯が多い。

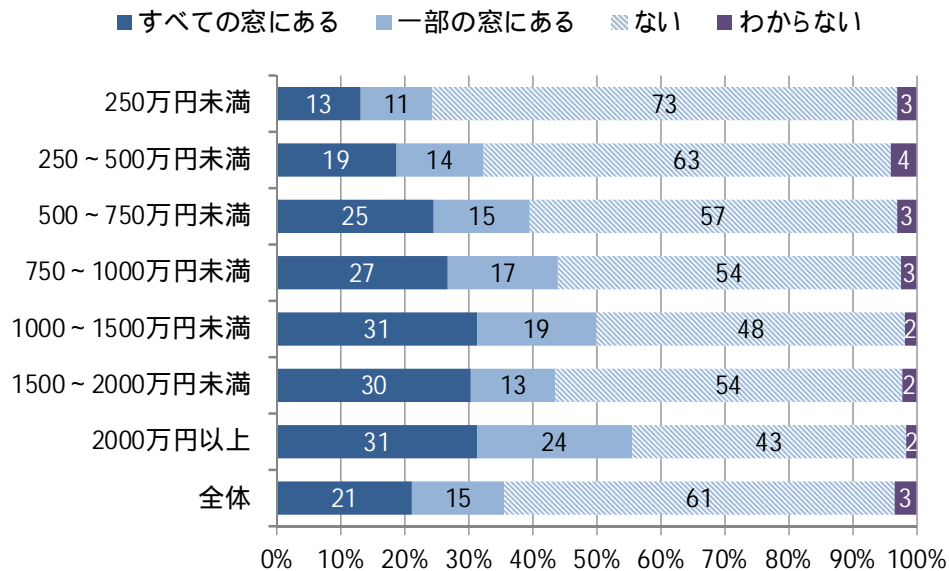


図 1-102 年間世帯収入別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

(34) 自動車の実際の燃費(1台目)別世帯当たり年間自動車用燃料CO₂排出量
 毎日自動車を使用している世帯(1台目)に限定し、自動車の実際の燃費(1台目)別に世帯当たりの自動車用燃料のCO₂排出量を比較すると、実燃費(1台目)が良い世帯ほどCO₂排出量が少ない。

複数台使用している世帯も含まれる。

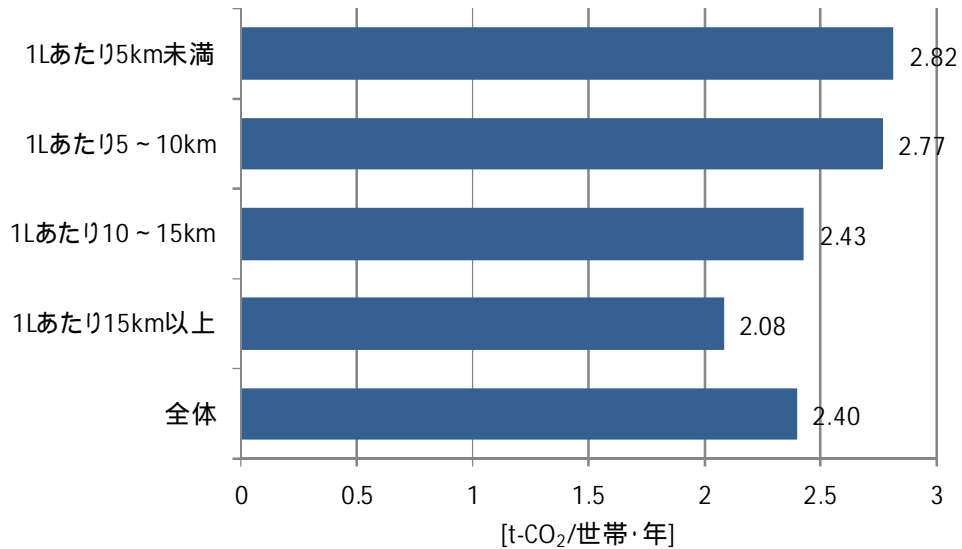


図 1-103 自動車の実際の燃費(1台目)別世帯当たり年間自動車用燃料CO₂排出量(毎日自動車を使用している世帯(1台目))

(35) 年間世帯収入別自動車の実際の燃費(1台目)

年間世帯収入が高い世帯ほど実燃費が10km/L未満の自動車を使用している世帯が多くなる。

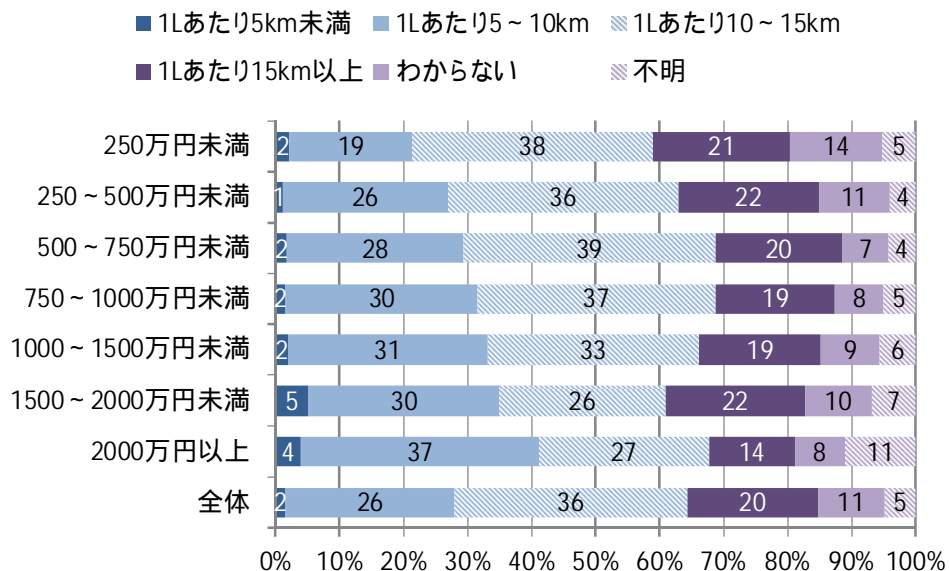


図 1-104 年間世帯収入別自動車の実際の燃費(1台目)

(3 6) 省エネルギー行動実施率別自動車の実際の燃費 (1 台目)

省エネルギー行動実施率 () が高い世帯ほど、実燃費 10km/L 未満の自動車を
使用している世帯が少ない。

省エネルギー行動 18 項目のうち「該当しない」及び不明を除く項目数に対する実施数の割合

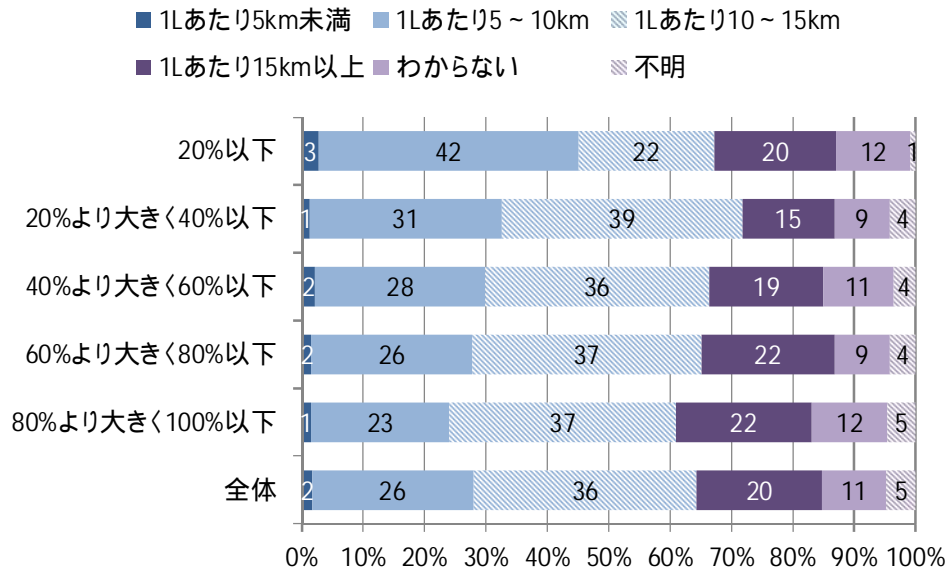


図 1-105 省エネルギー行動実施率別自動車の実際の燃費 (1 台目)

7 太陽光発電システム

(1) 建て方別太陽光発電システムの利用率

太陽光発電システムの利用率は 6.8%である。ほとんどが戸建住宅の世帯で使用されている。

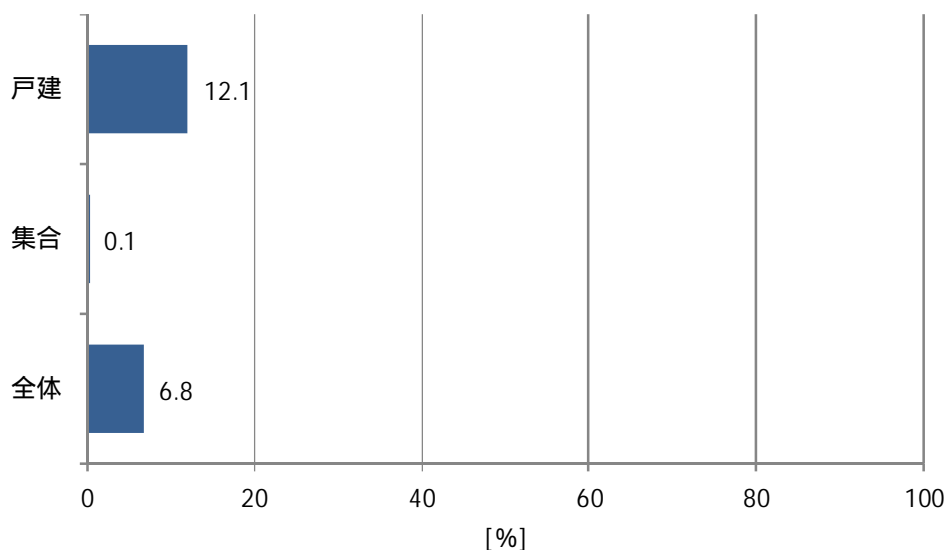


図 1-106 建て方別太陽光発電システムの利用率

(2) 建築時期別太陽光発電システムの利用率

戸建住宅では、新しい住宅に住む世帯ほど太陽光発電システムを使用している世帯が多く、2011年以降の住宅に住む世帯の 31.3%が使用している。

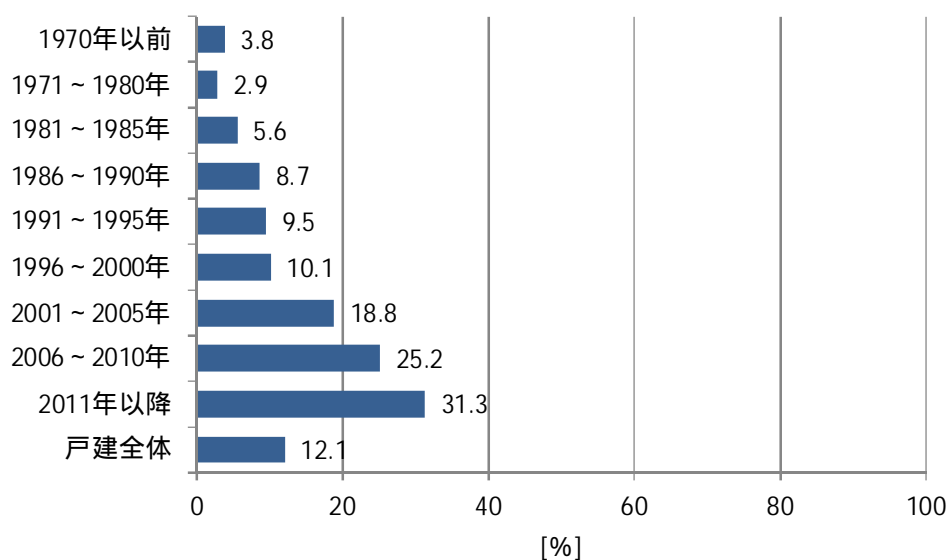


図 1-107 建築時期別太陽光発電システムの利用率（戸建）

(3) 世帯人数別太陽光発電システムの使用率

戸建住宅の世帯人数が4人までは、人数が多いほど太陽光発電システムを使用している世帯が多くなり、4人以上の世帯では同程度である。

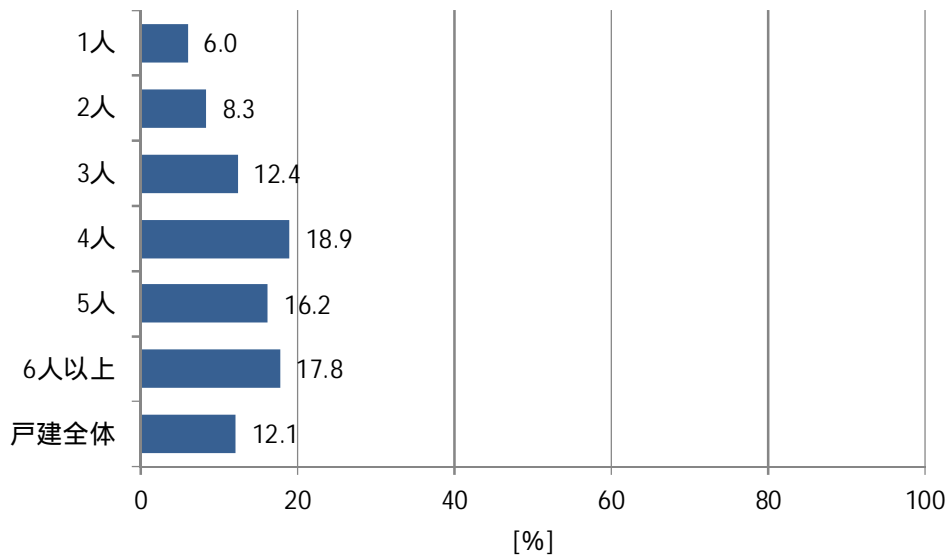


図 1-108 世帯人数別太陽光発電システムの使用率（戸建）

(4) 世帯主年齢別太陽光発電システムの使用率

戸建住宅では、世帯主年齢が低い世帯ほど太陽光発電システムを使用している世帯が多く、29歳以下の世帯の32.4%が使用している。

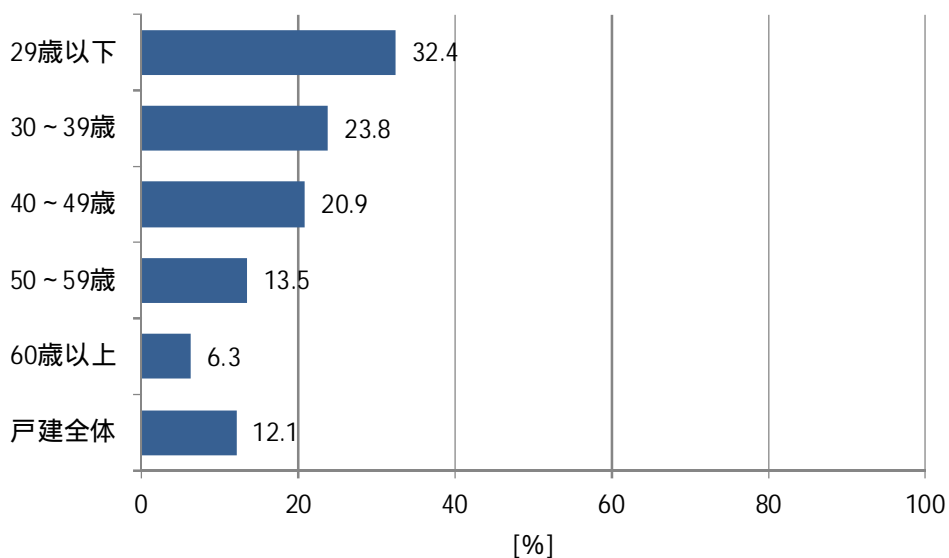


図 1-109 世帯主年齢別太陽光発電システムの使用率（戸建）

(5) 年間世帯収入別太陽光発電システムの使用率

戸建住宅では、年間世帯収入が 500 万円以上の世帯の 1 ~ 2 割が太陽光発電システムを使用している。一方、250 ~ 500 万円未満では 9.2%、250 万円未満では 4.2% と使用している世帯が少ない。

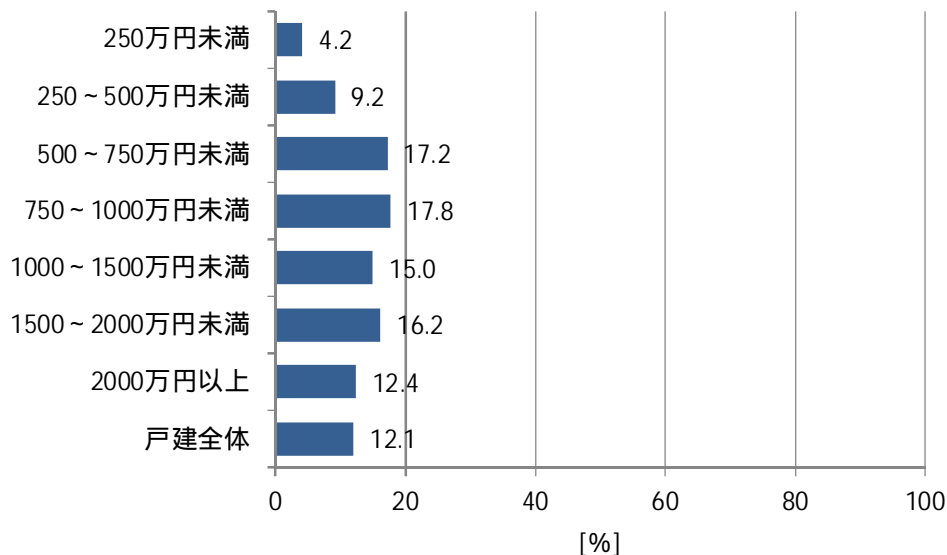


図 1-110 年間世帯収入別太陽光発電システムの使用率（戸建）

(6) 太陽電池の総容量

太陽電池の総容量は 2 kW 以上 ~ 4 kW 未満が約 4 割、4 kW 以上 6 kW 未満が約 3 割を占めている。ただし、総容量が不明の世帯が 18% がある。平均容量は 4.5kW である。

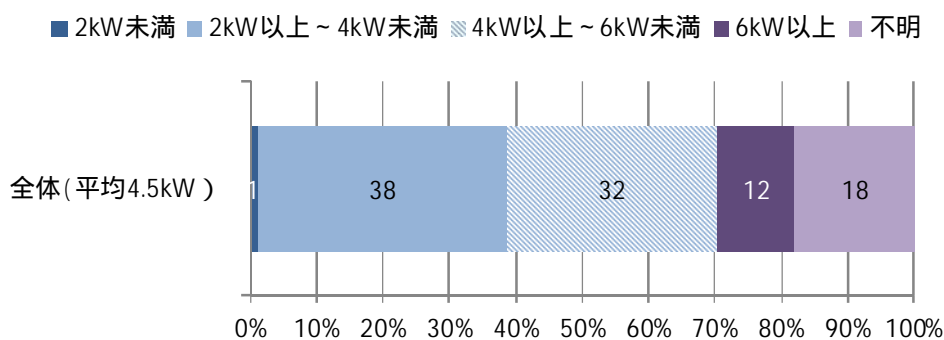


図 1-111 太陽電池の総容量

(7) 太陽光発電システムの年間発電量・売電量（使用世帯当たり）

太陽光発電システムの使用世帯当たりの年間発電量は 4,811kWh である。売電量は 3,417kWh であり、売電の割合は 71% である。

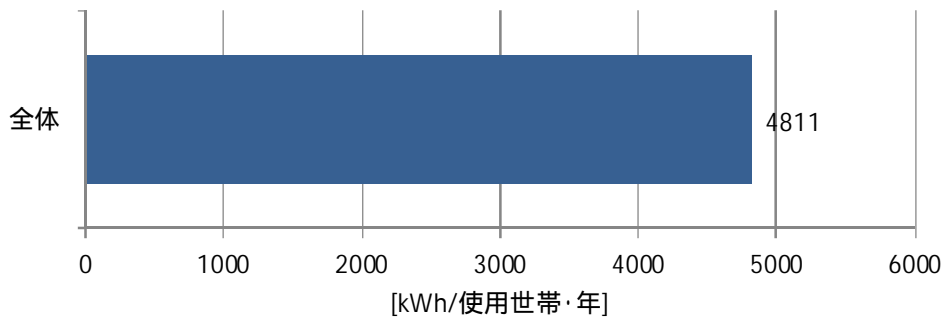


図 1-112 太陽光発電システムの年間発電量（使用世帯当たり）

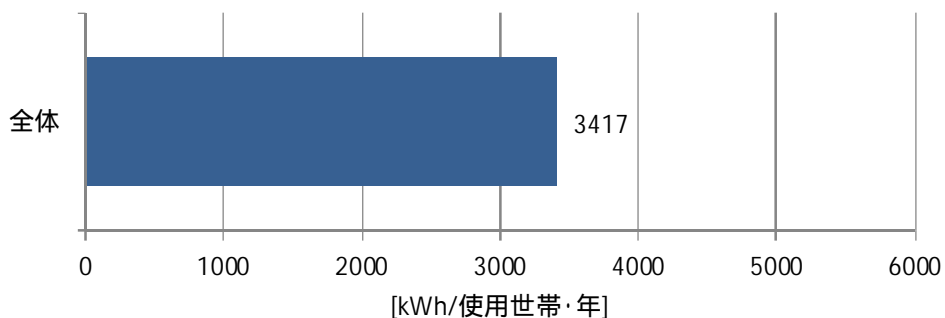


図 1-113 太陽光発電システムの年間売電量（使用世帯当たり）

(8) 太陽光発電システムからの売電による年間受領金額（使用世帯当たり）

太陽光発電システムからの売電による使用世帯当たりの年間受領金額は 14.7 万円である。

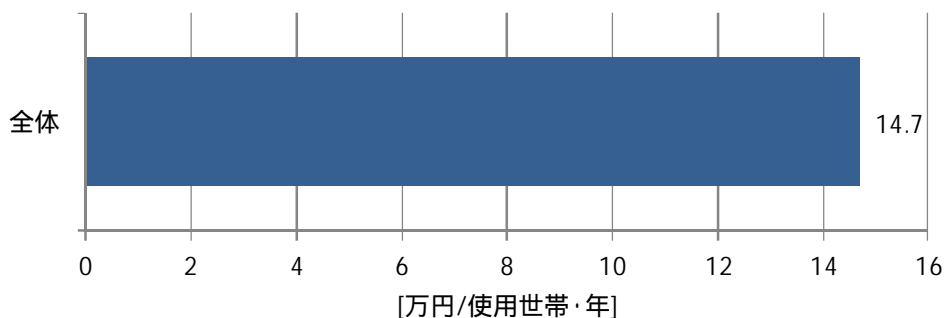


図 1-114 太陽光発電システムからの売電による年間受領金額（使用世帯当たり）

(9) 太陽光発電システムの月別発電量・売電量（使用世帯当たり）

太陽光発電システムの発電量と売電量は5月に最も多く、12月に最も少ない。発電量と売電量の季節変化の傾向は類似している。

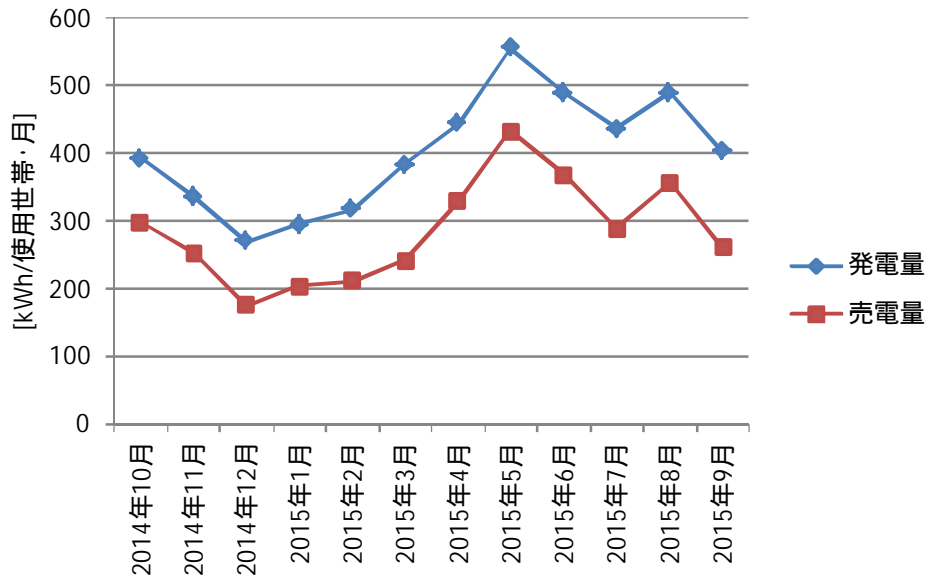


図 1-115 太陽光発電システムの月別発電量・売電量（使用世帯当たり）

(10) 太陽光発電システム使用の有無別世帯当たり年間エネルギー種別CO₂排出量

戸建住宅の3人世帯に限定し、太陽光発電システム使用の有無別に世帯当たりの年間CO₂排出量を比較すると、太陽光発電システムを使用している世帯はCO₂排出量が少ない。

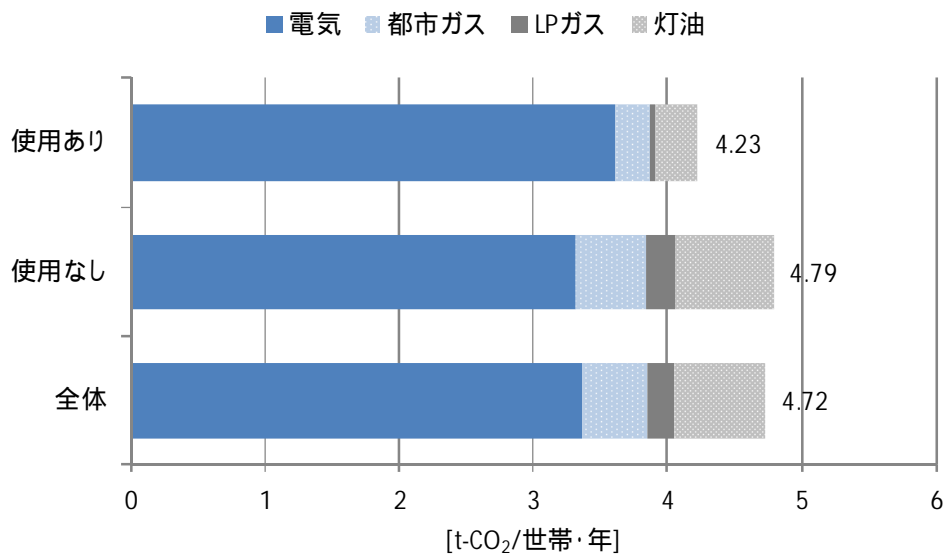


図 1-116 太陽光発電システム使用の有無別世帯当たり年間エネルギー種別CO₂排出量（戸建の3人世帯）

地方別・都市階級別の主要結果

1 CO₂排出量

(1) 地方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量・構成比

地方別に世帯当たりの年間 CO₂ 排出量を比較すると、北陸が最も多く、関東甲信が最も少ない。

気候などの違いにより、エネルギー種別構成比には地方間の差がみられる。北海道では灯油が約4割を占める。

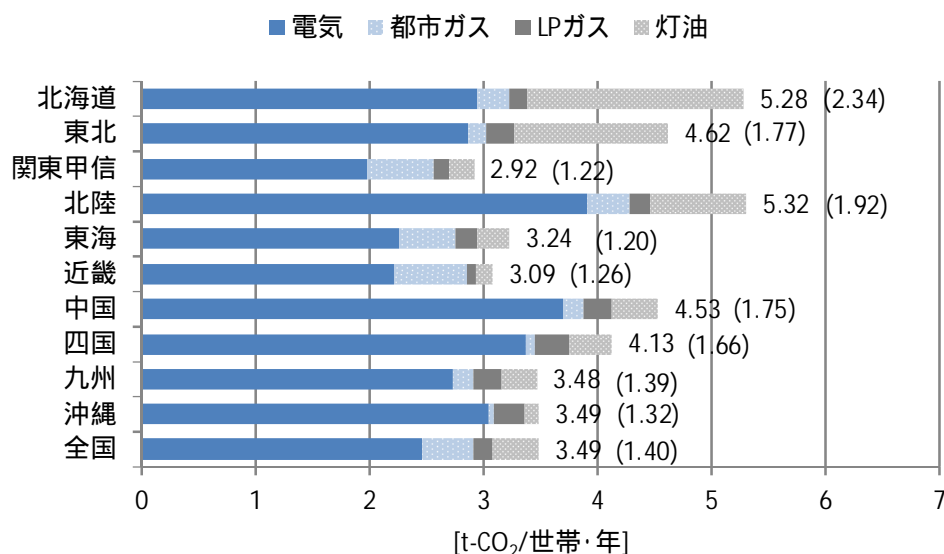


図 2-1 地方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのCO₂排出量を表す。

(注2) 1人当たりのCO₂排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

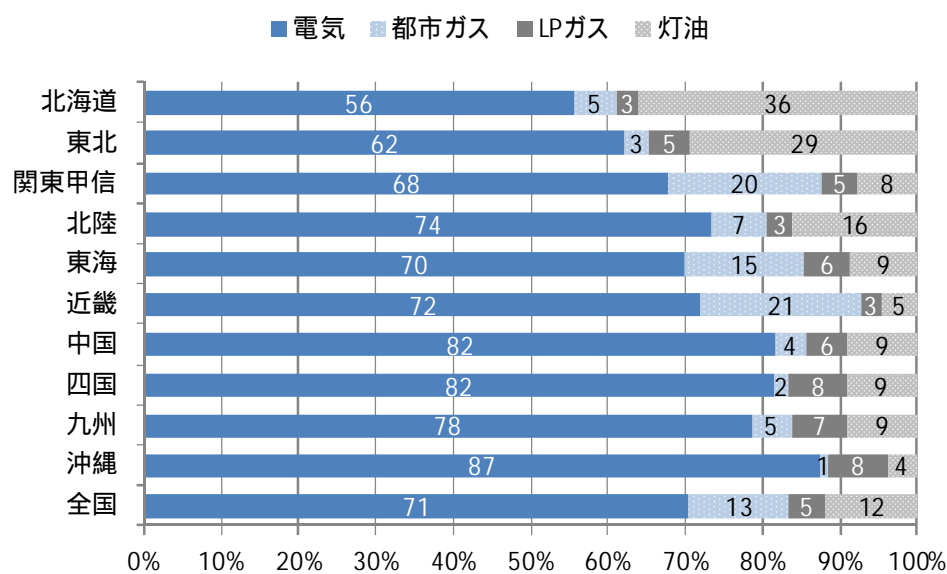


図 2-2 地方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出構成比

(2) 地方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量・構成比

気候などの違いにより、用途別 CO₂ 排出量及び構成比には暖房・冷房を中心に地方間の差がみられる。

北海道では暖房が約4割を占める。関東甲信、東海及び近畿では構成比が全国に近い。四国、九州では暖房の割合がやや低く、沖縄では照明・家電製品等と冷房の割合が高い。

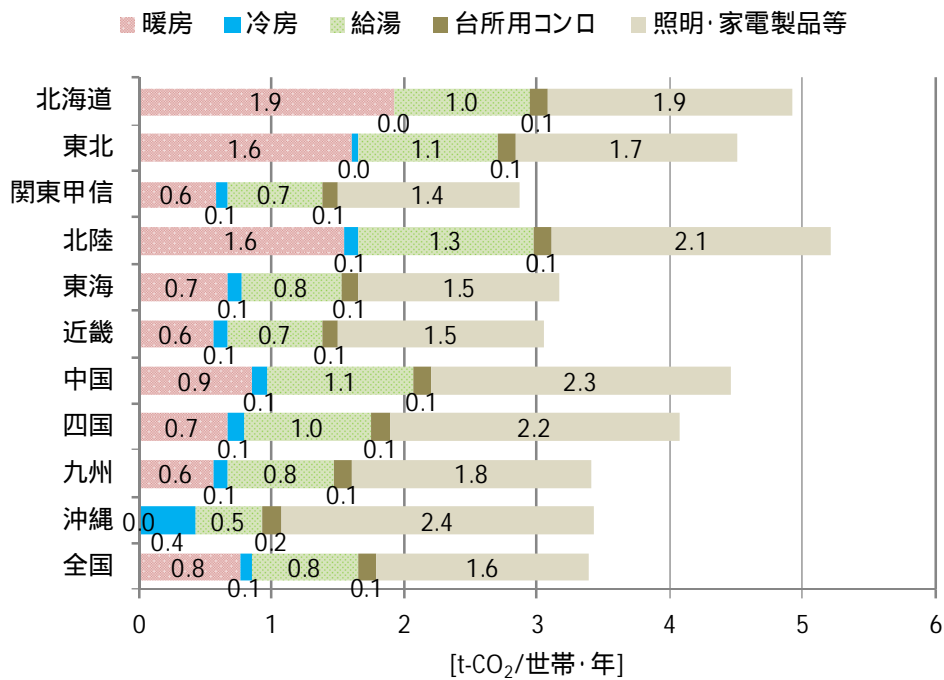


図 2-3 地方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

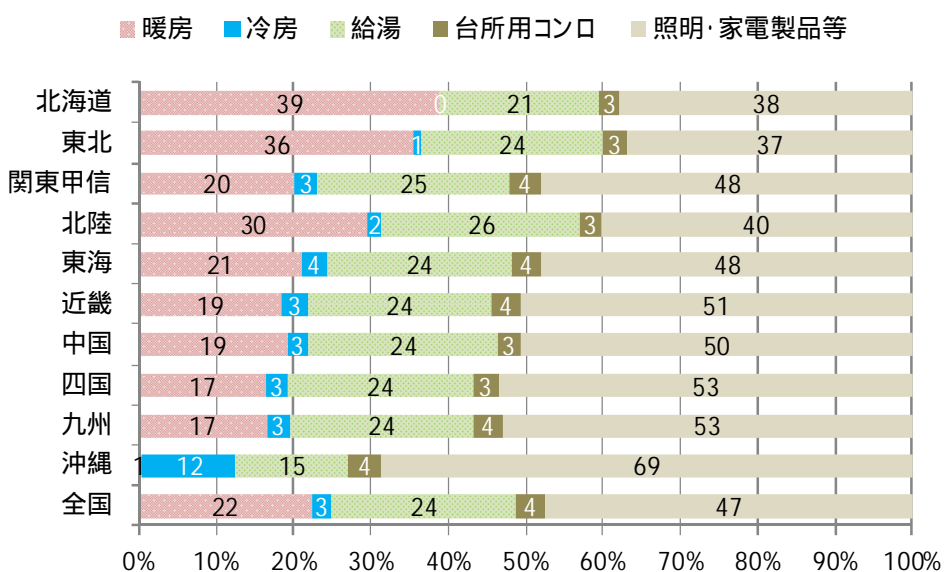


図 2-4 地方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

(3) 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量・構成比

都市階級別に世帯当たりの年間 CO₂ 排出量を比較すると、人口 5 万人未満の市及び町村の世帯の排出量が最も多い。戸建住宅の世帯が多く、世帯人数が多いことなどが影響していると考えられる。

都道府県庁所在市・政令指定都市の世帯では都市ガスの割合が比較的高い。

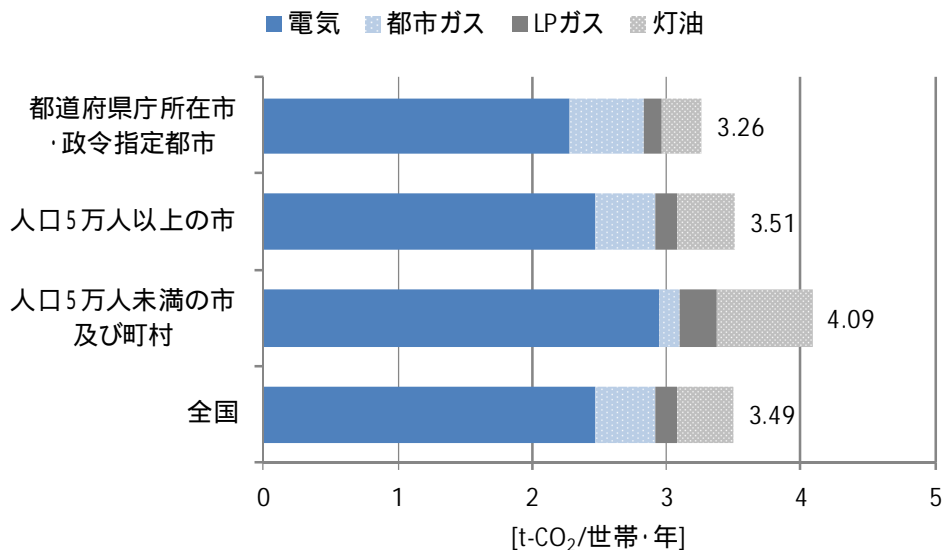


図 2-5 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

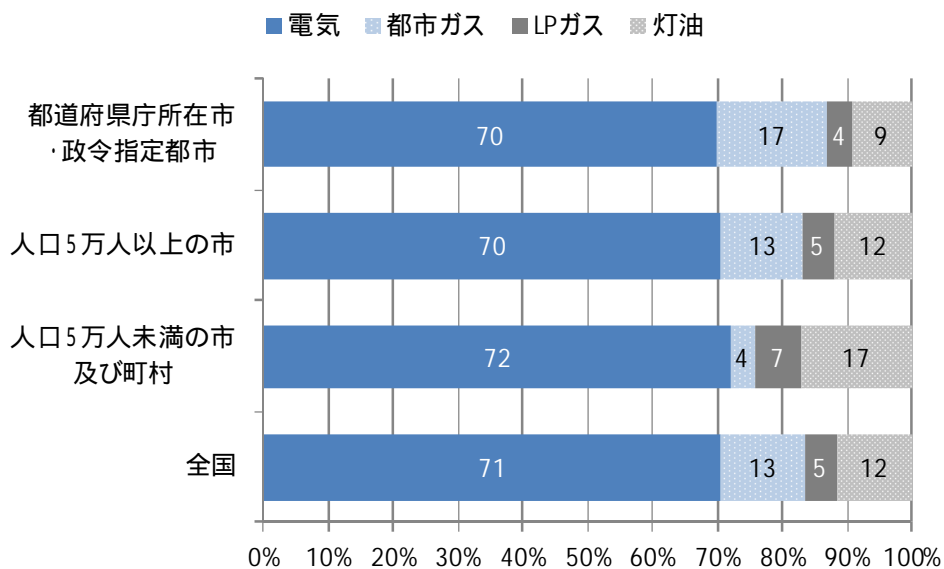


図 2-6 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出構成比

(4) 都市階級別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量・構成比

都市階級別に用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯の割合や世帯人数の差などにより、暖房、給湯、照明・家電製品等で人口5万人未満の市及び町村の世帯の排出量が最も多い。

用途別 CO₂ 排出構成比には大きな差はみられない。

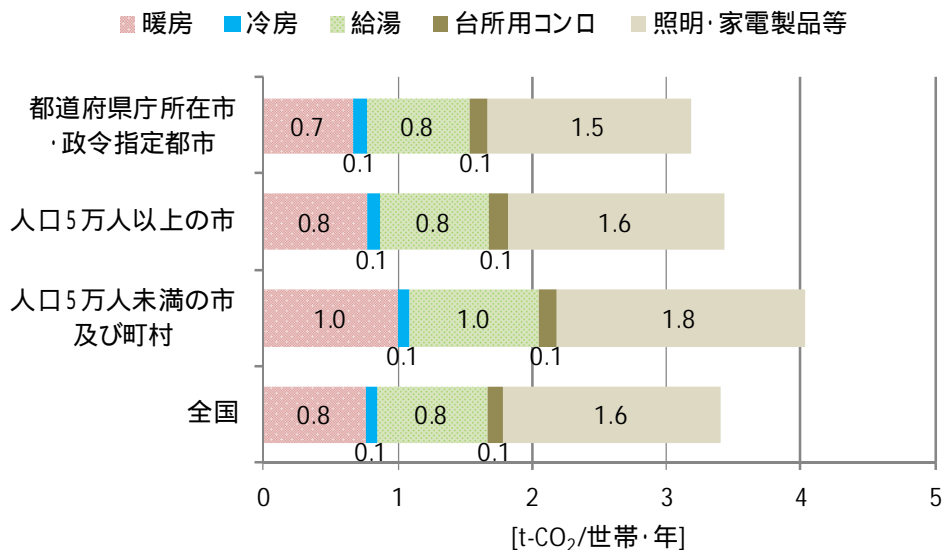


図 2-7 都市階級別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

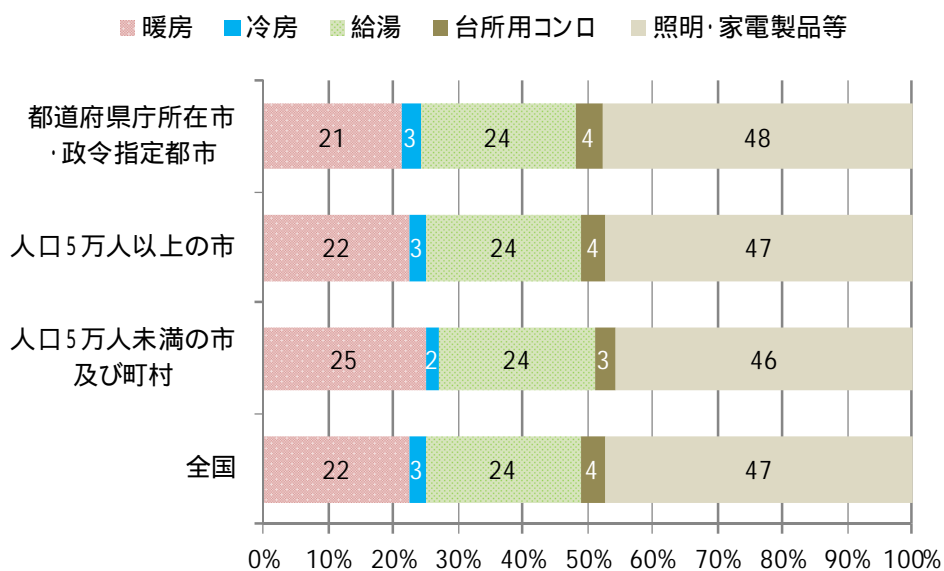


図 2-8 都市階級別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

(5) 地方別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

地方別に自動車用燃料からの世帯当たりの年間 CO₂ 排出量を比較すると、関東甲信、近畿の排出量が少ない。これらの地方では自動車使用台数や使用頻度が少ないことなどが影響していると考えられる。

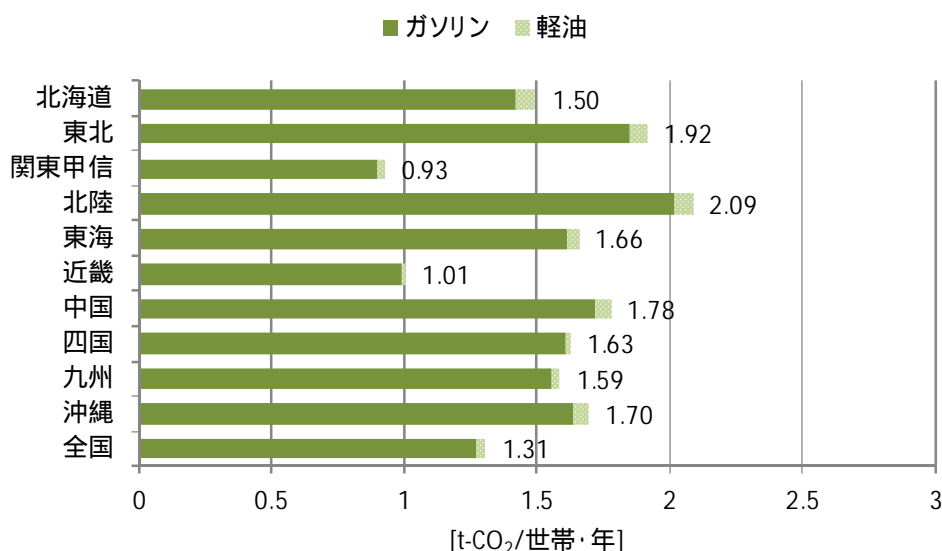


図 2-9 地方別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

(6) 都市階級別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

都市階級別に自動車用燃料からの世帯当たりの年間 CO₂ 排出量を比較すると、自動車使用台数や使用頻度の差などにより、人口 5 万人未満の市及び町村の世帯の排出量が多い。

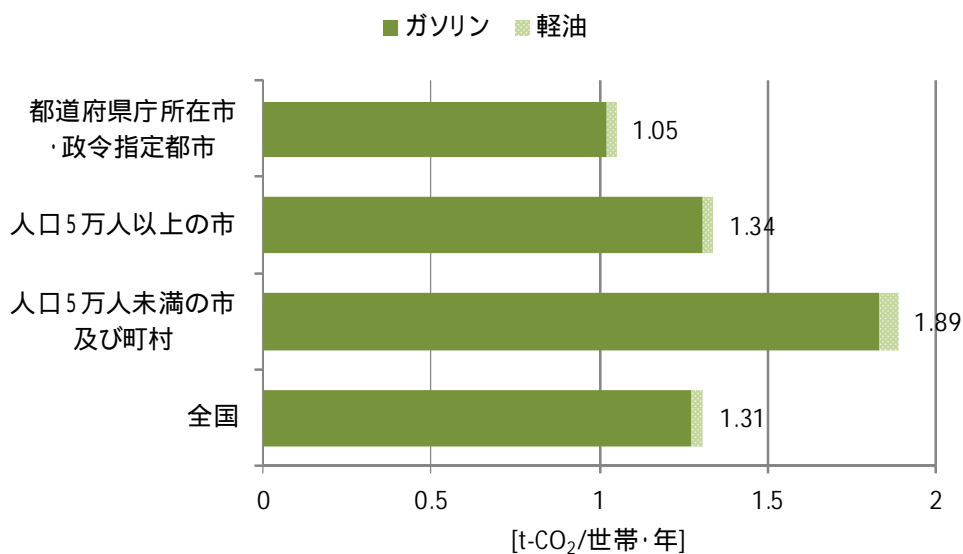


図 2-10 都市階級別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

2 CO₂排出量の分布

(1) 地方別世帯当たり年間CO₂排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布

地方別に年間CO₂排出量の世帯分布を比較すると、北海道、東北及び北陸では排出量が多い世帯の割合が高く、排出量のばらつきが他の地方より大きい。

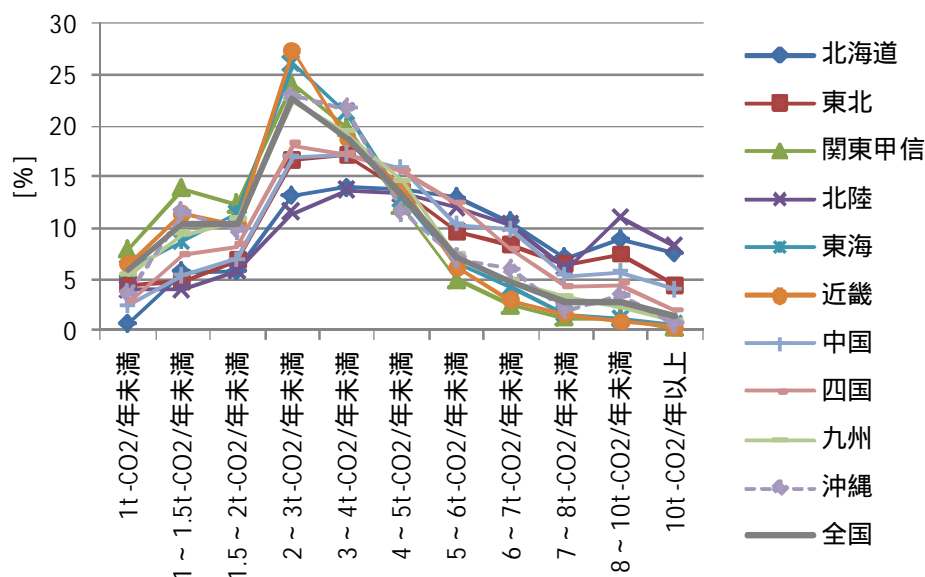


図 2-11 地方別世帯当たり年間CO₂排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布

(2) 都市階級別世帯当たり年間CO₂排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布

都市階級別に年間CO₂排出量の世帯分布を比較すると、人口5万人未満の市及び町村では、排出量の多い世帯の割合が比較的高い。

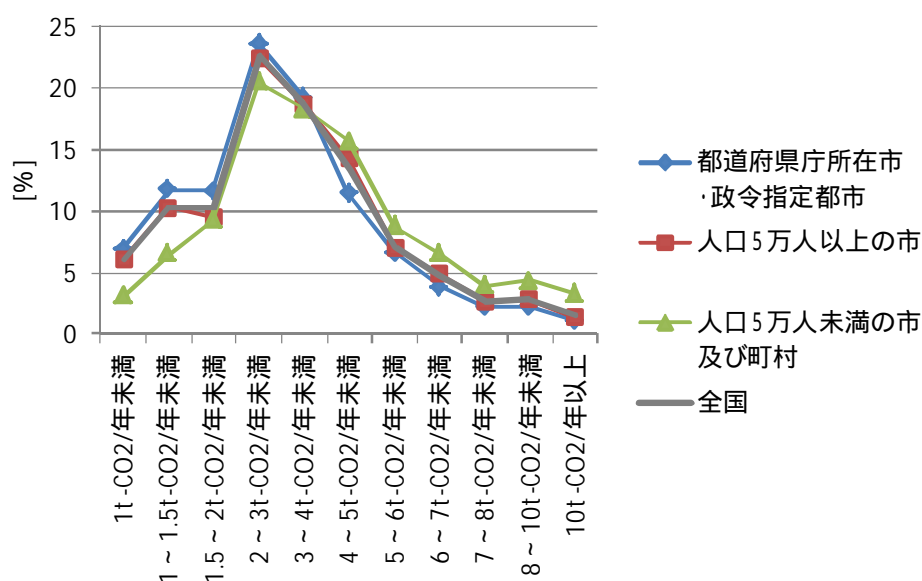


図 2-12 都市階級別世帯当たり年間CO₂排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布

(3) 地方別世帯当たり年間CO₂排出量(自動車用燃料の合計)の世帯分布

地方別に自動車用燃料からの年間CO₂排出量の世帯分布を比較すると、自動車を使用していない(排出量0トン)世帯の割合に大きな差がみられるほか、東北、北陸では排出量が多い世帯の割合が比較的高い。

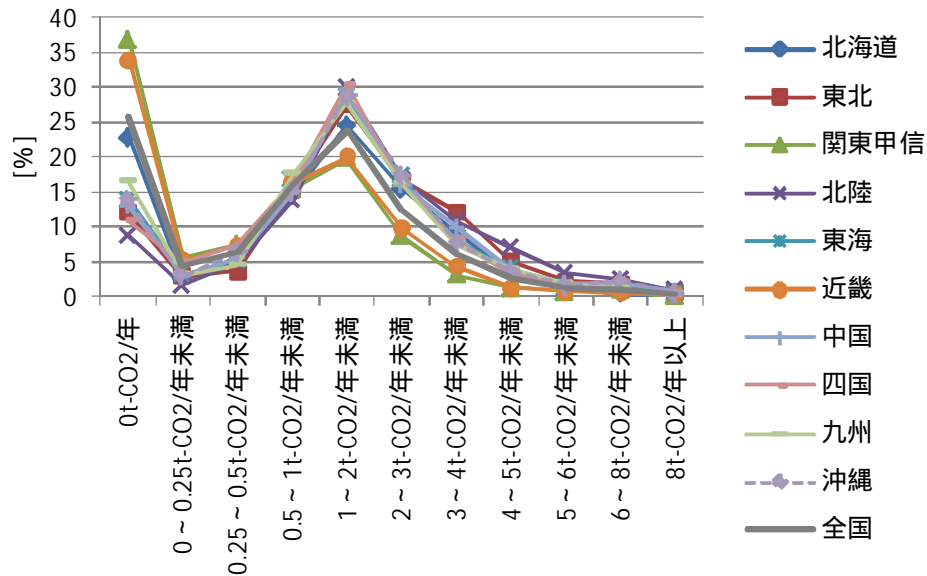


図 2-13 地方別世帯当たり年間CO₂排出量(自動車用燃料の合計)の世帯分布

(4) 都市階級別世帯当たり年間CO₂排出量(自動車用燃料の合計)の世帯分布

都市階級別に自動車用燃料からの年間CO₂排出量の世帯分布を比較すると、自動車を使用していない(排出量0トン)世帯の割合に大きな差がみられるほか、人口5万人未満の市及び町村では、排出量が多い世帯の割合が比較的高い。

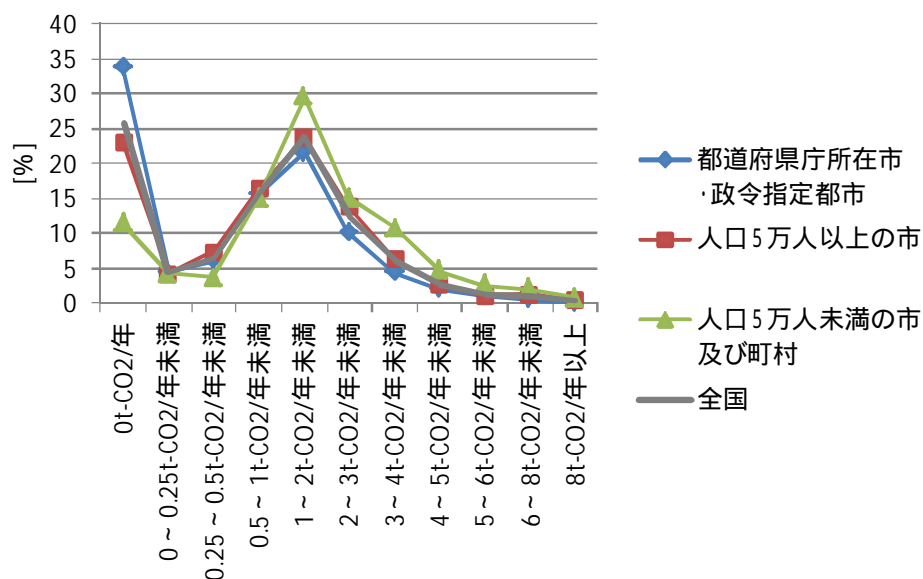


図 2-14 都市階級別世帯当たり年間CO₂排出量(自動車用燃料の合計)の世帯分布

3 エネルギー消費量

(1) 地方別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

地方別に世帯当たりの年間エネルギー消費量を比較すると、北海道が最も多く、沖縄が最も少ない。CO₂排出量での比較と傾向が異なるのは、主に電気が全体に占める割合と電気のCO₂排出係数の地方間での差による。

気候などの違いにより、エネルギー種別構成比には地方間の差がみられる。北海道では灯油が約5割を占め、沖縄では電気が約7割を占める。

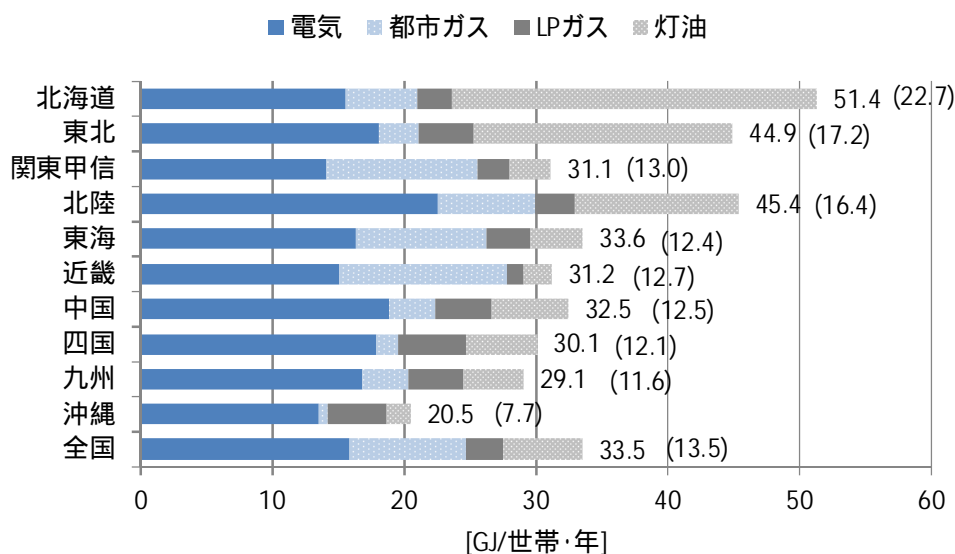


図 2-15 地方別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのエネルギー消費量を表す。

(注2) 1人当たりのエネルギー消費量は、平均の消費量を平均世帯人数で除して算出している。

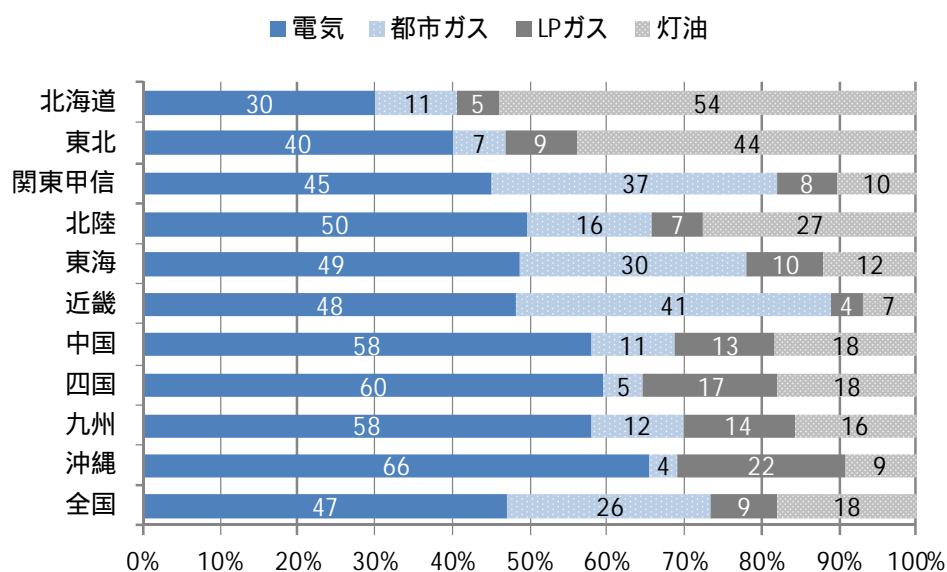


図 2-16 地方別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(2) 地方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比

気候などの違いにより、用途別エネルギー消費量及び構成比には暖房・冷房を中心に地方間の差がみられる。

北海道では暖房が約5割を占める。関東甲信、東海及び近畿では構成比が全国に近い。四国、九州では暖房の割合がやや低く、沖縄では冷房の割合が比較的高い。

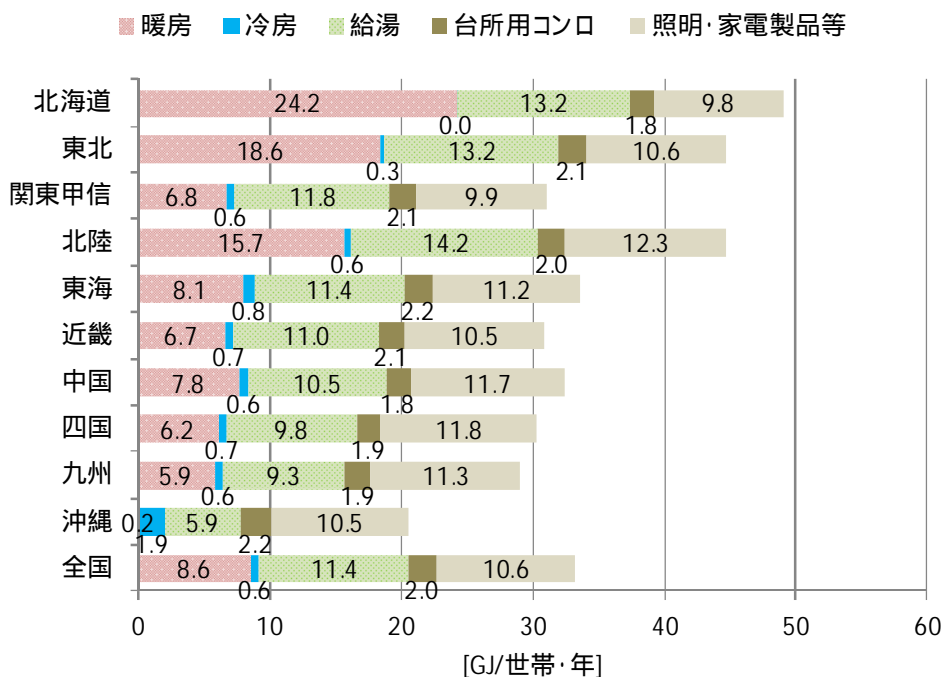


図 2-17 地方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

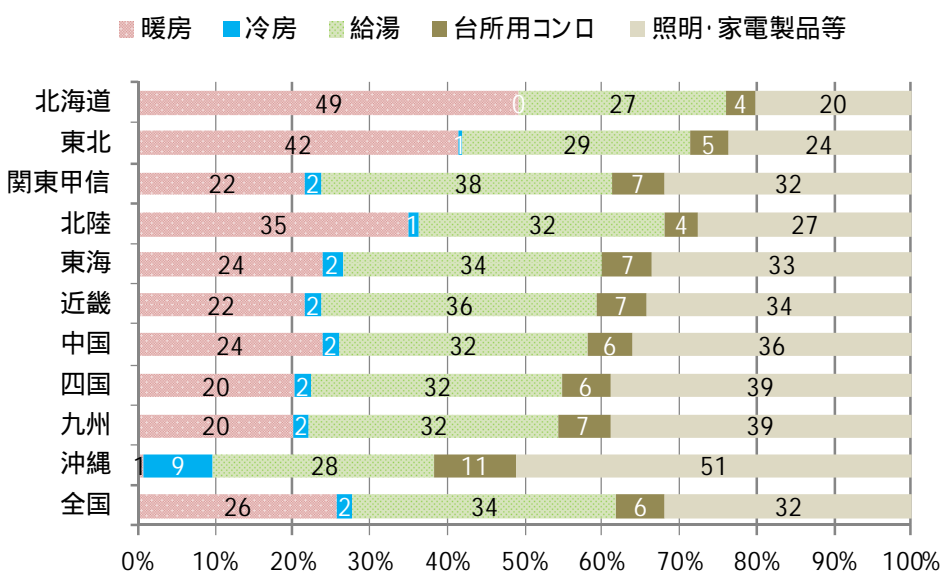


図 2-18 地方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

(3) 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

都市階級別に世帯当たりの年間エネルギー消費量を比較すると、人口5万人未満の市及び町村の世帯の消費量が最も多い。戸建住宅の世帯が多く、世帯人数が多いことなどが影響していると考えられる。

都道府県庁所在市・政令指定都市の世帯では都市ガスの割合が比較的高い。

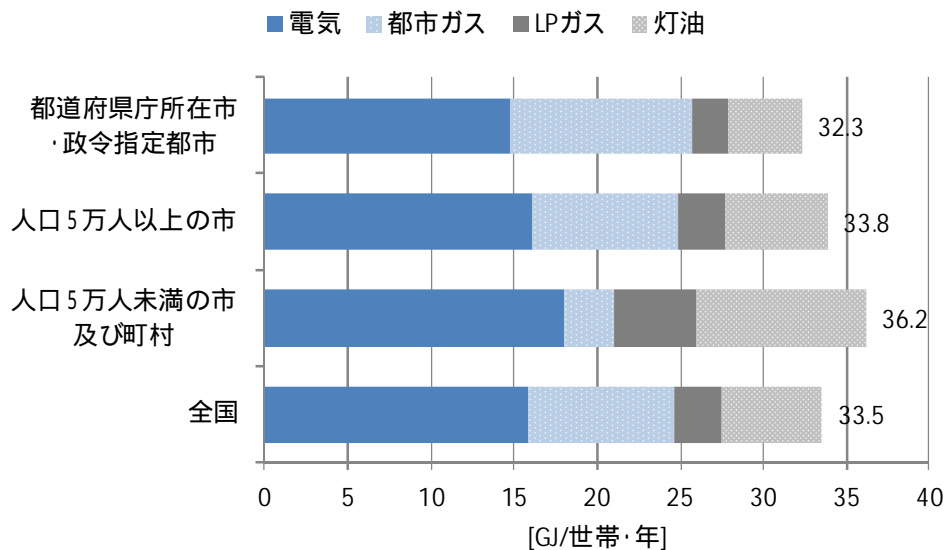


図 2-19 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

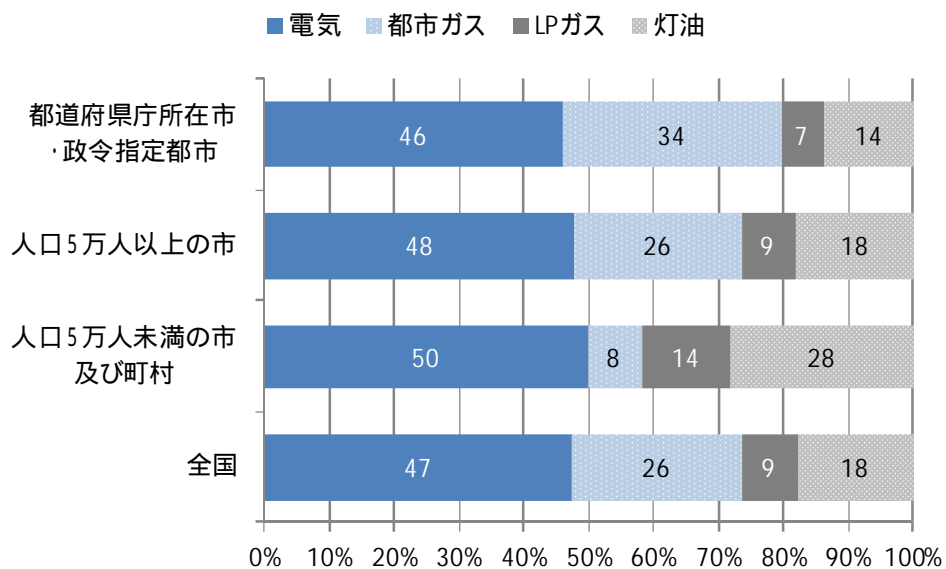


図 2-20 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(4) 都市階級別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比

都市階級別に用途別エネルギー消費量を比較すると、戸建住宅の世帯の割合や世帯人数の差などにより、暖房と照明・家電製品等で人口5万人未満の市及び町村の世帯の消費量が最も多い。

人口5万人未満の市及び町村の世帯では、暖房の割合が比較的高く、給湯の割合が比較的低い。

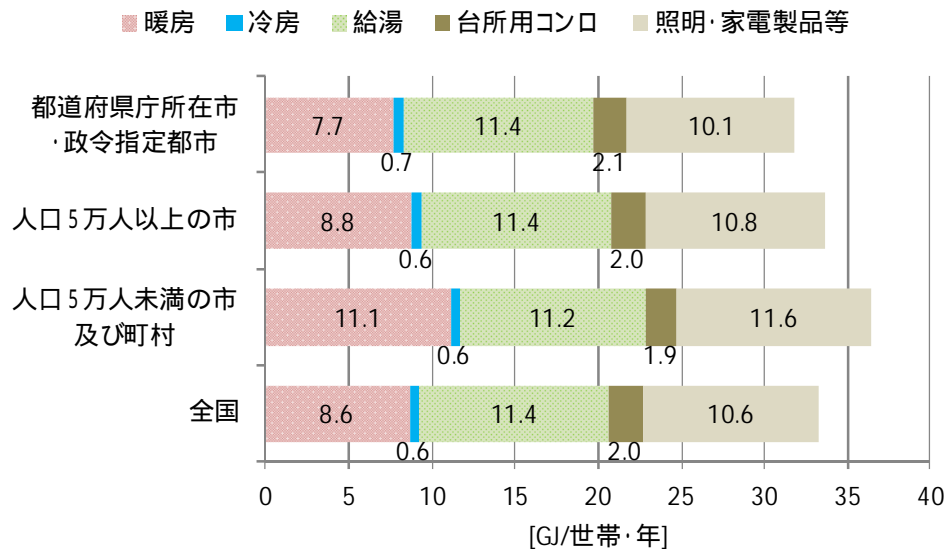


図 2-21 都市階級別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

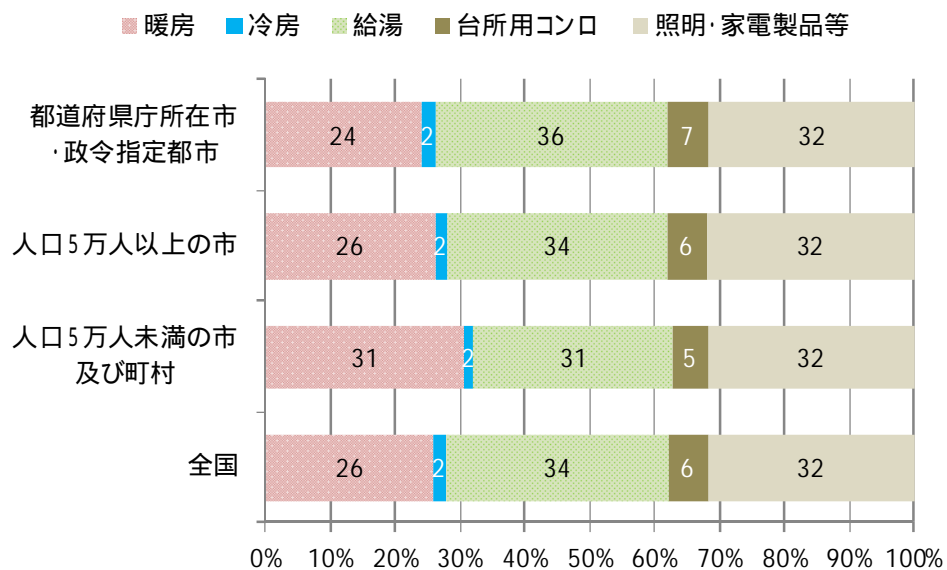


図 2-22 都市階級別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

4 支払金額

(1) 地方別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額

地方別に世帯当たりの電気・ガス・灯油の年間合計支払金額を比較すると、北海道が最も多く、沖縄が最も少ない。

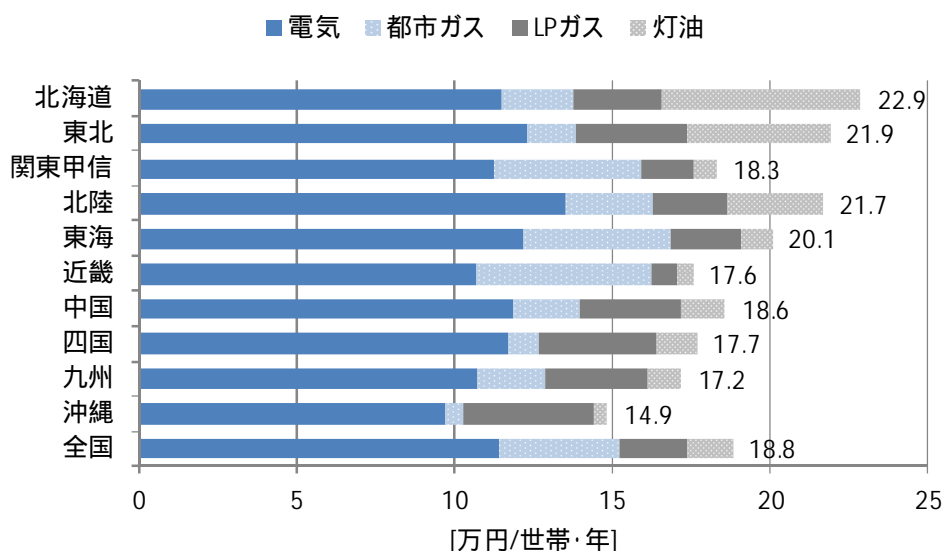


図 2-23 地方別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額

(2) 地方別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額

地方別に世帯当たりの自動車用燃料の年間合計支払金額を比較すると、北陸と東北が多く、関東甲信と近畿が少ない。

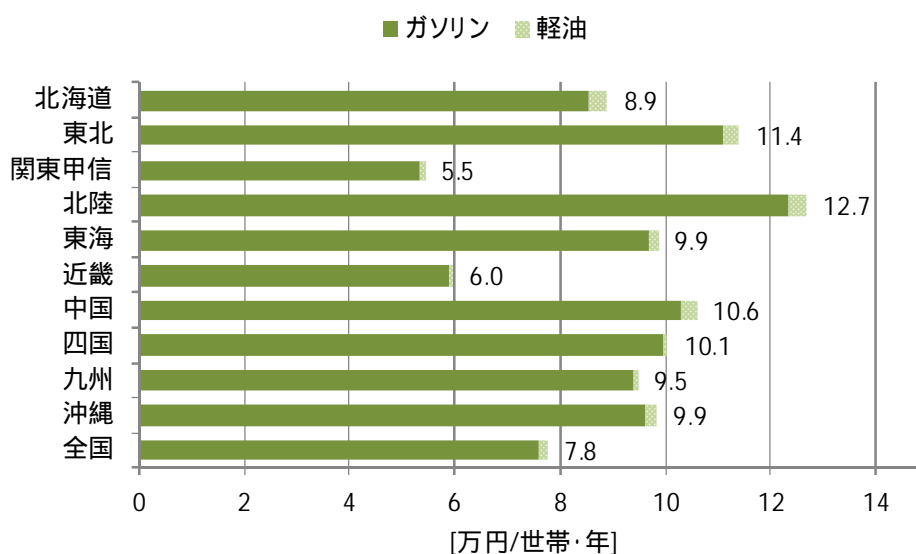


図 2-24 地方別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額

5 設備・機器の使用状況

(1) 地方別給湯器・給湯システム

ガス給湯器・風呂がまは大都市圏である関東甲信、東海、近畿で使用している世帯が多く、灯油給湯器・風呂がまは寒冷地（北海道、東北、北陸）及び沖縄に多い。

電気ヒートポンプ式給湯機は北陸、四国で2割超の世帯が使用しており、電気温水器は北海道、北陸、中国、四国、九州で1割超の世帯が使用している。なお、北海道、沖縄では電気ヒートポンプ式給湯機より電気温水器を使用している世帯が多い。

太陽熱温水器は中国、四国、九州で3～4%普及している。

表 2-1 地方別給湯器・給湯システム

	[% (複数回答)]						
	電気ヒートポンプ式給湯機 (エコキュートなど)	電気温水器	ガス給湯器・風呂がま	ガス小型瞬間湯沸器 (台所等で専用のもの)	灯油給湯器・風呂がま	太陽熱温水器(タンクと集熱部が一体となっているもの)	太陽熱利用給湯システム(タンクと集熱部が分かれているもの)
北海道	3	12	41	4	44	0	0
東北	15	9	44	9	33	0	0
関東甲信	9	4	83	8	4	1	0
北陸	21	12	52	7	16	0	0
東海	15	6	75	6	4	2	0
近畿	11	7	79	10	2	1	0
中国	19	16	56	5	11	3	1
四国	21	13	51	5	14	4	2
九州	17	13	60	5	10	4	1
沖縄	5	8	66	2	20	1	0
全国	12	8	71	7	10	1	0

(2) 地方別 LED 照明の使用状況

地方別に LED 照明の使用状況をみると、沖縄では LED 照明を使用している世帯が少ない。

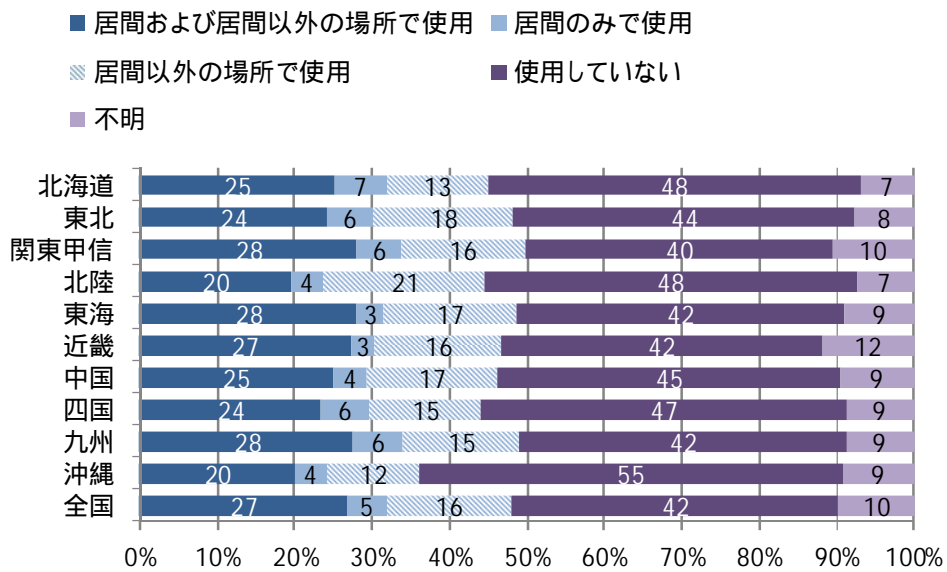


図 2-25 地方別 LED 照明の使用状況

(3) 地方別冷蔵庫の製造時期 (1 台目)

北海道では 2 割超の世帯が 2000 年以前の冷蔵庫 (1 台目) を使用しており、他の地方に比べ割合がやや高い。

複数台使用している世帯の場合は、最も内容積の大きい冷蔵庫をいう。

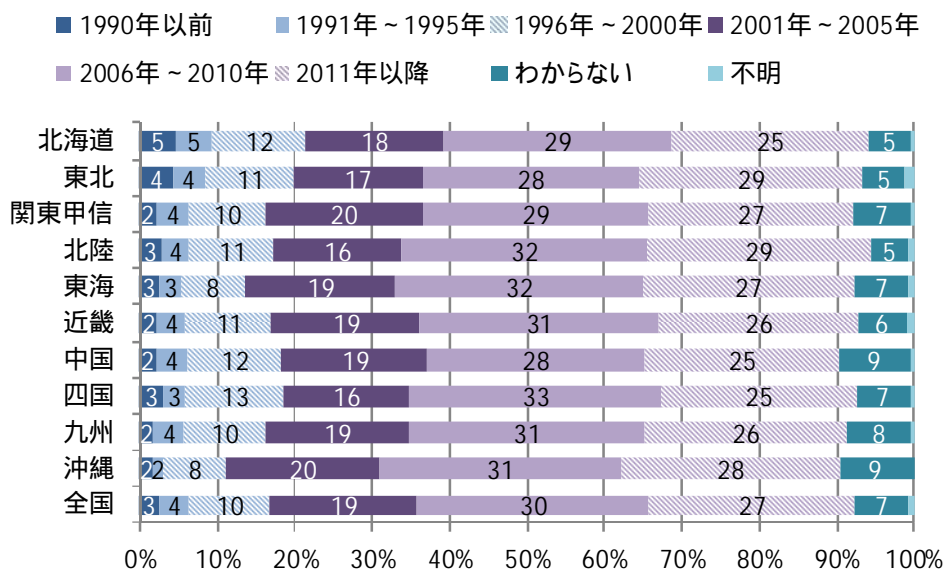


図 2-26 地方別冷蔵庫の製造時期 (1 台目)

(4) 地方別冷蔵庫の使用台数

東北、北陸、中国、四国では、2割以上の世帯が冷蔵庫を2台以上使用しており、他の地方に比べ割合が高い。

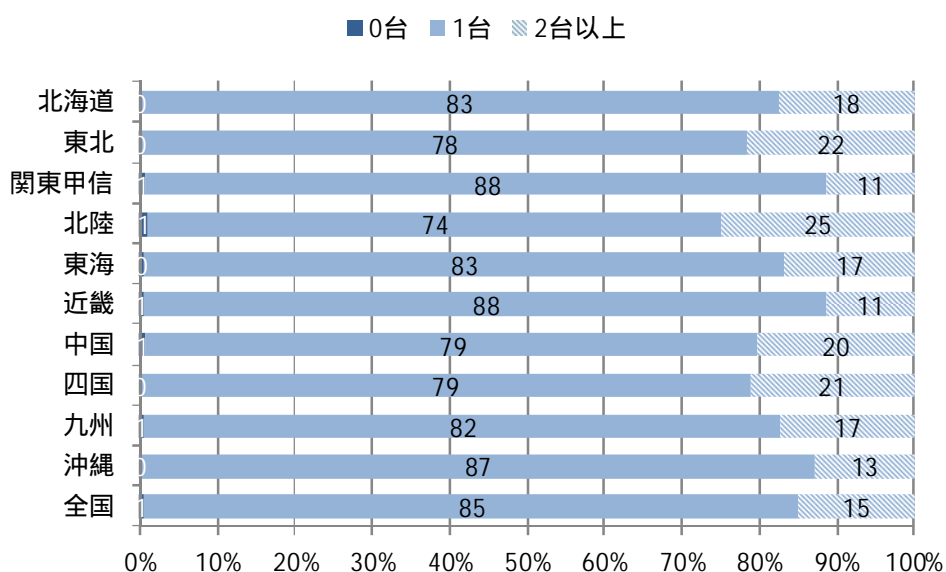


図 2-27 地方別冷蔵庫の使用台数

(5) 地方別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

北海道は二重サッシまたは複層ガラスの窓がある世帯が約9割と他の地方に比べ高い。次いで東北、北陸が高く、南に行くにつれて普及率が下がる傾向がみられる。

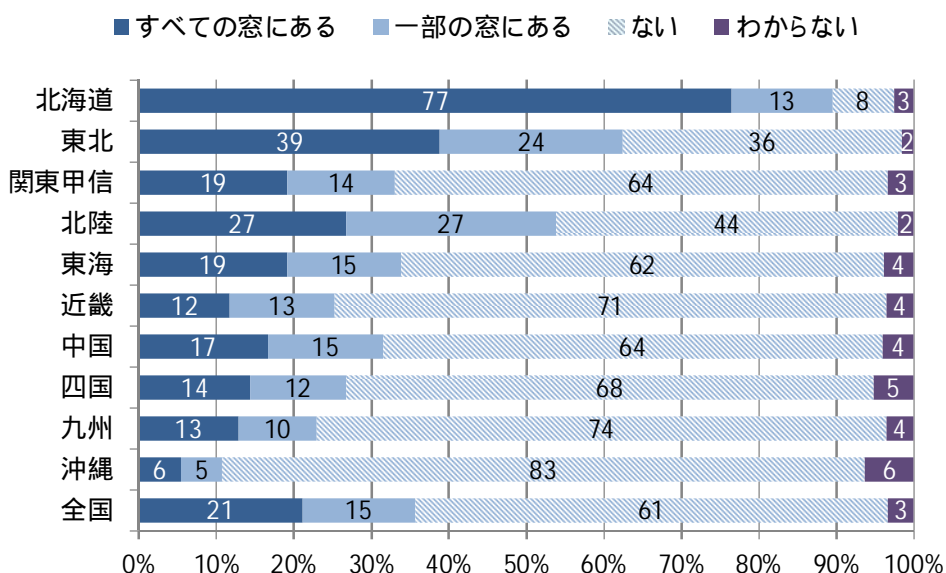


図 2-28 地方別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

(6) 地方別自動車の実際の燃費 (1 台目)

地方別にみると、四国では29%の世帯が実燃費が 15km/L 以上の自動車(1 台目) を使用している。

複数台使用している世帯の場合は、1 台目に回答した自動車をいう。

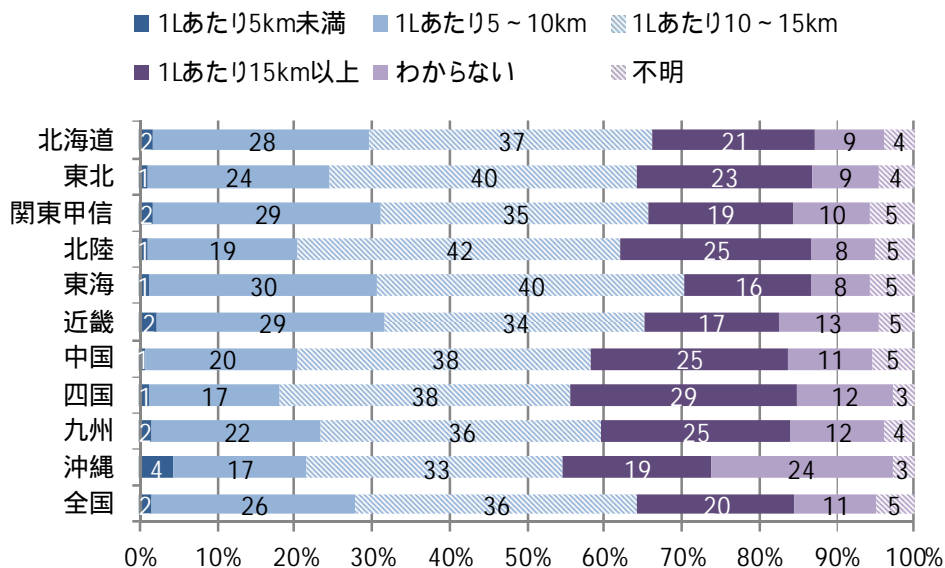


図 2-29 地方別自動車の実際の燃費 (1 台目)

(7) 都市階級別自動車の実際の燃費 (1 台目)

人口 5 万人未満の市及び町村に住む世帯では、実燃費が 15km/L 以上の自動車を 使用している世帯が多く、他の都市階級に比べ 6 ~ 7 ポイント高い。

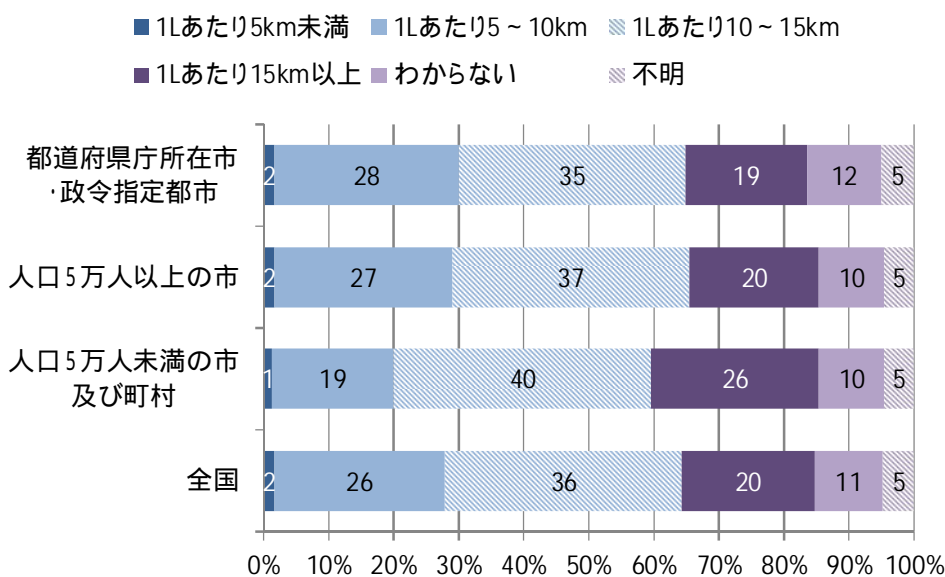


図 2-30 都市階級別自動車の実際の燃費 (1 台目)

(8) 地方別太陽光発電システムの使用率

戸建住宅に限定し、地方別の太陽光発電システムの使用率をみると、九州、東海では、15%以上の世帯が太陽光発電システムを使用しており、他の地方に比べやや高い。一方、北海道、北陸は他の地方に比べ太陽光発電システムの使用率が低い。

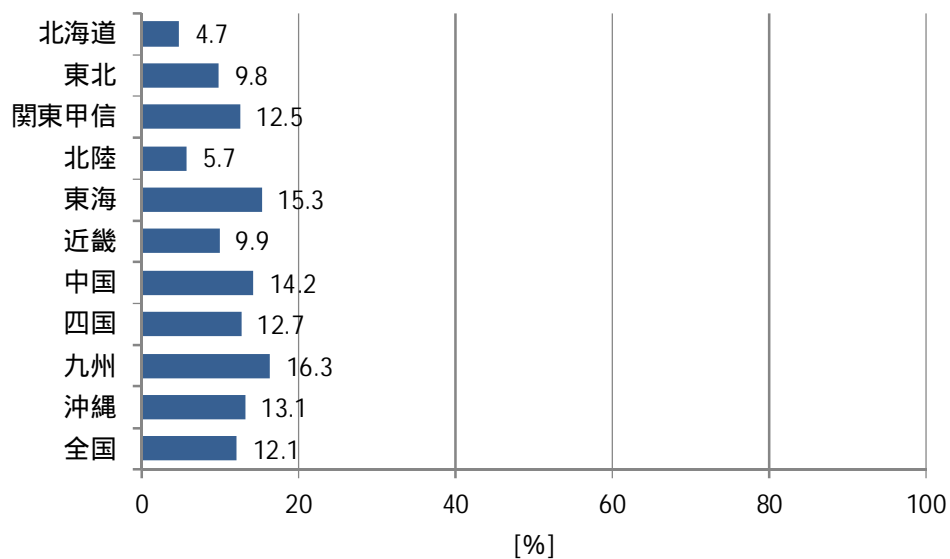


図 2-31 地方別太陽光発電システムの使用率（戸建）

機器の使用状況別の主要結果

(1) 建て方別エアコン以外の家電製品の使用台数別世帯当たり年間用途別CO₂排出量

家電製品（エアコン以外）の使用台数別に世帯当たりの年間用途別CO₂排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも家電製品の使用台数が多い世帯ほど照明・家電製品等の排出量が多い。

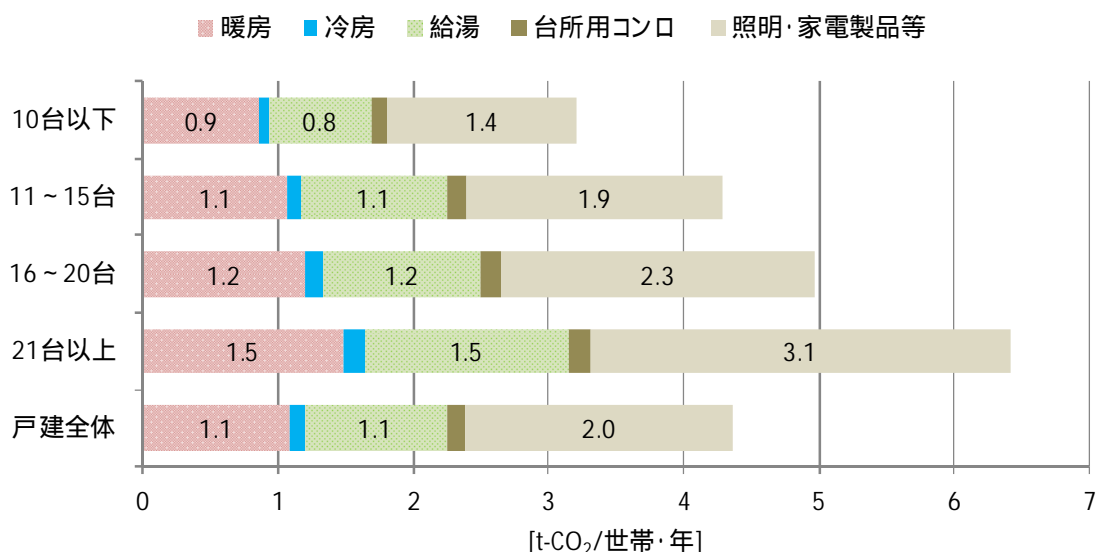


図 3-1 建て方別エアコン以外の家電製品の使用台数別世帯当たり年間用途別CO₂排出量（戸建）

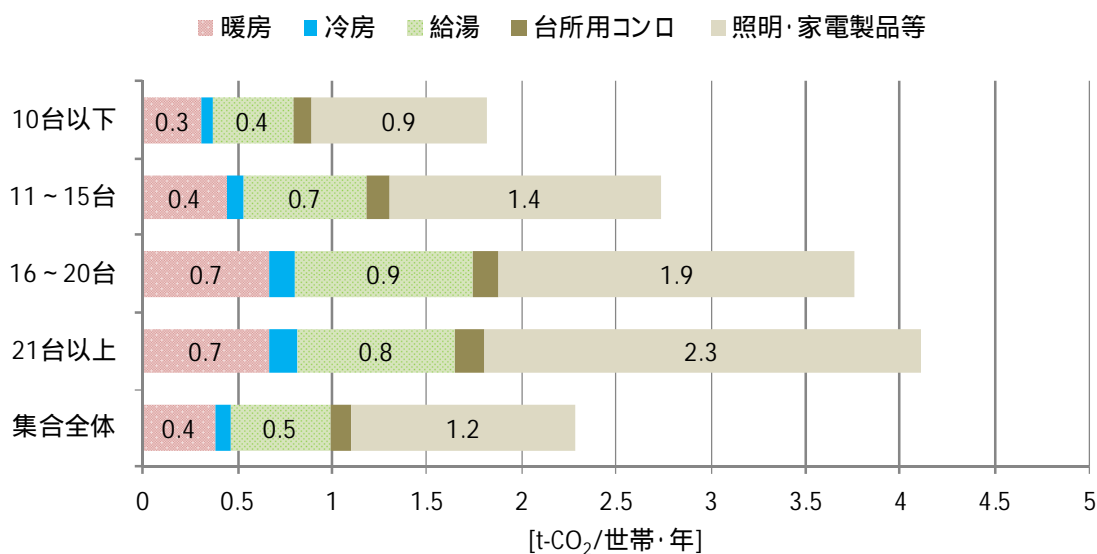


図 3-2 建て方別エアコン以外の家電製品の使用台数別世帯当たり年間用途別CO₂排出量（集合）

(2) 建て方別テレビの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

テレビの使用台数別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも使用台数が多い世帯ほど照明・家電製品等の排出量が多い。

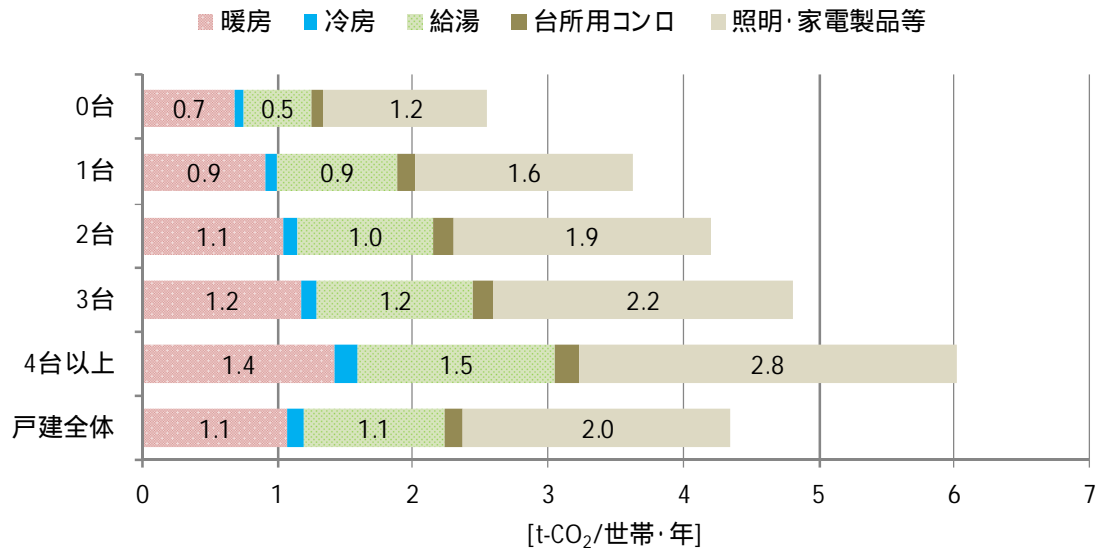


図 3-3 建て方別テレビの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量 (戸建)

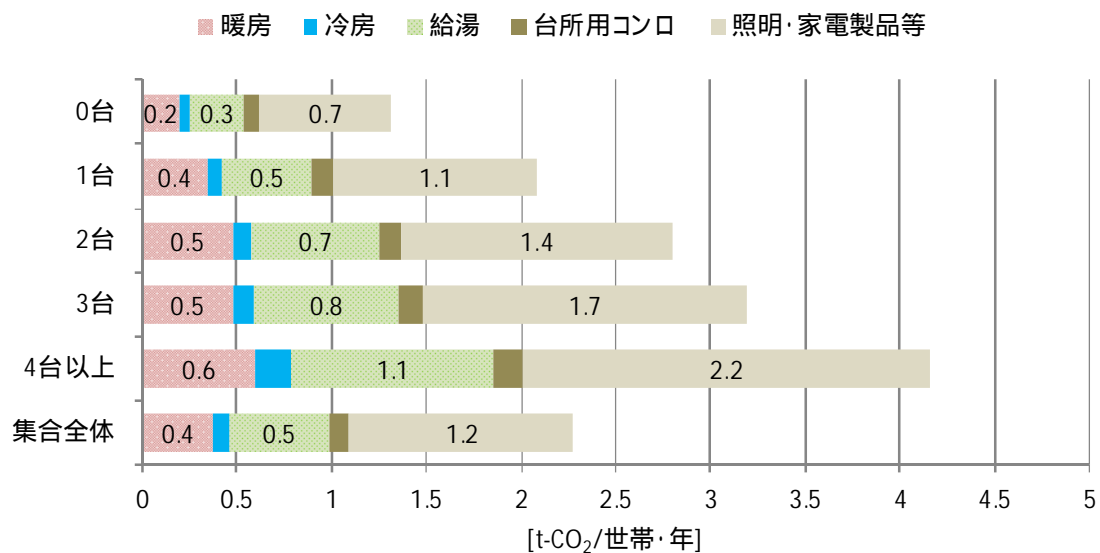


図 3-4 建て方別テレビの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量 (集合)

(3) 建て方別平日のテレビの使用時間(1台目)別世帯当たり年間用途別CO₂排出量

テレビの使用時間(平日、1台目)別に世帯当たりの年間用途別CO₂排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも、8時間~12時間未満まで、使用時間が長い世帯ほど照明・家電製品等の排出量が多い。

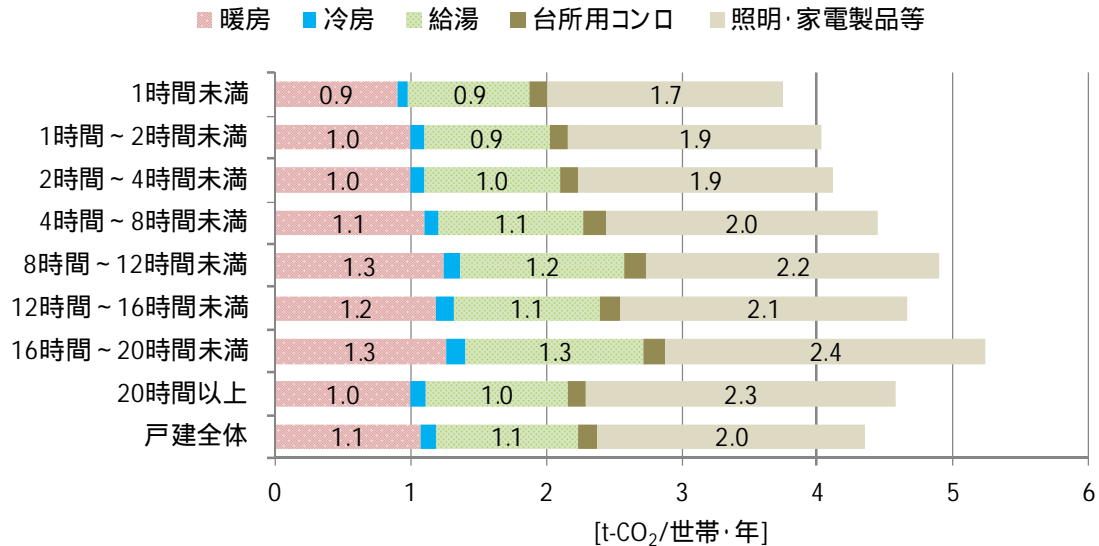


図 3-5 建て方別平日のテレビの使用時間(1台目)別世帯当たり年間用途別CO₂排出量(戸建)

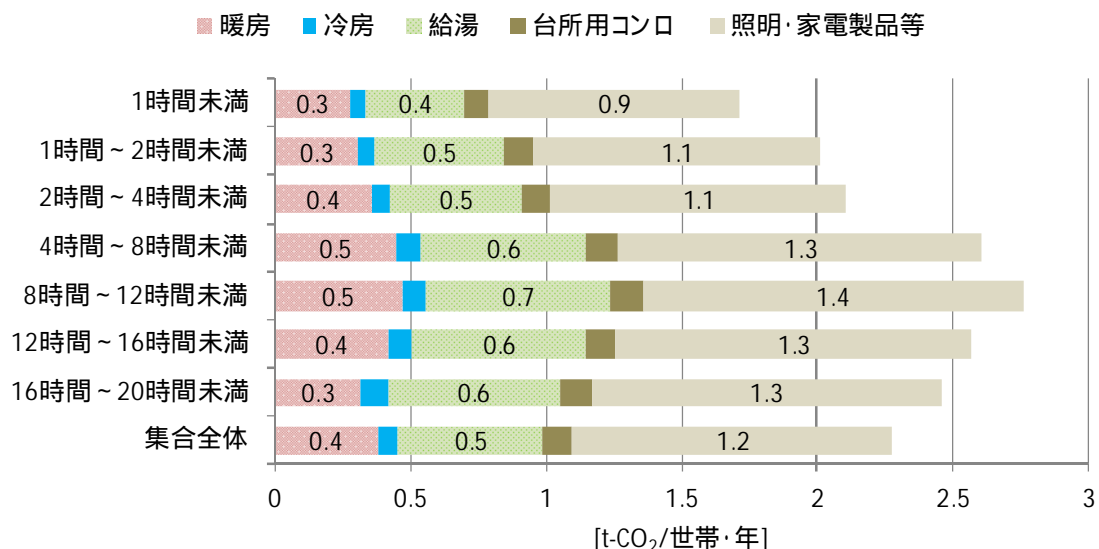


図 3-6 建て方別平日のテレビの使用時間(1台目)別世帯当たり年間用途別CO₂排出量(集合)

(注) 20時間以上は集計世帯数が10未満のため表示していない。

(4) 建て方別冷蔵庫の使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

冷蔵庫の使用台数別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも、使用台数が1台の世帯より2台以上の世帯の方が照明・家電製品等の排出量が多い。

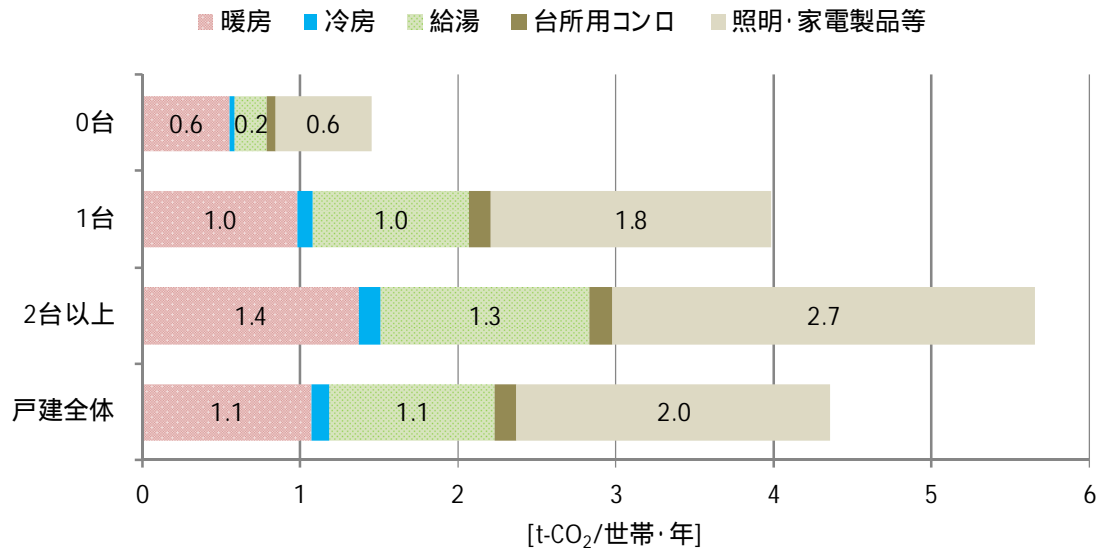


図 3-7 建て方別冷蔵庫の使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量 (戸建)

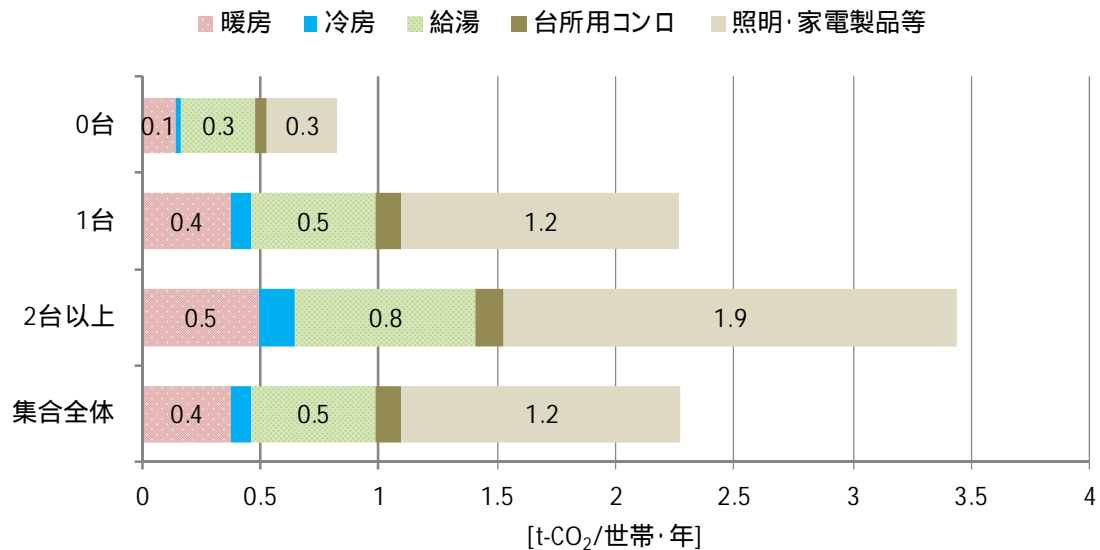


図 3-8 建て方別冷蔵庫の使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量 (集合)

(5) 建て方別エアコンの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

エアコンの使用台数別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも、使用台数が多い世帯ほど冷房の排出量が多い。

エアコンの使用台数が0台の世帯には北海道などの寒冷地の世帯が多く含まれているため、暖房の排出量が多い。

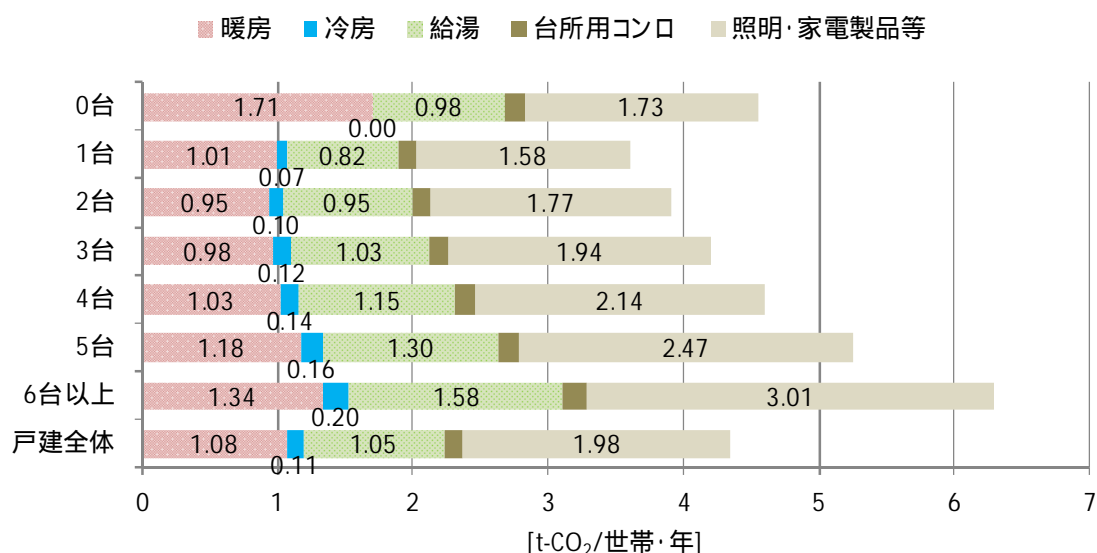


図 3-9 建て方別エアコンの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量 (戸建)

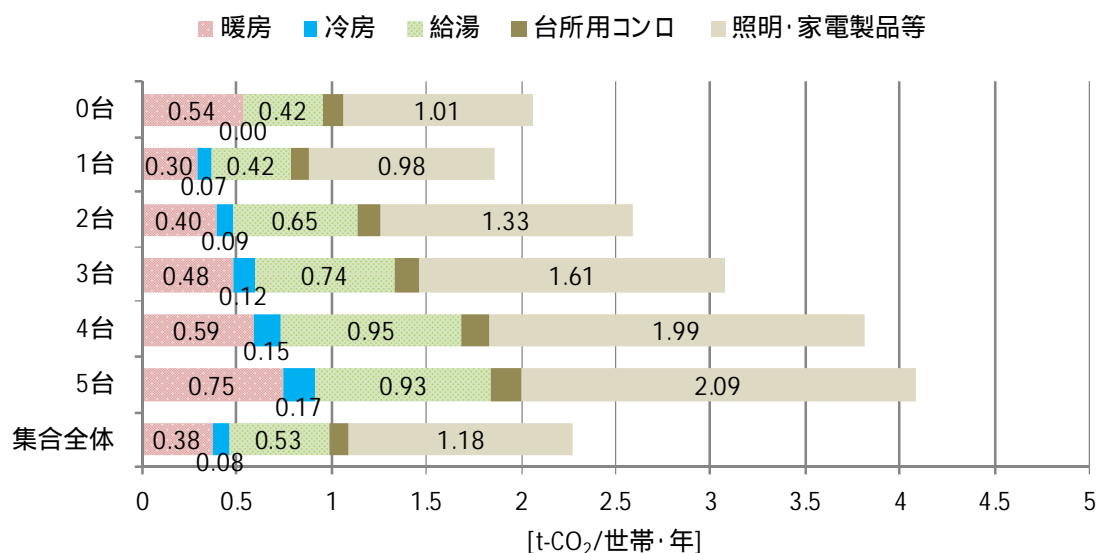


図 3-10 建て方別エアコンの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量 (集合)

(注) 6台以上は集計世帯数が10未満のため表示していない。

(6) 建て方別暑い時期の平日のエアコン使用時間(1台目)別世帯当たり年間用途別CO₂排出量

エアコンの使用時間(暑い時期の平日、1台目)別に世帯当たりの年間用途別CO₂排出量を比較すると、集合住宅の世帯の24時間を除き、使用時間が長い世帯ほど冷房の排出量が多い。

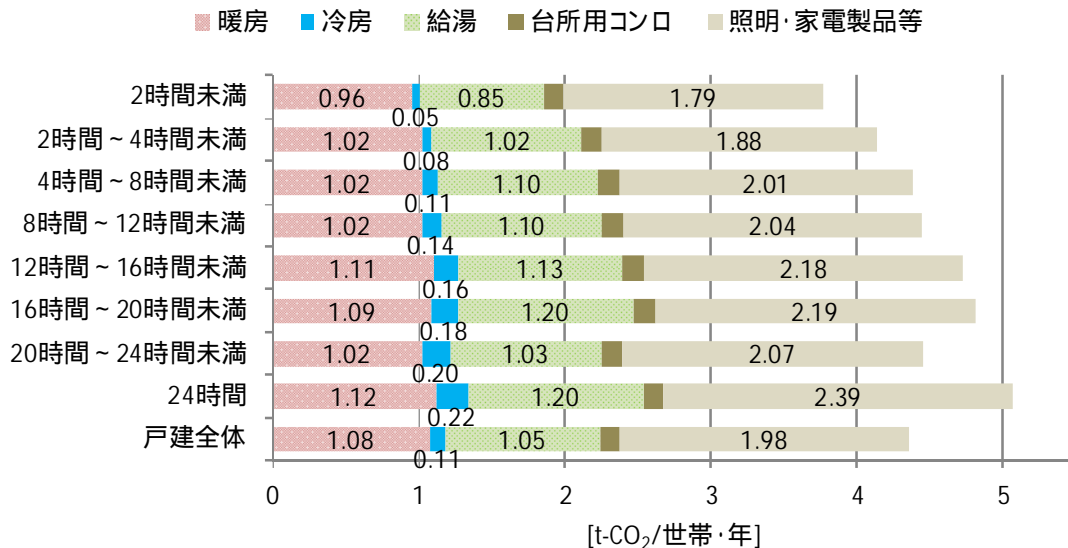


図 3-11 建て方別暑い時期の平日のエアコン使用時間(1台目)別世帯当たり年間用途別CO₂排出量(戸建)

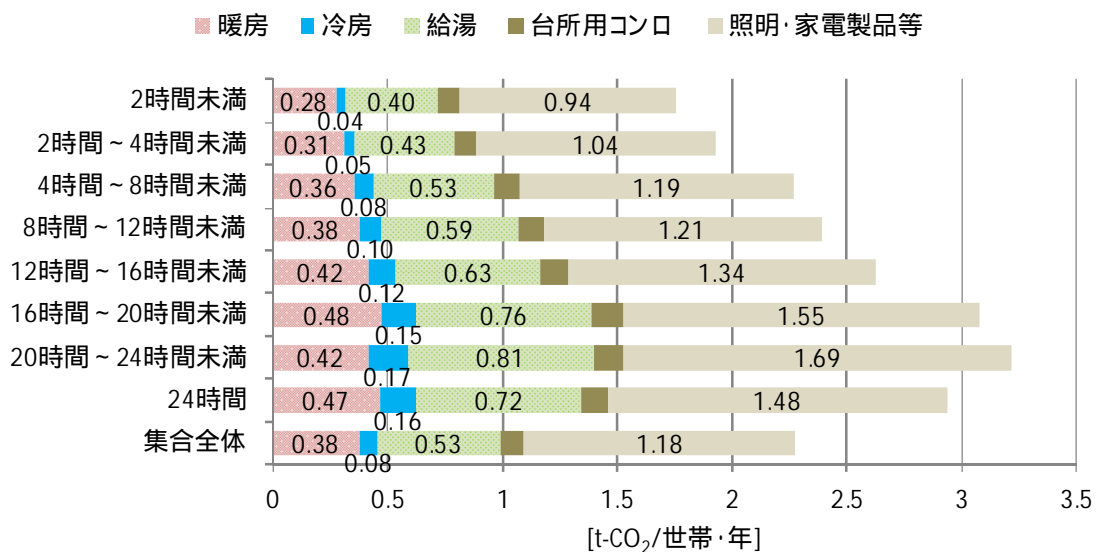


図 3-12 建て方別暑い時期の平日のエアコン使用時間(1台目)別世帯当たり年間用途別CO₂排出量(集合)

(7) 建て方別最もよく使う暖房機器別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

最もよく使う暖房機器別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも電気蓄熱暖房器やセントラル暖房システムを使用している世帯の暖房の排出量が多い。いずれの機器も北海道などの寒冷地で主に使用されていることも排出量が多い原因である。

戸建住宅の世帯では、木質系燃料のストーブ類（まきストーブ、ペレットストーブなど）を使用している世帯の暖房の排出量が少ない。

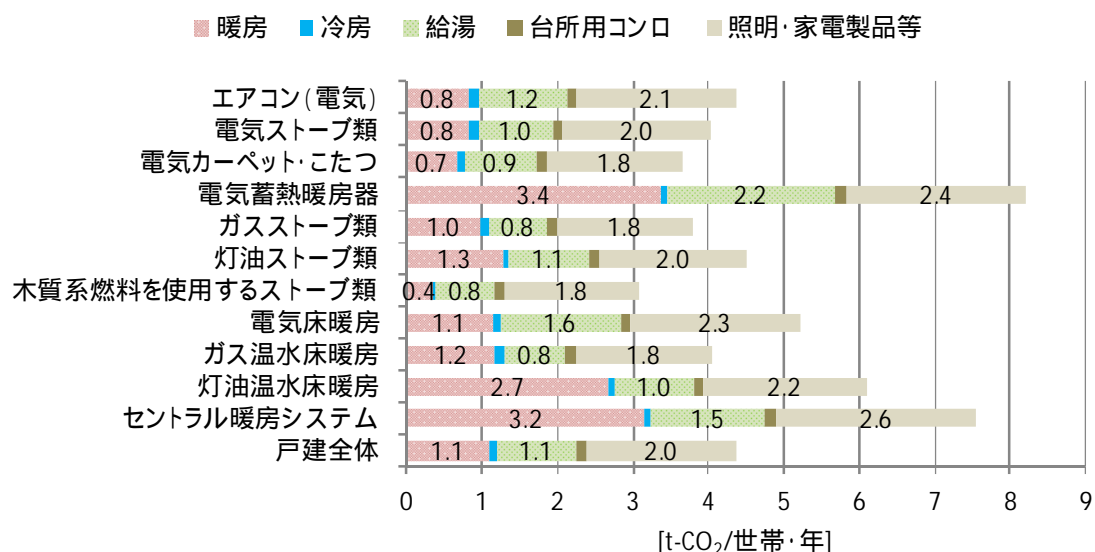


図 3-13 建て方別最もよく使う暖房機器別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（戸建）

(注) 太陽熱利用暖房システムは集計世帯数が 10 未満のため表示していない。

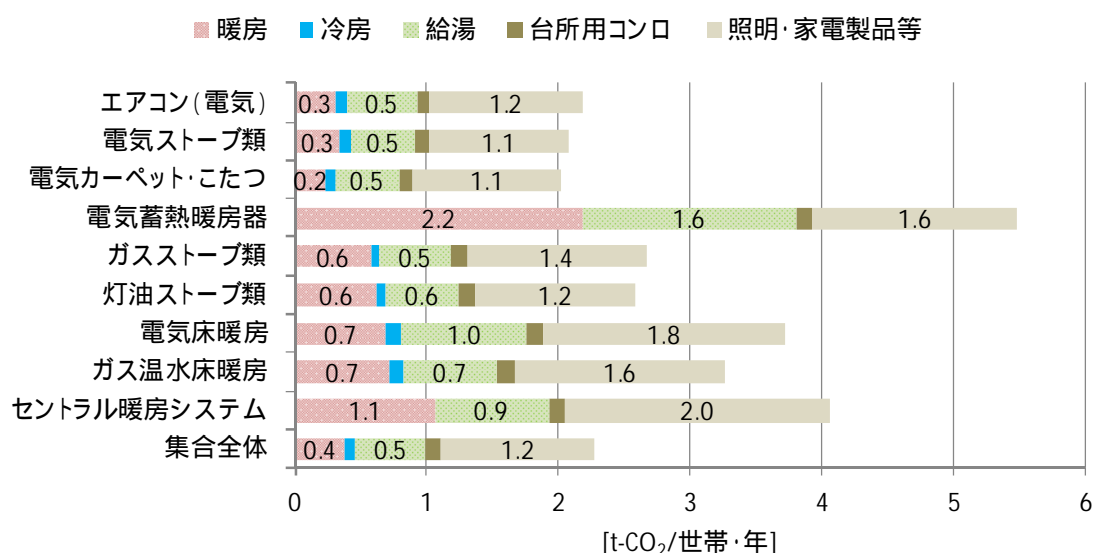


図 3-14 建て方別最もよく使う暖房機器別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（集合）

(注) 集計世帯数が 10 未満の機器は表示していない。

(8) 建て方別最もよく使う暖房機器の冬の平日の使用時間別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

最もよく使う暖房機器の使用時間（冬の平日）別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では使用時間が長い世帯ほど暖房の排出量が多い。集合住宅の世帯では16時間～20時間未満の世帯まで同様の傾向がみられる。

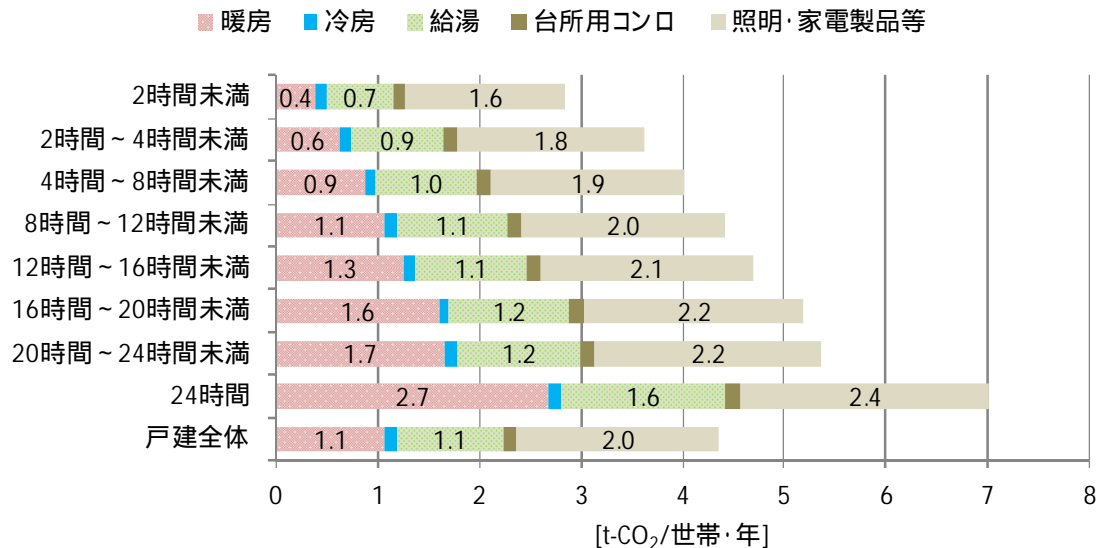


図 3-15 建て方別最もよく使う暖房機器の冬の平日の使用時間別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（戸建）

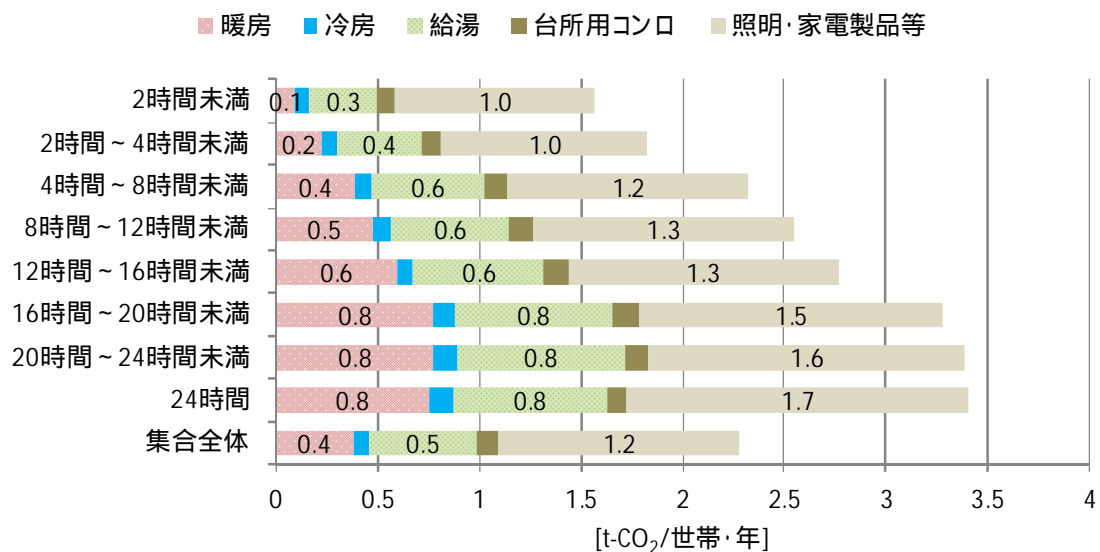


図 3-16 建て方別最もよく使う暖房機器の冬の平日の使用時間別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（集合）

(9) 建て方別暖房室数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

暖房室数（暖房を行う居室の数）別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも、暖房室数が多い世帯ほど暖房の排出量が多い。

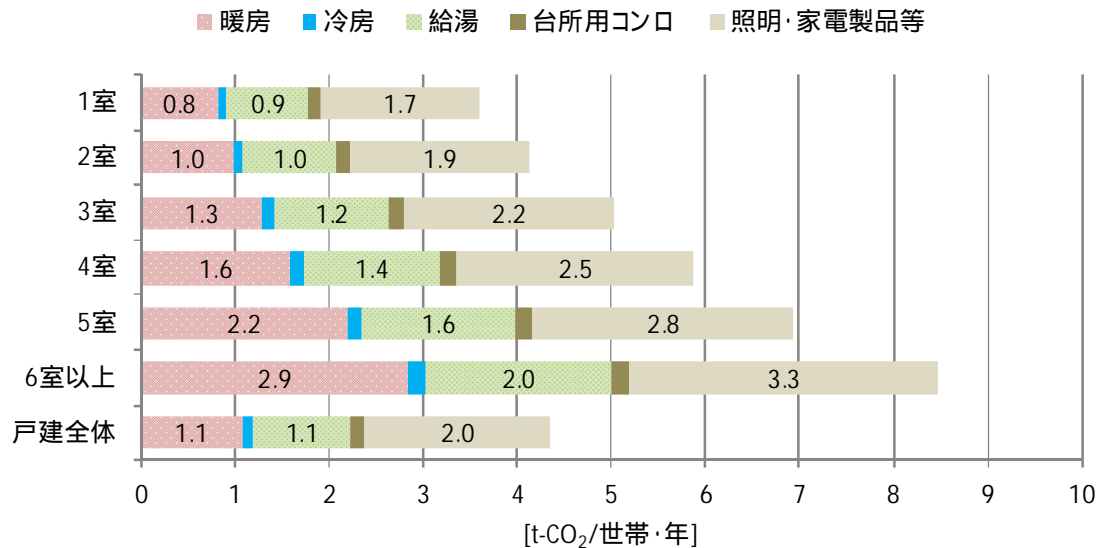


図 3-17 建て方別暖房室数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（戸建）

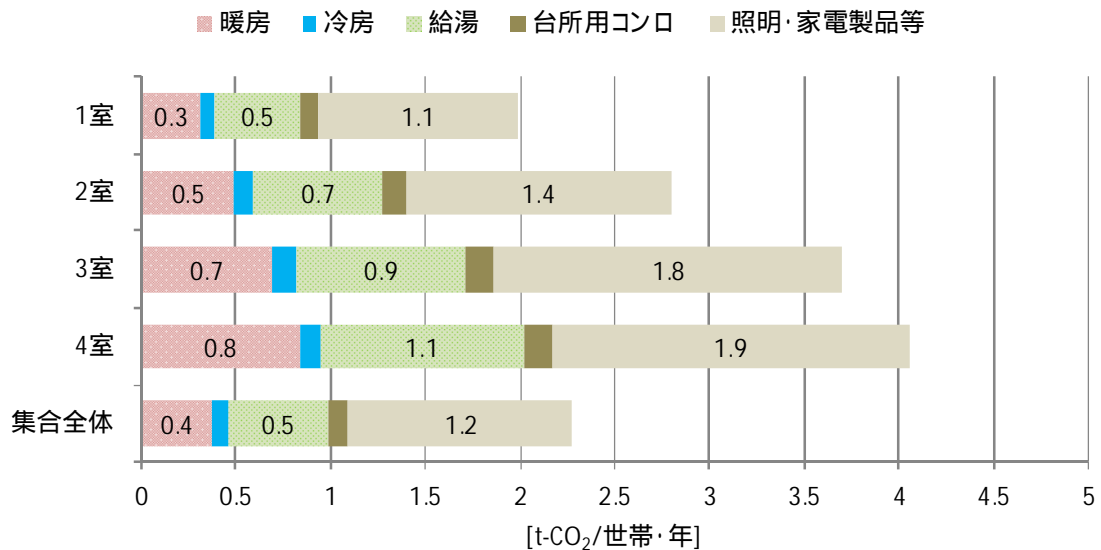


図 3-18 建て方別暖房室数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（集合）

（注）5室、6室以上は集計世帯数が10未満のため表示していない。

(1 0) 建て方別 LED 照明の使用状況別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

LED 照明の使用状況別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、使用している世帯と使用していない世帯の間で、照明・家電製品等の排出量にほとんど差がみられない。排出量に影響する他の要因が LED 照明の効果を相殺している可能性が考えられる。

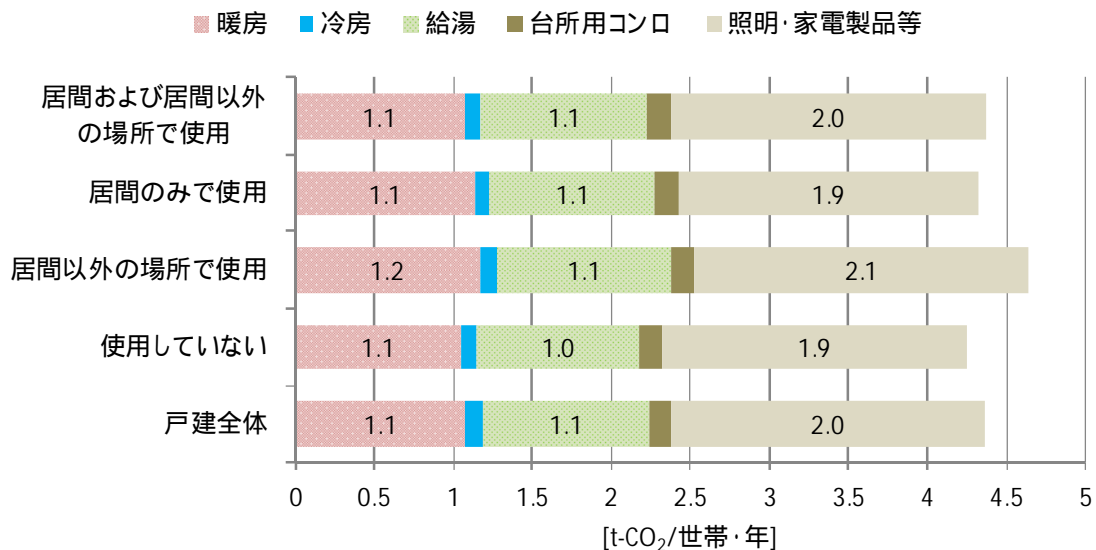


図 3-19 建て方別 LED 照明の使用状況別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量 (戸建)

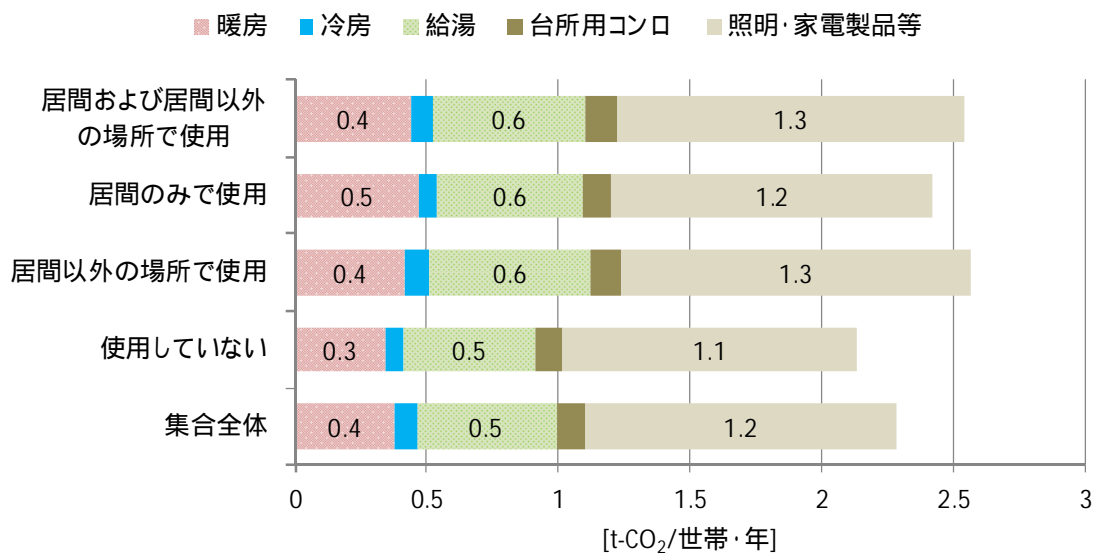


図 3-20 建て方別 LED 照明の使用状況別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量 (集合)

(1 1) 建て方別冬季の入浴日数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

冬季の入浴日数別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも、入浴日数が多い世帯ほど給湯の排出量が多い。

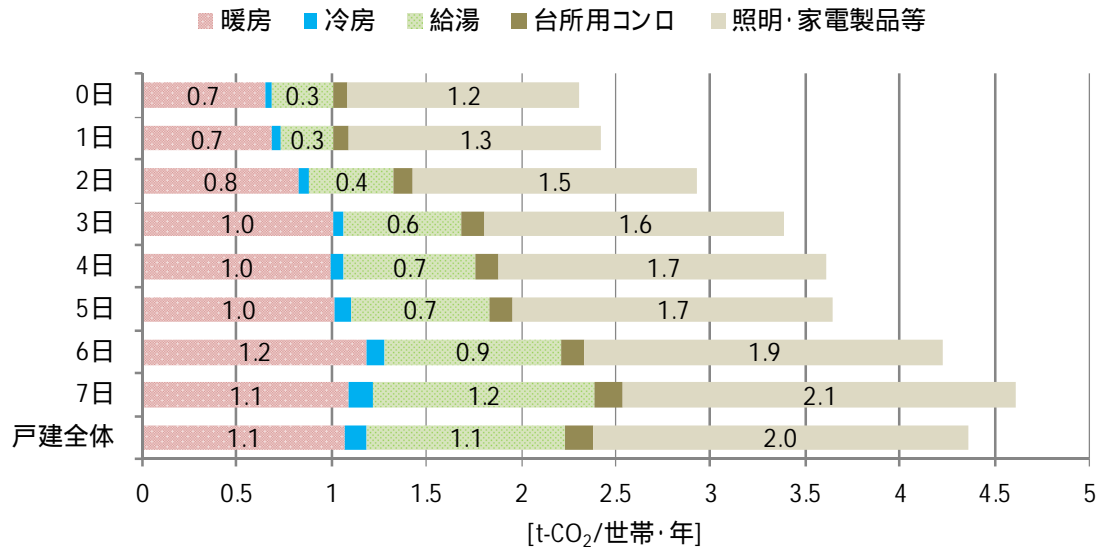


図 3-21 建て方別冬季の入浴日数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（戸建）

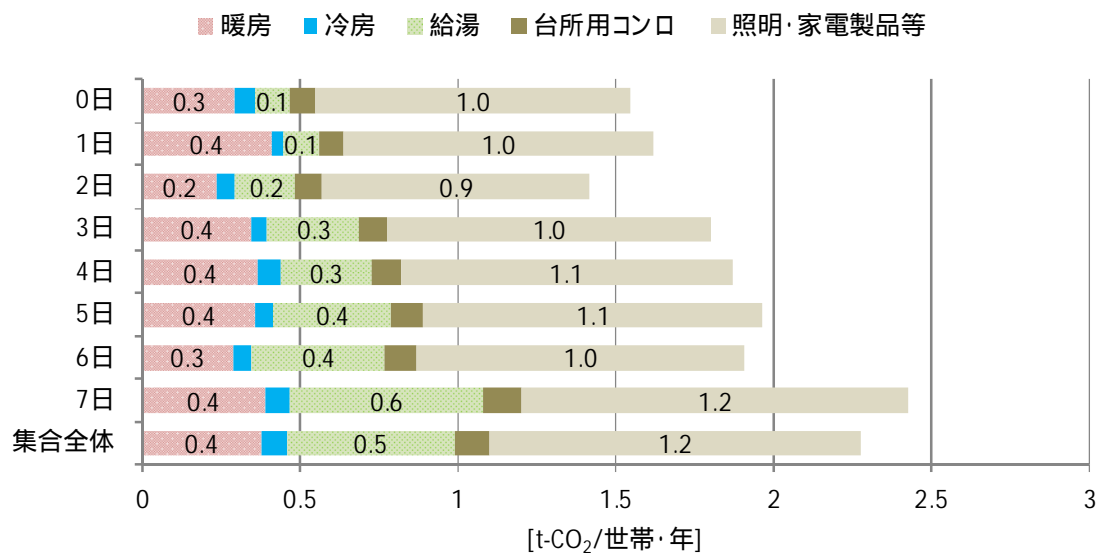


図 3-22 建て方別冬季の入浴日数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（集合）

(12) 建て方別省エネルギー行動実施率別世帯当たり年間エネルギー種別CO₂排出量

省エネルギー行動(18項目)の実施状況をみると、行動ごとの実施状況にはかなりの差がみられる。

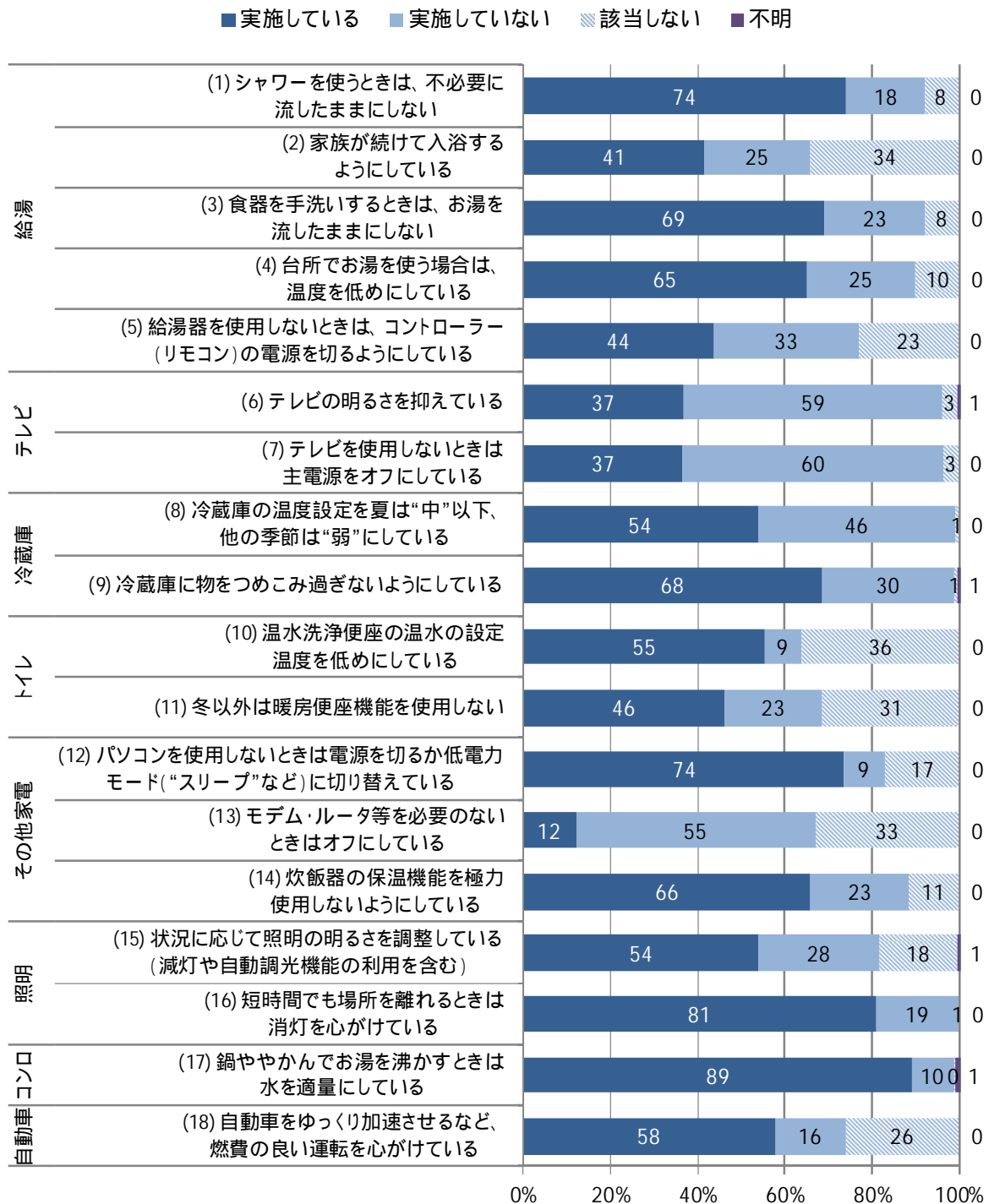


図 3-23 省エネルギー行動実施状況

省エネルギー行動実施率（ ）別に世帯当たりの年間エネルギー種別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では実施率が高い世帯ほど排出量が少ない。集合住宅の世帯では、実施率が20%以下の世帯を除き、実施率が高い世帯ほど排出量が少ない。省エネルギー行動の実施率が「80%より大きく100%以下」の世帯は、全体の平均よりも約10～15%CO₂ 排出量が少なく、省エネルギー行動による削減可能性がみとめられる。

省エネルギー行動18項目のうち「該当しない」及び不明を除く項目数に対する実施数の割合。

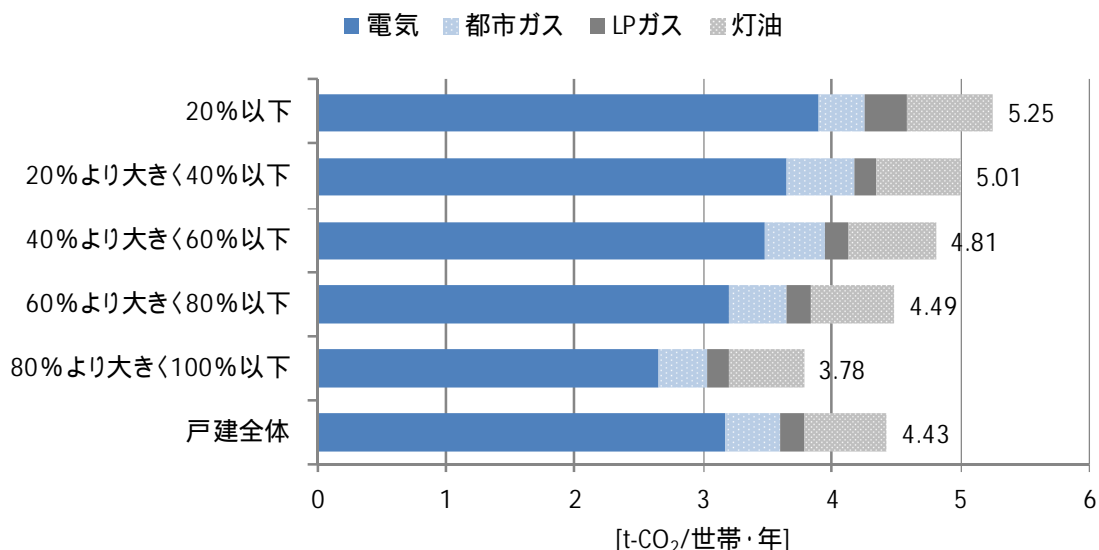


図 3-24 建て方別省エネルギー行動実施率別世帯当たり年間エネルギー種別CO₂排出量（戸建）

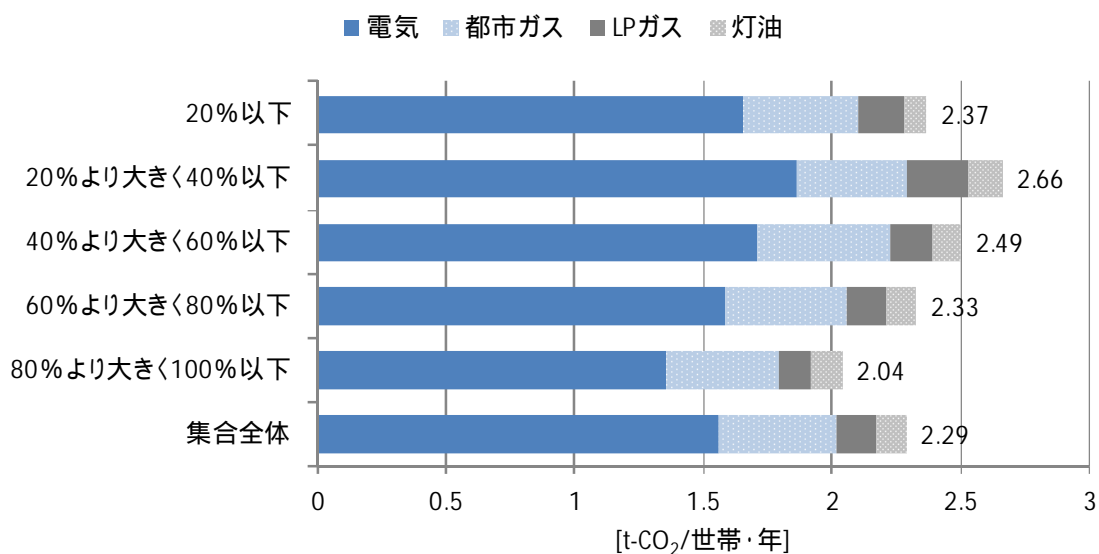


図 3-25 建て方別省エネルギー行動実施率別世帯当たり年間エネルギー種別CO₂排出量（集合）

年間世帯収入によらず省エネルギー行動実施率「60%より大きく80%以下」の世帯が最も多い。また、年間世帯収入が高いほど実施率「80%より大きく100%以下」の世帯が少ない。

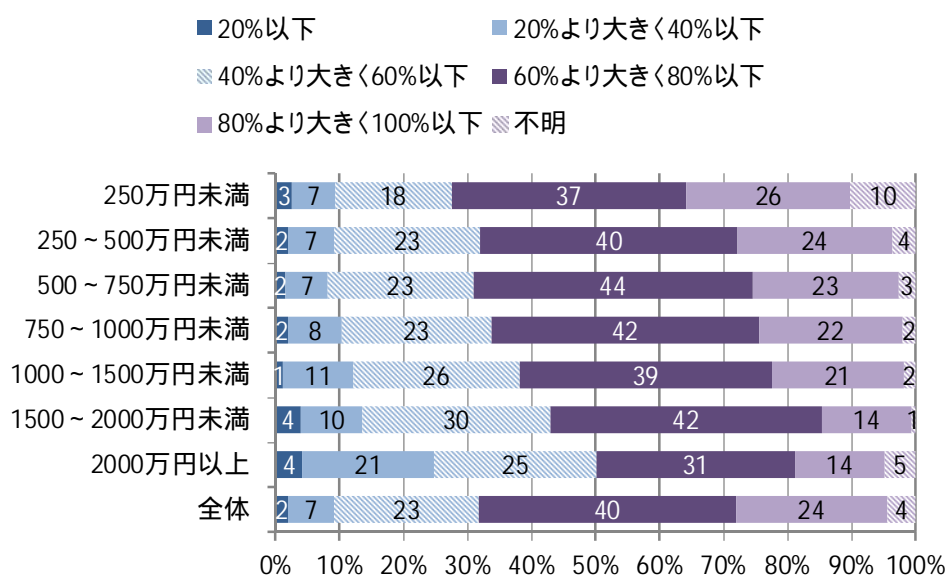


図 3-26 年間世帯収入別省エネルギー行動実施率

世帯主年齢によらず省エネルギー行動実施率「60%より大きく80%以下」の世帯が最も多い。実施率「80%より大きく100%以下」の世帯は、年齢が高いほど多くなる傾向がみられる。

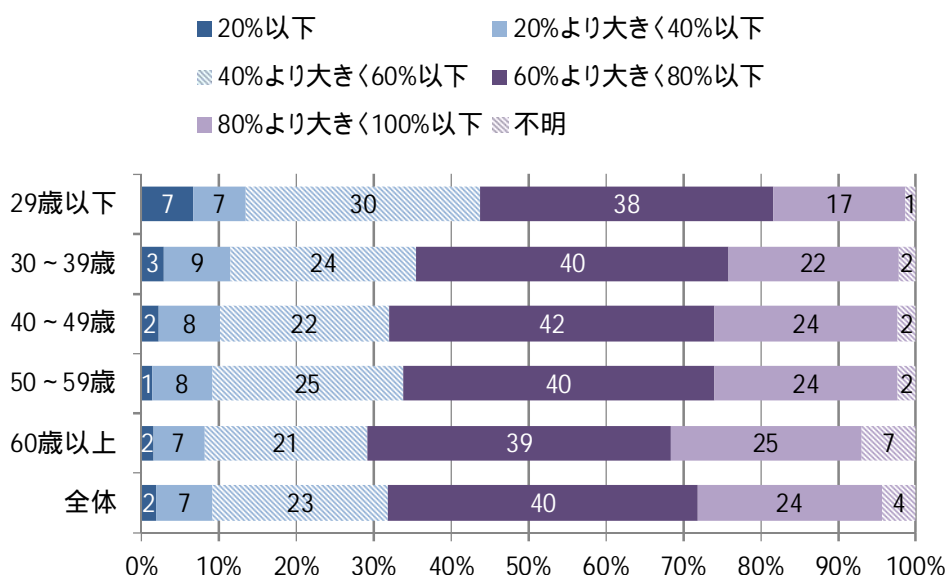


図 3-27 世帯主年齢別省エネルギー行動実施率

地方によらず省エネルギー行動実施率「60%より大きく80%以下」の世帯が最も多い。実施率「80%より大きく100%以下」の世帯は北海道で28%と最も高く、沖縄で17%と最も低い。

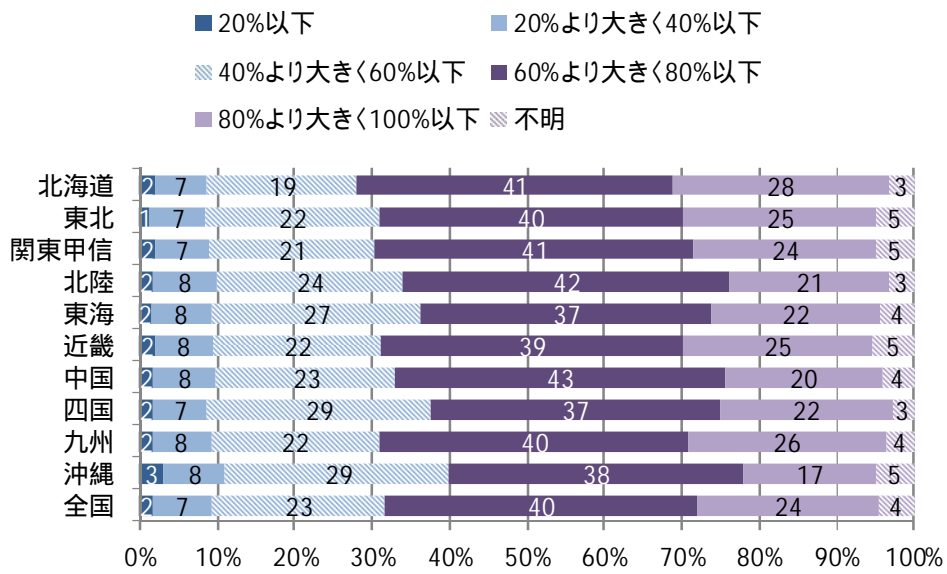


図 3-28 地方別省エネルギー行動実施率

(13) 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量<家族が続けて入浴するようにしている>

個別の省エネルギー行動のうち「家族が続けて入浴するようにしている」を実施している世帯では、実施していない世帯に比べ、給湯の排出量が少ない。給湯以外にも排出量が比較的少ない用途がみられる。

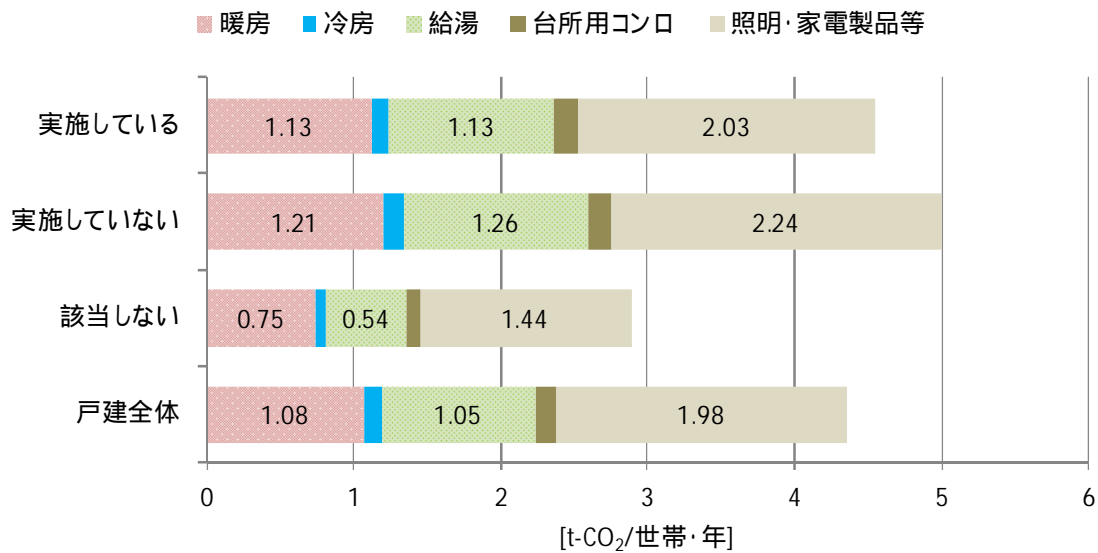


図 3-29 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量 (戸建)<家族が続けて入浴するようにしている>

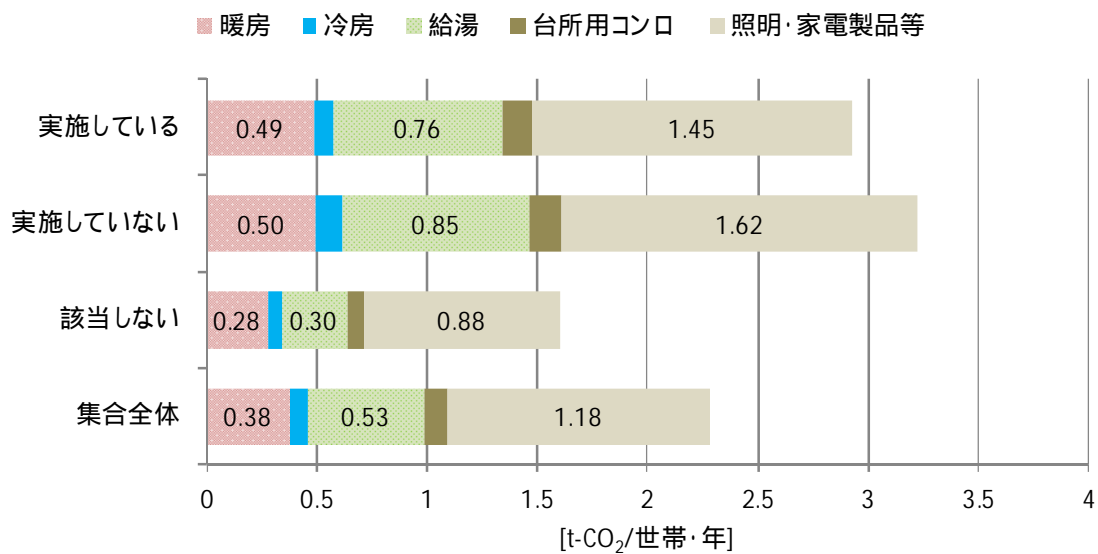


図 3-30 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量 (集合)<家族が続けて入浴するようにしている>

(14) 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量 < テレビを使用しないときは主電源をオフにしている >

個別の省エネルギー行動のうち「テレビを使用しないときは主電源をオフにしている」を実施している世帯では、実施していない世帯に比べ、照明・家電製品等の排出量が少ない。照明・家電製品等以外にも排出量が比較的少ない用途がみられる。

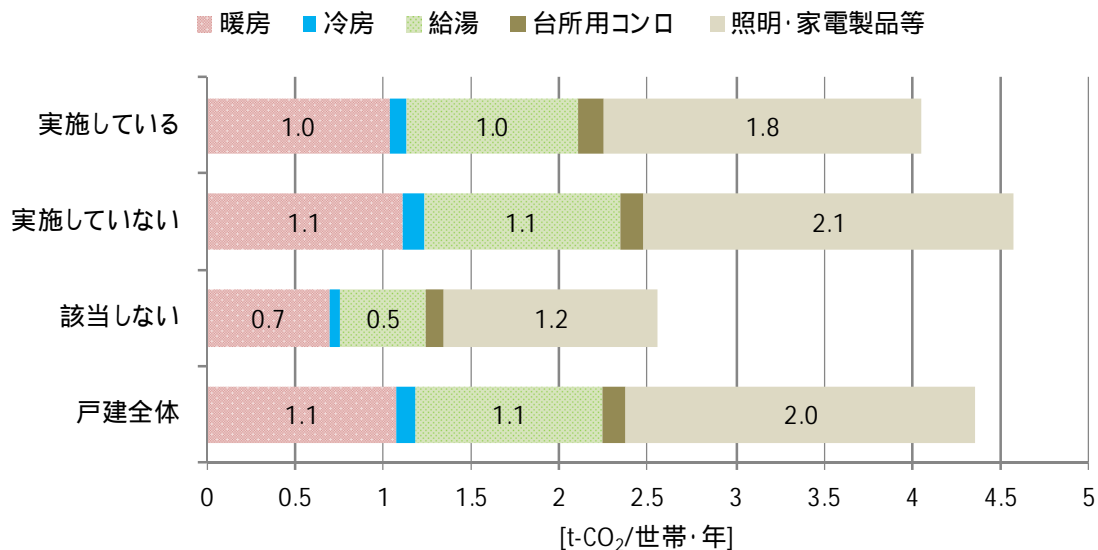


図 3-31 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量 (戸建) < テレビを使用しないときは主電源をオフにしている >

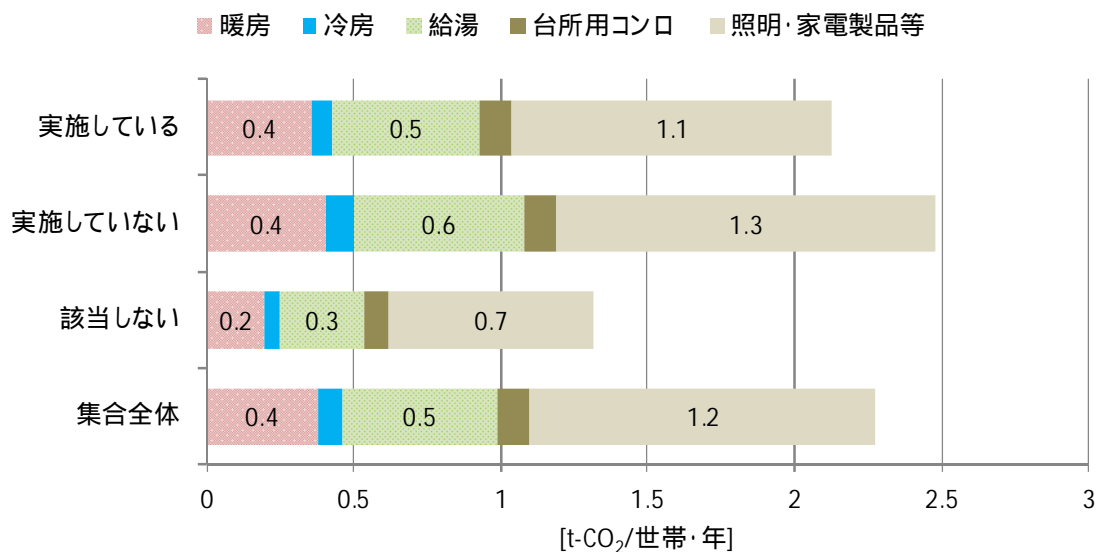


図 3-32 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量 (集合) < テレビを使用しないときは主電源をオフにしている >

(15) 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量 <炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている>

個別の省エネルギー行動のうち「炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている」を実施している世帯では、実施していない世帯に比べ、照明・家電製品等の排出量が少ない。照明・家電製品等以外にも排出量が比較的少ない用途がみられる。

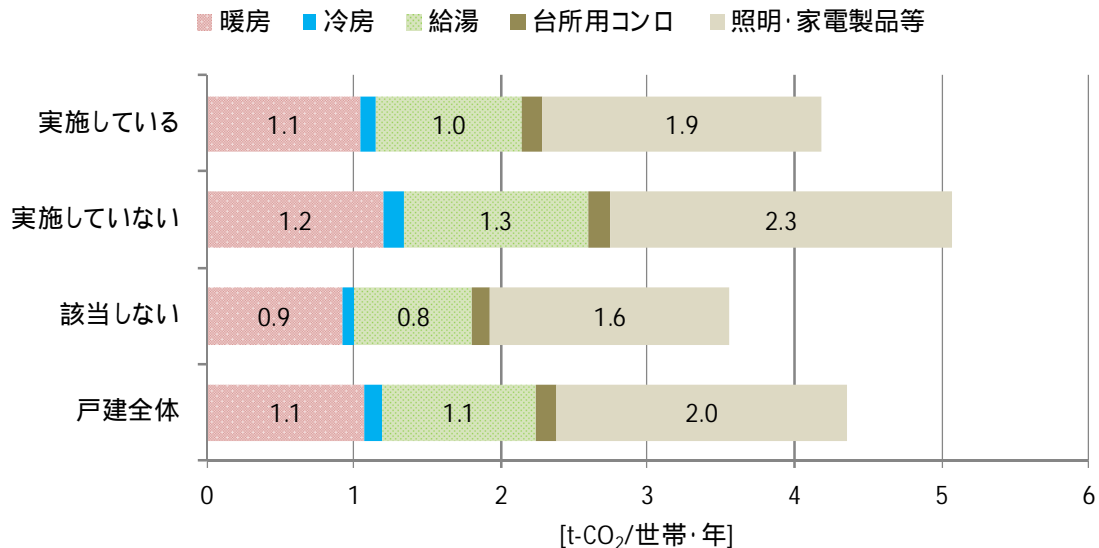


図 3-33 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量 (戸建) <炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている>

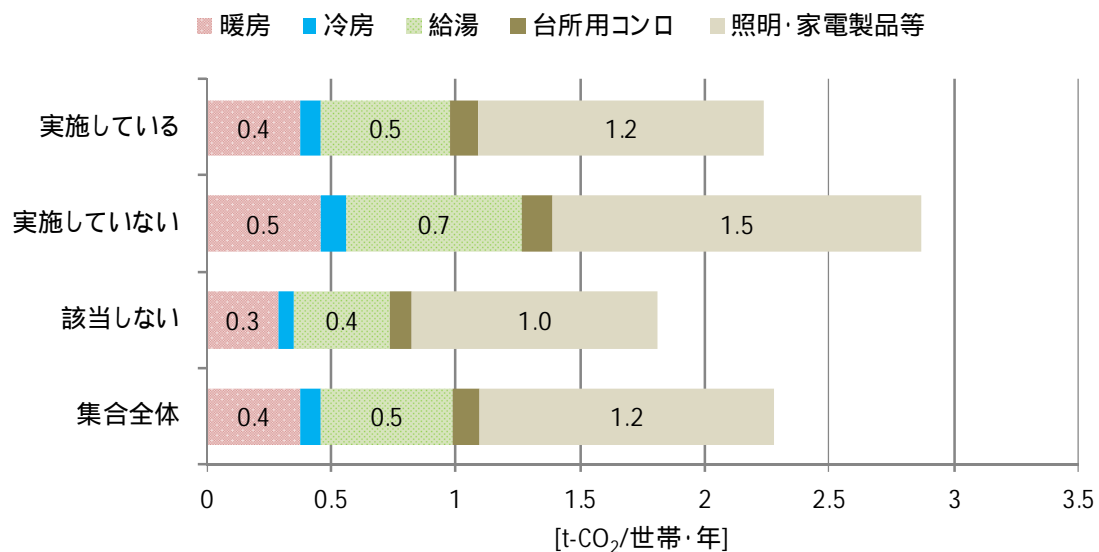


図 3-34 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量 (集合) <炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている>

(1 6) 世帯類型別自動車の使用台数別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量
 自動車の使用台数別に自動車用燃料の年間 CO₂ 排出量を比較すると、単身世帯、
 2 人以上世帯のいずれも使用台数が多い世帯ほど排出量が多い。

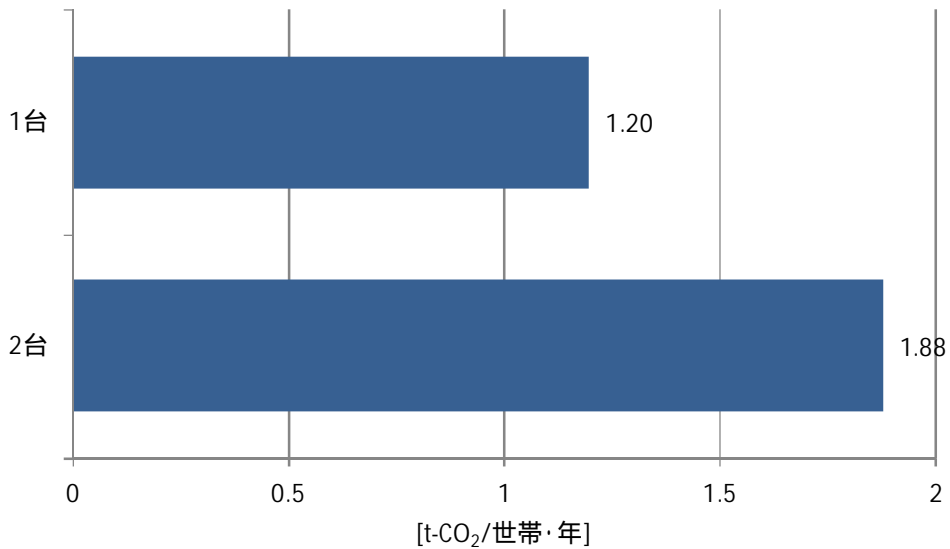


図 3-35 世帯類型別自動車の使用台数別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量 (単身世帯)

(注) 3 台以上は集計世帯数が 10 未満のため表示していない。

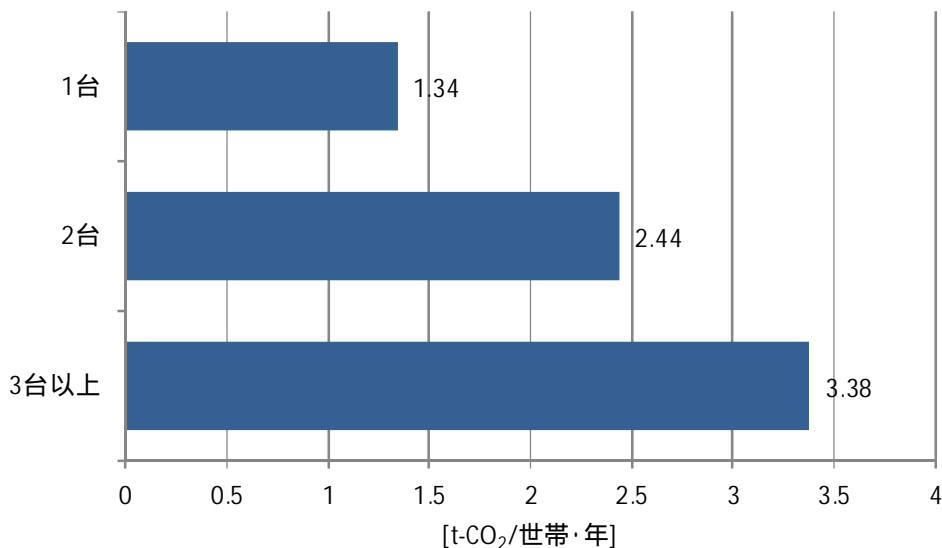


図 3-36 世帯類型別自動車の使用台数別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量 (2 人以上世帯)

(1 7) 世帯類型別自動車の年間走行距離(3 台目までの合計)別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量

自動車の年間走行距離(3 台目までの合計)別に自動車用燃料の年間 CO₂ 排出量を比較すると、単身世帯、2人以上世帯のいずれも走行距離が長い世帯ほど排出量が多い。

4 台以上使用している世帯も含まれる。

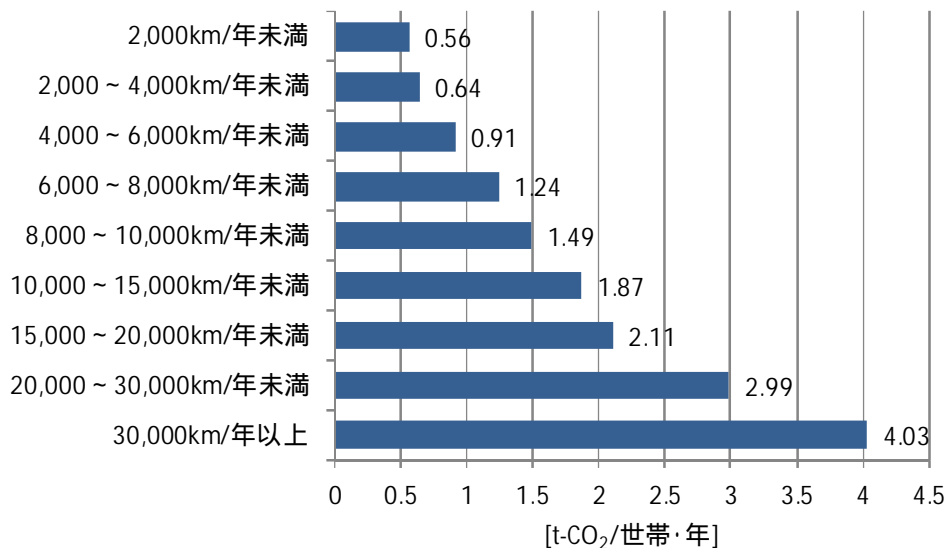


図 3-37 世帯類型別自動車の年間走行距離(3 台目までの合計)別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量 (単身世帯)

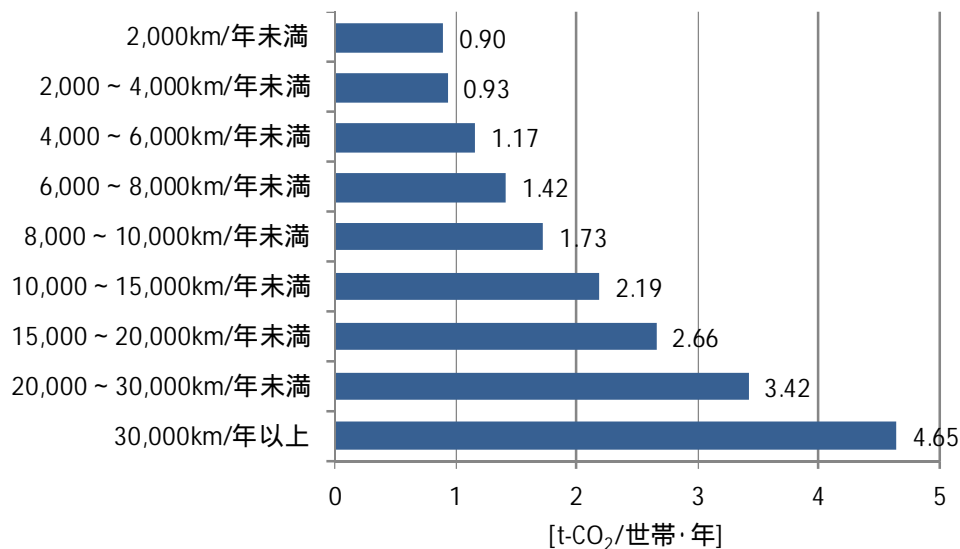


図 3-38 世帯類型別自動車の年間走行距離(3 台目までの合計)別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量 (2 人以上世帯)

(1 8) 世帯類型別自動車の排気量 (1 台目) 別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量

自動車の排気量 (1 台目) 別に自動車用燃料の年間 CO₂ 排出量を比較すると、1001cc 以上では概ね排気量が高い世帯ほど排出量が多い。排気量が小さい区分で傾向がみられないのは使用台数や走行距離の差が影響していると考えられる。

複数台使用している世帯も含まれる。

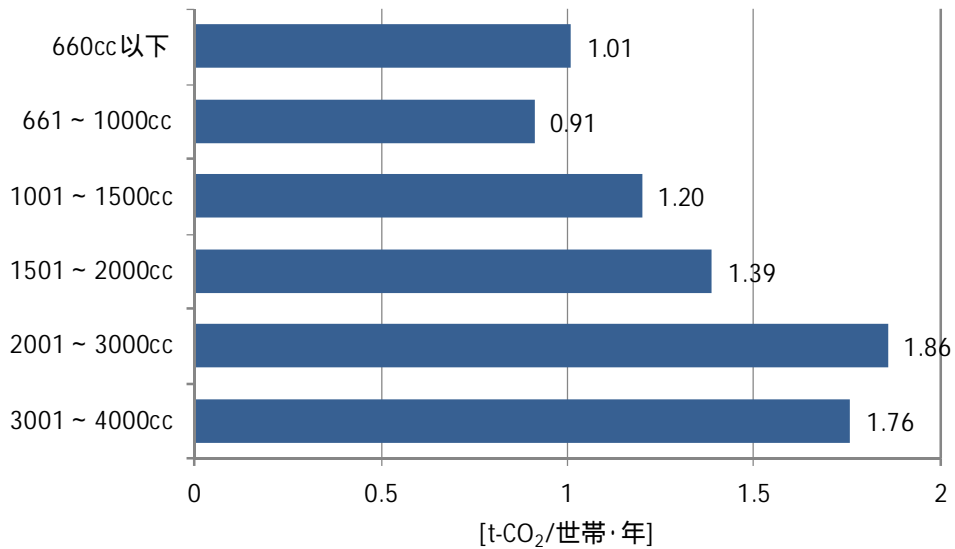


図 3-39 世帯類型別自動車の排気量 (1 台目) 別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量 (単身世帯)

(注) 4001cc 以上は集計世帯数が 10 未満のため表示していない。

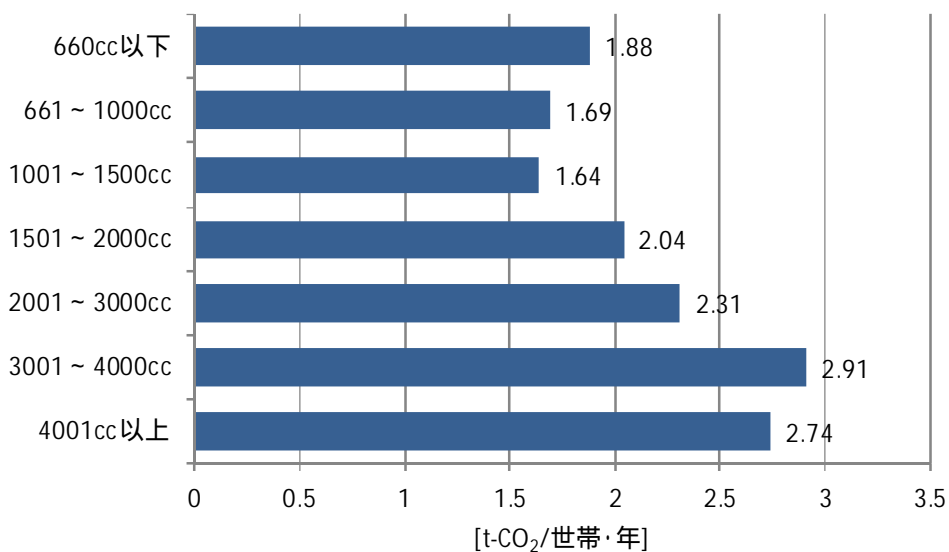


図 3-40 世帯類型別自動車の排気量 (1 台目) 別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量 (2 人以上世帯)

(1 9) 世帯類型別自動車の実際の燃費（ 1 台目 ）別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量

自動車の実際の燃費（ 1 台目 ）別に自動車用燃料の年間 CO₂ 排出量を比較すると、1L あたり 5 km 未満を除き、実際の燃費が良い世帯ほど排出量が少ない。1L あたり 5 km 未満では走行距離が比較的短いことなどが影響していると考えられる。複数台使用している世帯も含まれる。

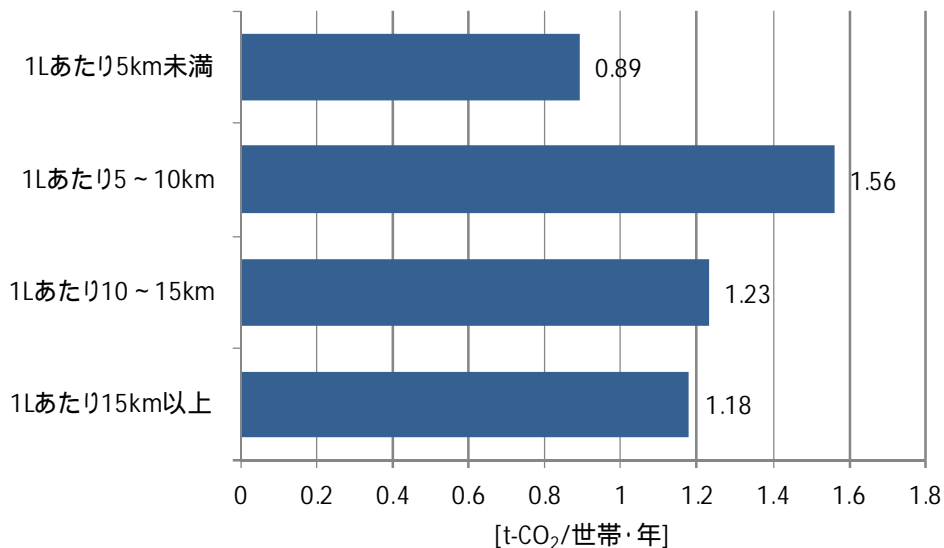


図 3-41 世帯類型別自動車の実際の燃費（ 1 台目 ）別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量（単身世帯）

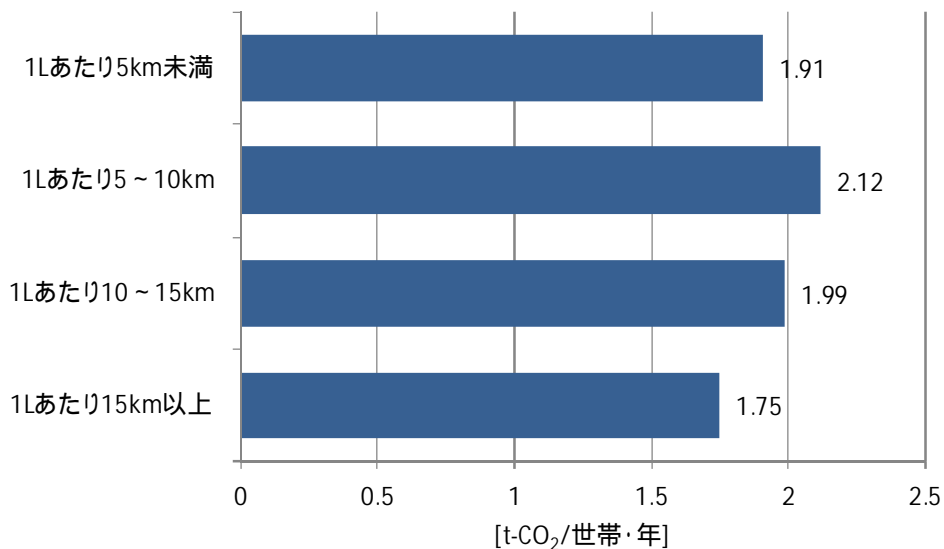


図 3-42 世帯類型別自動車の実際の燃費（ 1 台目 ）別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量（ 2 人以上世帯 ）

主要属性

(1) 地方別建て方

全国では戸建住宅の世帯が 56%、集合住宅の世帯が 44%である。集合住宅の割合が比較的高い地方は沖縄、関東甲信、近畿である。

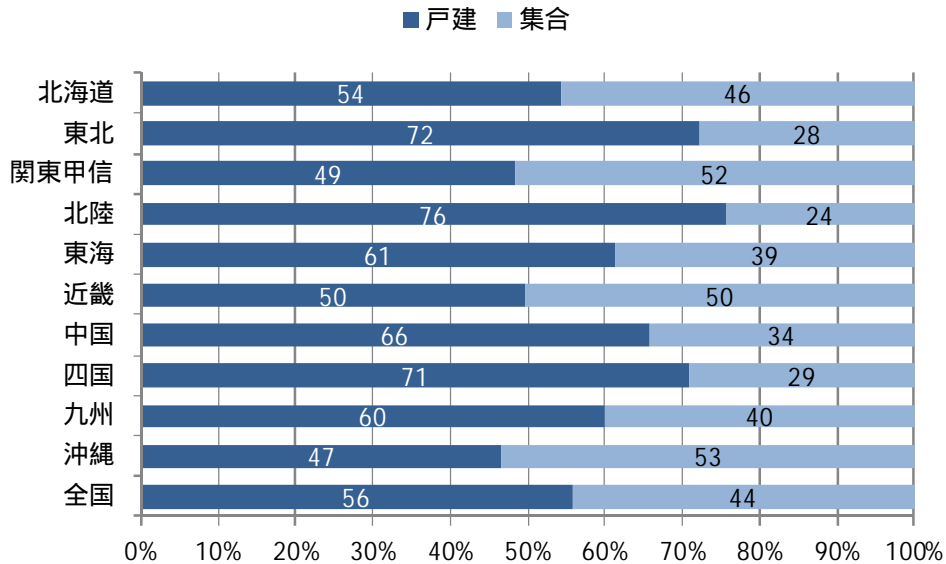


図 4-1 地方別建て方

(2) 建て方別世帯類型

全体では夫婦と子・若中年世帯、単身・若中年世帯の割合が高い。

戸建住宅の世帯では、夫婦と子・若中年世帯、その他世帯の割合が高い。集合住宅の世帯では単身・若中年世帯、夫婦と子・若中年世帯の割合が高い。

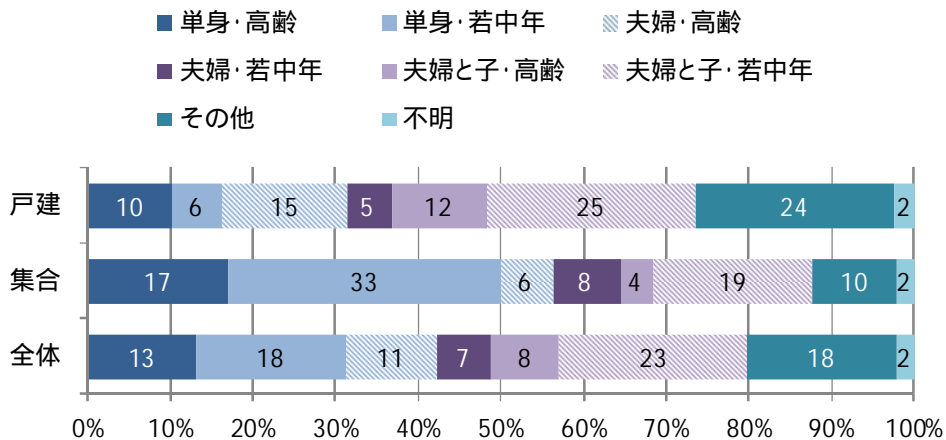


図 4-2 建て方別世帯類型

(3) 地方別世帯類型

地方別に世帯類型を比較すると、北陸、東北では単身世帯の割合が比較的低い。

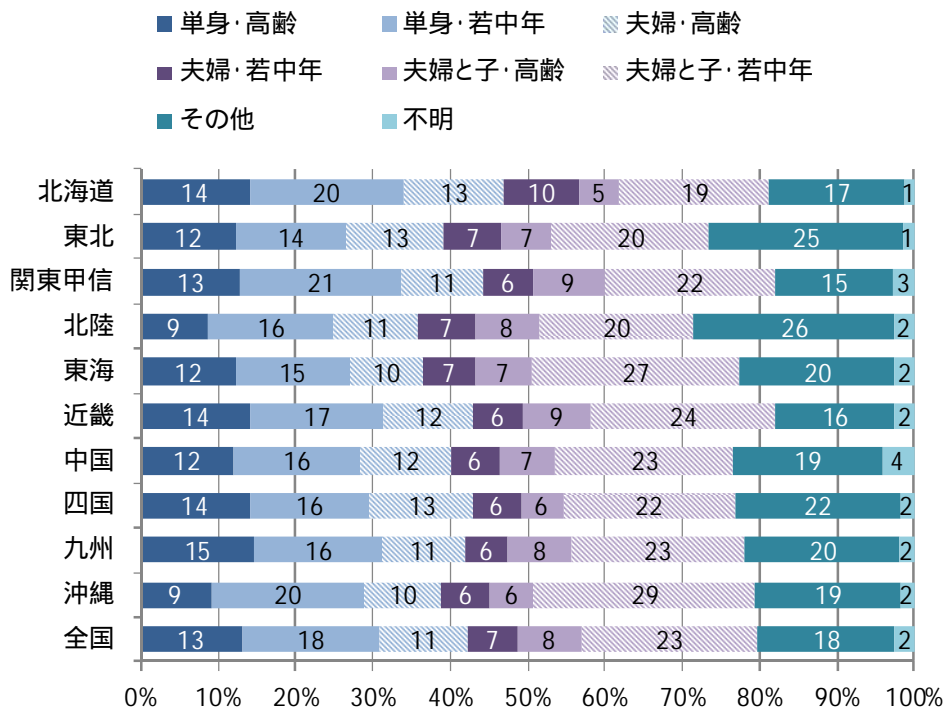


図 4-3 地方別世帯類型

(4) 建て方別世帯人数

世帯人数は平均で 2.49 人である。戸建住宅の世帯では 2.90 人、集合住宅の世帯では 1.96 人である。

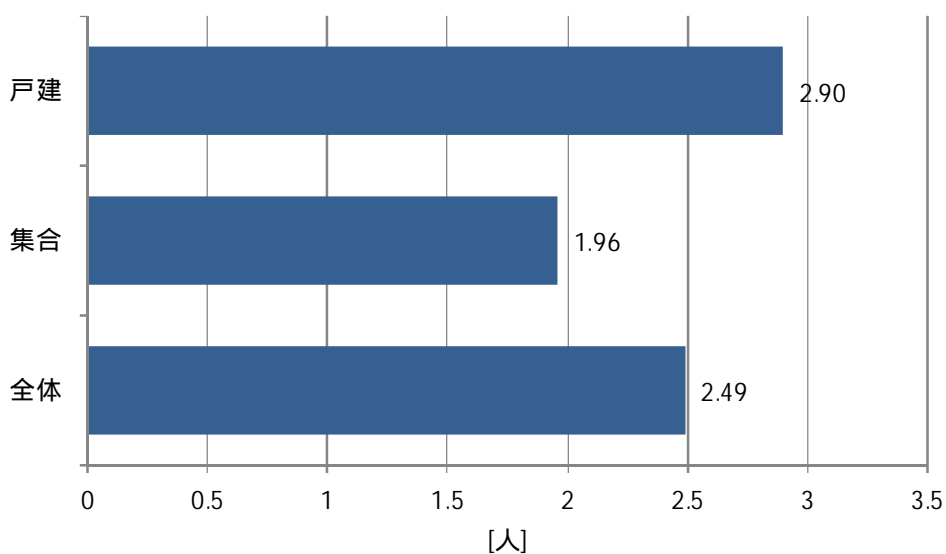


図 4-4 建て方別世帯人数

(5) 地方別世帯人数

世帯人数が比較的多い地方は北陸、東海であり、比較的小さい地方は北海道、関東甲信である。単身世帯の割合は北海道、関東甲信が高い。

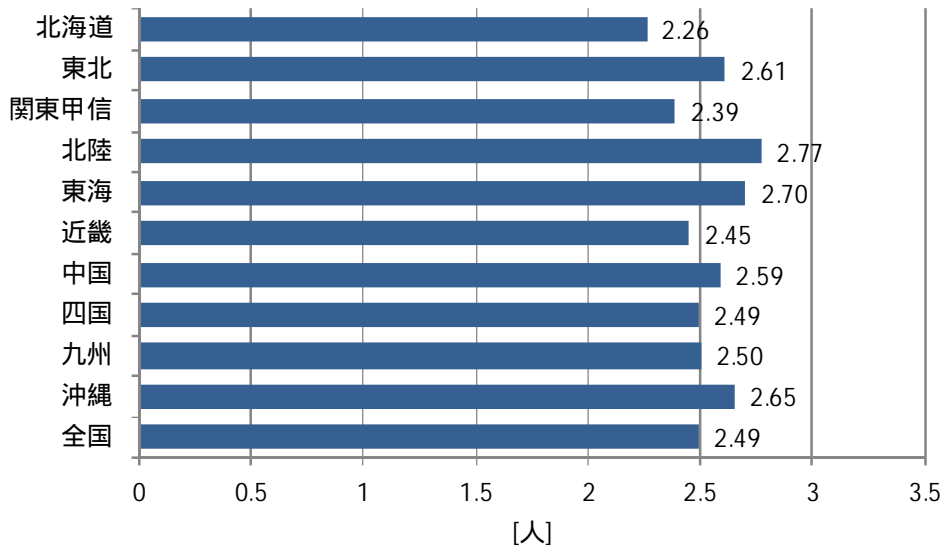


図 4-5 地方別世帯人数

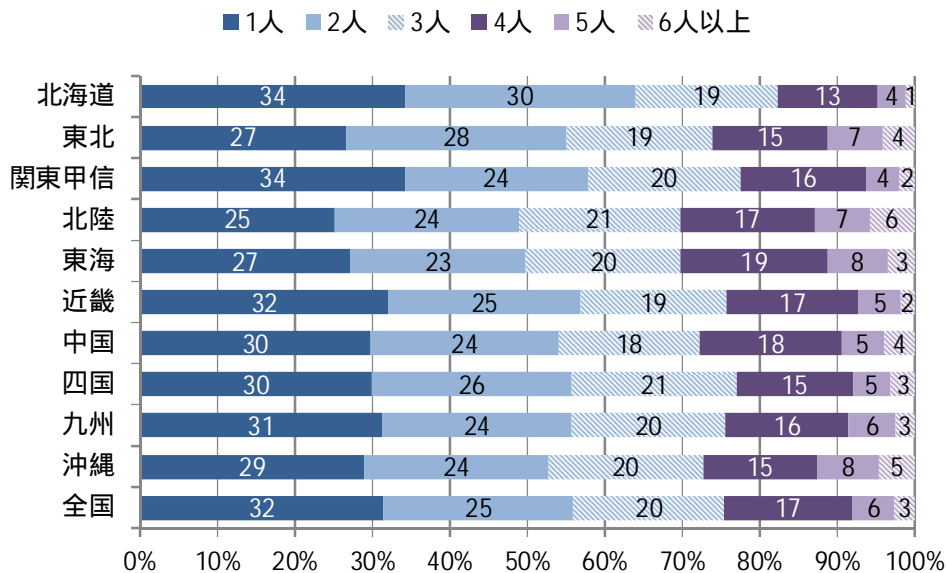


図 4-6 地方別世帯人数 (構成比)

(6) 建て方別世帯主年齢

世帯主年齢が 60 歳以上の世帯が 39% を占めている。集合住宅の世帯の世帯主年齢は戸建住宅の世帯に比べ低い。

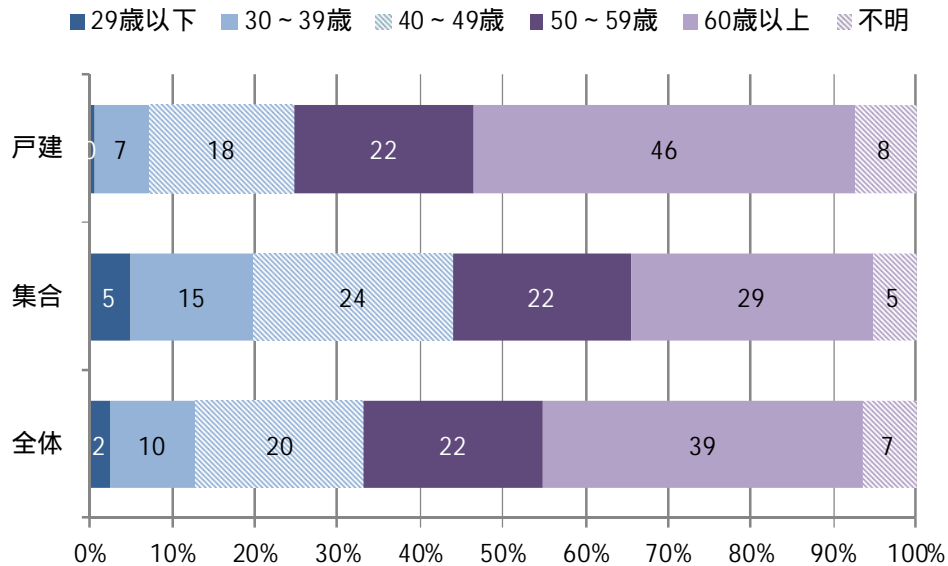


図 4-7 建て方別世帯主年齢

(7) 建て方別高齢者数

高齢者数は平均で 0.71 人である。戸建住宅の世帯では 0.94 人、集合住宅の世帯では 0.42 人である。

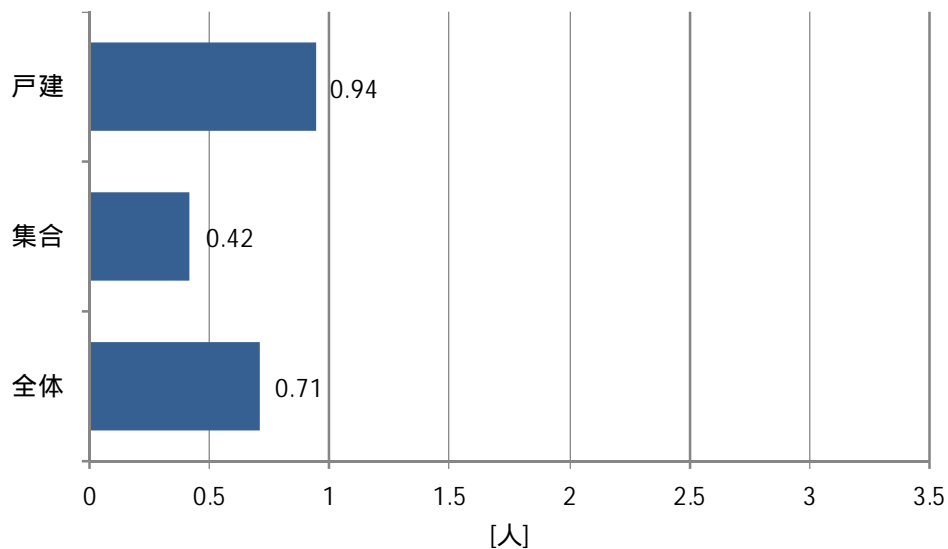


図 4-8 建て方別高齢者数

(8) 建て方別有職者数

有職者数は平均で 1.21 人である。戸建住宅の世帯では 1.32 人、集合住宅の世帯では 1.08 人である。

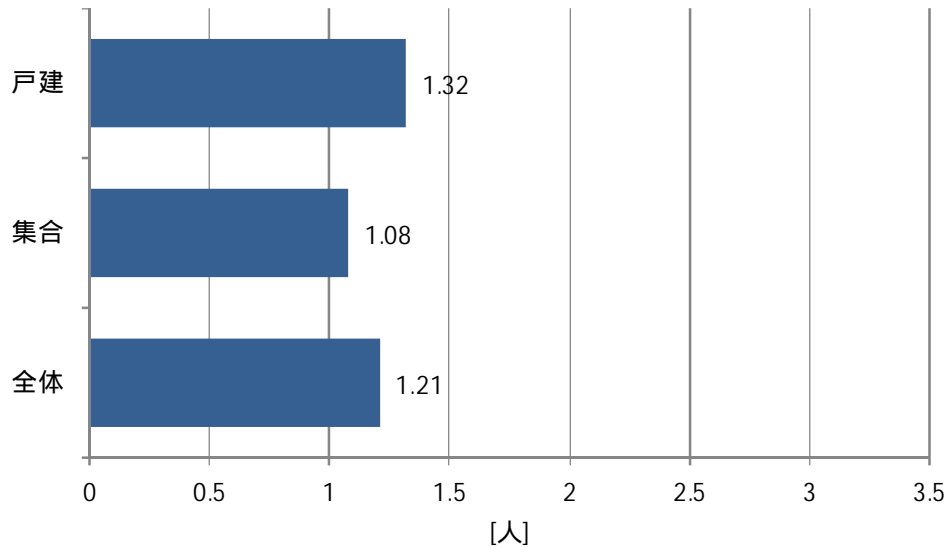


図 4-9 建て方別有職者数

(9) 建て方別平日昼間の在宅者の有無

平日昼間に在宅者が「ほぼ毎日いる」世帯が約 5 割を占めている。戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯に比べ、在宅者が「ほぼ毎日いる」割合が高い。

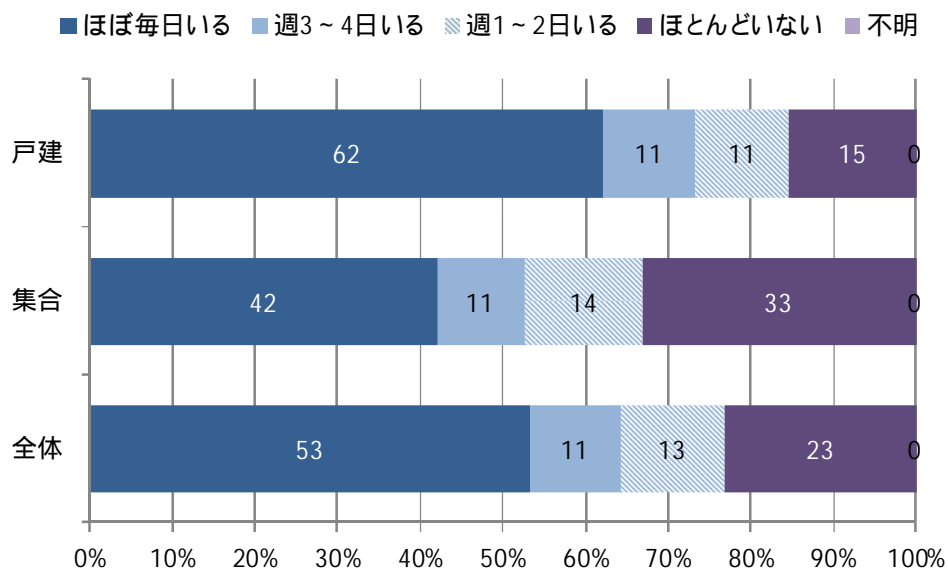


図 4-10 建て方別平日昼間の在宅者の有無

(1 0) 世帯類型別平日昼間の在宅者の有無

世帯類型別に平日昼間の在宅者の有無を比較すると、高齢世帯では若中年世帯に比べ「ほぼ毎日いる」の割合が高い。単身・若中年世帯では「ほとんどいない」の割合が5割を超えている。

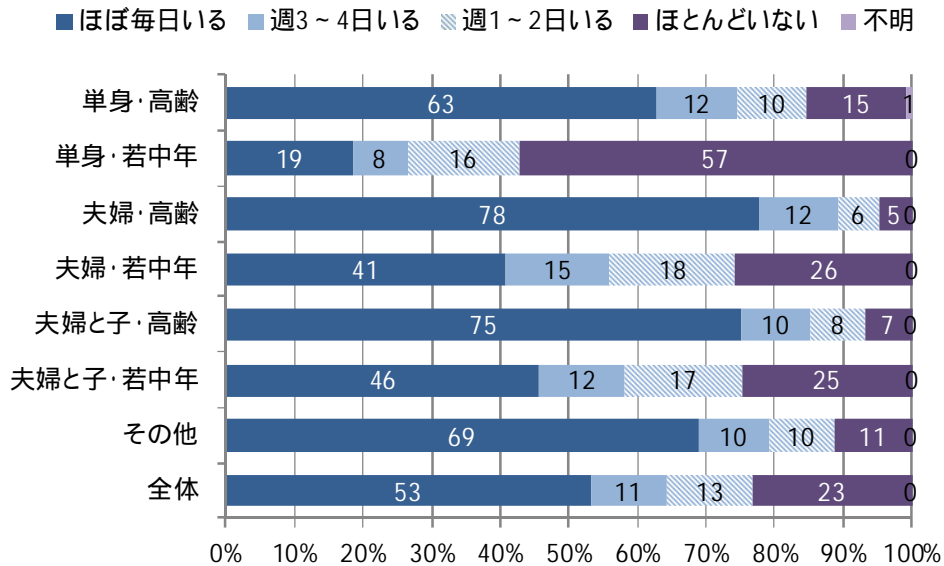


図 4-11 世帯類型別平日昼間の在宅者の有無

(1 1) 建て方別年間世帯収入

年間世帯収入が250~500万円未満の世帯が約3割、500~750万円未満が約2割を占める。戸建住宅の世帯では有職者数の違いなどにより、集合住宅の世帯に比べ、年間世帯収入が高い。

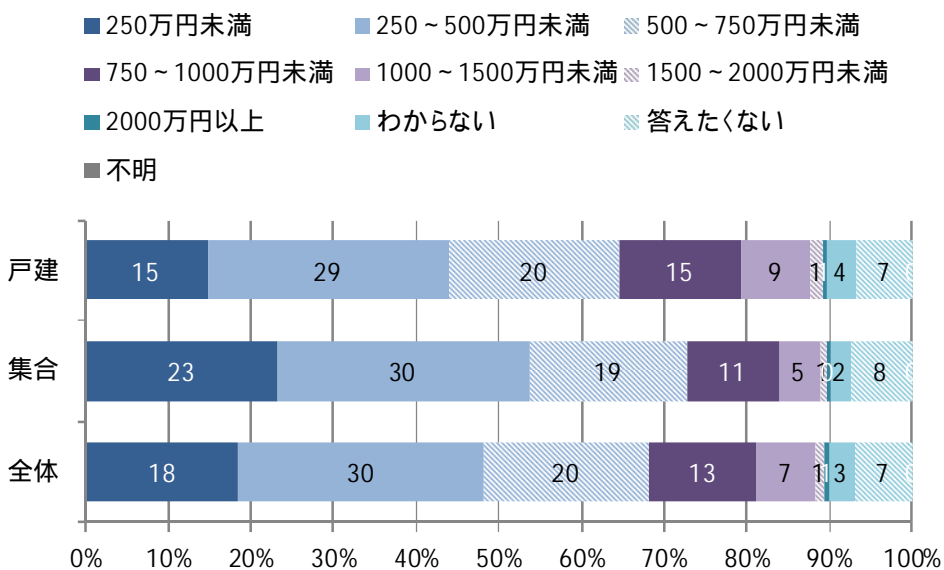


図 4-12 建て方別年間世帯収入

(1 2) 建て方別建築時期

戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯に比べ建築時期が古い割合が高い。住宅の省エネルギー基準が制定された1980年以前の住宅に居住する世帯が20%を占める。

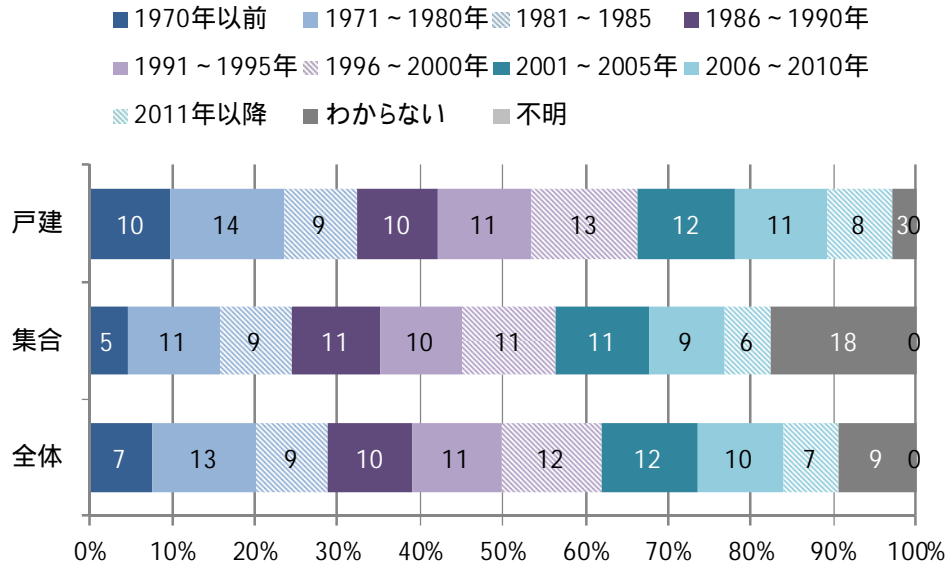


図 4-13 建て方別建築時期

(1 3) 建て方別延べ床面積

延べ床面積は平均で100.0㎡である。戸建住宅の世帯では130.8㎡、集合住宅の世帯では59.2㎡である。

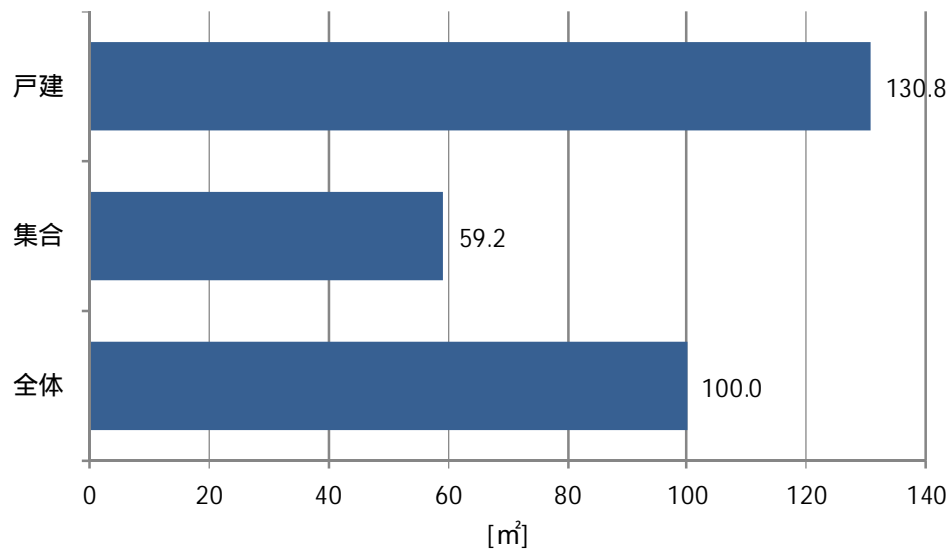


図 4-14 建て方別延べ床面積

(1 4) 地方別延べ床面積

地方別に延べ床面積を比較すると、戸建住宅の世帯の割合が高い北陸が最も大きく、集合住宅の世帯の割合が高い沖縄が最も小さい。

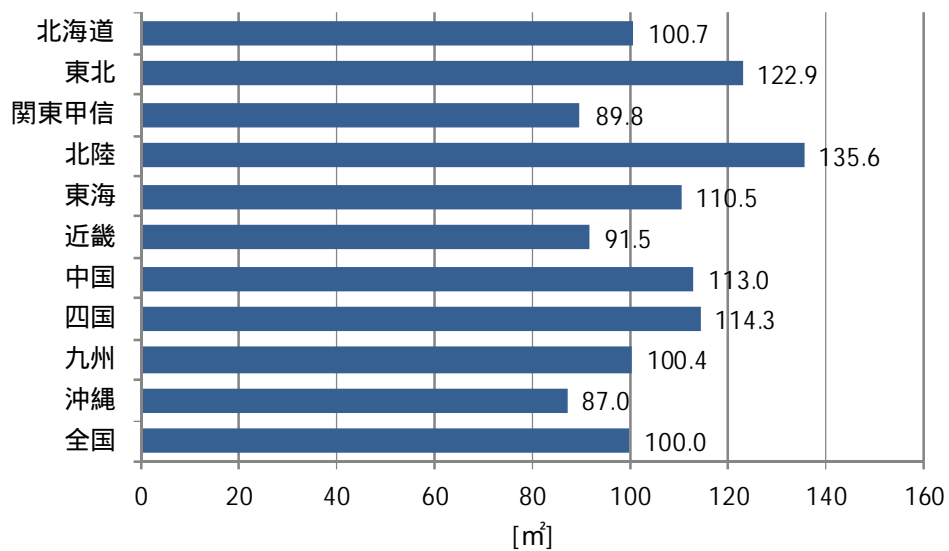


図 4-15 地方別延べ床面積